

Ⅲ 地区館事業
平成 29 年度 指定管理事業実績

青葉区中央市民センター

〔沿革〕

青葉区中央市民センターは、昭和40年4月、市立東二番丁小学校に開設された「仙台市市民教養センター」がその始まり。昭和61年、小学校の全面改築に伴い廃止され、昭和63年1月に「仙台市中央公民館一番町分館」として開館。平成13年4月、隣接の「アスパア一番町（勤労青少年ホーム）」を統合し、現在の「青葉区中央市民センター」としてスタートした。

市の中心部で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高く、外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一翼を担っている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	★記憶、現在そして未来へ		
参加者	どなたでも	延参加者	55人
開催日	全4回 7月15日(土)、9月2日(土)、11月4日(土)、2月3日(土)		
協力者・協力団体	せんだい3.11メモリアル交流館		
ねらい	震災から6年が経過し、市民の中に温度差がみられることを受け、忘れてはならない震災の記憶や未来に向けてのメッセージを発信する。		
概要・成果	<p>せんだい3.11メモリアル交流館や震災遺構である仙台市立荒浜小学校を実際に見学し、震災時の体験をボランティアとして語り継いでいる方たちのお話を直接聞き交流した。また、東部沿岸部の被災した田んぼで採れた「稲わら」を使ってわらアートを作るための「わらシート作り」を体験した。</p> <p>最終回では、連携先であるメモリアル交流館を会場に、詩人水月りの氏の詩「虹の翼」の朗読、写真家大沼英樹氏の写真展を行い、参加者同士の意見の交換も行われた。</p> <p>参加した方からは「震災の記憶は決して風化させてはいけない。」「震災遺構の荒浜小学校を見学し実際に自分の目で見て当時の状況を実感できた。」など多くの感想が出され、改めて震災の記憶を新たにすることで、市民の中の温度差を埋めるとともに防災意識を高めることができた。</p> <p>また、せんだい3.11メモリアル交流館の周知に貢献でき、市民に関心を持ってもらう一助となった。</p>		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
中学生職場体験学習	市内の中学校から依頼され職場体験の中学生を受け入れ、市民センター業務体験などを行った。	7月5～7日 11月14～16日	2	6
親子で遊ぼう！パンダくらぶで	一歳未満の親子を対象にタッピングタッチ・離乳食の作り方・親子ヨガを行い、親子同士が交流・情報交換した。	10月12日 10月26日 11月16日	3	40
親子人形劇鑑賞会	管内の幼稚園やPTAと共催し、未就園児親子が参加できる人形劇を開催した。未就園児親子と幼稚園保護者との交流の場を提供した。	11月2日	1	136

《青葉区》

外国語活動「ハロウィン集会」	市民協働による地域づくりの推進のために進めている、青葉区地域トライアングル連携につなげるために地域小学校と共催事業を開催した。	10月24日	1	134
外国人のための防災講座 2017	外国籍の方とその家族を対象に、災害時に適切な対応や必要な情報を入手する方法を学び、安心した生活を送れるようサポートするための講座を開催した。防災に関する講話、情報交換など。	4月19日 10月18日	2	37
あおばカレッジ	川柳、軽体操、外国人の方との交流、文章教室、コンサートなど講話・実技・館外学習（博物館）などを行った。また、運営委員会を組織し、自主的な活動・班での交流なども行った。	5月19日～ 2月16日	9	305
地域と心を結ぶ「なかよしえま」	これからの地域づくりを担う子ども達が野中神社についてのお話を聞き、「えま」に願いを描き地域について学んだ。またサンモールのイベントに参加した。	8月22日 12月15日	2	9
まちなか元気いっぱいプロジェクト	イベント事業を主催・共催することで地域団体や事業者相互に交流を深め、地域の活性化に貢献した。七夕、ハロウィンイベントなど。	8月6～8日 10月27日	4	2,036
第14回ふれあい祭「和気藹々☆一番町」	各種サークル・団体等の学習成果発表の場として地域住民のコミュニティづくり・生涯学習の振興を推進していく展示・舞台発表、ダンスパーティなどを開催した。	9月24日	1	1,270
一番町ミュージック ♪タイム～ランチタイム・コンサート～	近隣の勤労者を対象とした昼休みコンサートを開催した。馬頭琴、地元歌手と詩人のトーク&コンサートなど。	12月6日 3月20日	2	149
青中懇話会	地域の諸団体や子育て支援団体との情報共有の場を設けた。	6月22日 2月23日	2	36
まったりお茶の間文庫	市民センターのロビーにある図書を利用し、図書の整理やレイアウトの仕方を学びながら「本をきっかけとした交流スペースづくり」を行った。	6月22日～ 3月13日	17	89
スタッフ技術講座— コンセントがあれば どこでもステージ	市民ボランティアとして活動するためのスキルを学び、地域で活動できる人材を育成するため、一般的な音響設備の使用法、トラブル対応についての実技を学んだ。	12月2,9,17日 1月13,20,27日	6	60
ジュニアリーダー活動支援	ジュニアリーダーサークルが地域の子ども会活動など様々なボランティア活動に取り組めるように打合せ会、研修会を開催した。	通年	12	19
市民企画会議	市民自らが地域の課題を探り「まちづくり・ひとづくり」につながるような講座として「地域と心を結ぶ『なかよしえま』」を企画した。	4月14日 6月16日 8月10,22日 10月4日 12月15日	6	23
仙台市子ども会イン リーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、リーダーとして活動する児童と次期世話人を対象に子ども会活動や役割についての講話とレクリエーション・ゲームの進め方の研修会を開催した。	1月27日	1	3

柏木市民センター

〔沿革〕

柏木市民センターは、昭和 61 年 7 月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成 2 年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成 7 年 4 月から一時休館して改修工事を行い、平成 10 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。施設の特徴としては、収納式のステージをもつ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	◎地域をつなぐ「へくり沢散歩道」づくり事業		
参加者	成人	延参加者	351 人
開催日	全 20 回 5 月 19 日（金）～3 月 17 日（土）		
協力団体	八幡地区町内連合会・国見地区連合町内会・八幡小学校・八幡小学校同窓会 八幡児童館・ジオラマ講座修了者グループ		
ねらい	柏木八幡地区は、高低差がある特有な地形を有し、特にこの地区を流れていた「へくり沢」周辺は、かつて交通の難所として名高い場所であった。明治期の近代化や戦災復興を経て、こうした地域の特殊性は見えにくいものになってきている。センターでは、地域の地理的・歴史的な特徴を地域の方々や次世代に伝えるため、地形模型やジオラマ製作など複数年にわたり学習・調査を継続してきた。平成 29 年度には連携団体から推薦を受けた方と講座受講者として実施委員会を作り、「へくり沢」散歩道を整備、紹介する事業に取り組み、地域のネットワークを強めるとともに地域づくりに参加する人材の育成も目指した。		
概要・成果	へくり沢上流部国見地域から広瀬川にかけてのへくり沢経路に沿って案内板（8ヶ所）を設置し、これをつないで散歩道としてウォーキングマップを作成した。作成にあたっては何度も現地調査、案内板設置場所の選定、記載内容の検討を実施委員で行った。また、八幡小学校 90 周年行事の一環で 5 年生の地域学習授業「昔の八幡町の暮らし」として紹介した。完成後は、地域に広報してウォーキング講座を行い、実施委員がへくり沢を紹介するガイドボランティアとして参加した。1 年を通して地域の団体とへくり沢という資源を生かすという共通の目標に向かって取り組めたことは改めて地域の力を感じ、つながりを強めることができた。これまでの成果を生かし、30 年度も講座を継続していく予定である。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●柏木ワンダーランド	パドルテニス、親子クッキング、ミニ畳づくり体験(9月と2月)、サイエンスショーの5回を実施。「パドルテニスにチャレンジ」は仙台市パドルテニス協会の協力を得た。また、畳づくりは仙台伝統ものづくり塾との共催。	6月4日 7月26日 9月9日 12月26日 2月3日	5	145
心と身体をリラックス	イスやボールを使用したストレッチやダンス等、楽しく無理なく体を動かすことで、参加者同士の交流を図った。	5月24日～ 6月18日	5	18

《青葉区》

●まざらいん柏木	地域住民がものづくりや音楽を楽しみながら交流を深めた。①苔玉づくり②認知症カフェ体験（コンサート・カフェタイム・講話）③からくり屏風④和綴じ本づくり	6月28日 9月2日 11月18日 2月24日	4	110
柏梁学院	高齢者が交流しながら、いきいきと心身ともに健康で充実した生活ができるよう様々な学習の機会を提供した。講話・音楽鑑賞など。	4月19日～ 3月7日	11	732
くつろぎタイム	5月はクラリネットとピアノによるウェルカムコンサート、8月にバンドネオンとアルパのたなばたコンサート、3月は首都圏の音大生によるフレッシュコンサートを実施。気軽に参加でき、地域の多世代が交流した。	5月27日 8月6日 3月20日	3	120
地域防災講座	自助・共助をテーマに実施。1回目は石巻の現状と復興について石巻市復興まちづくり情報交流館館長のリチャード氏の講話。2回目は災害メカニズム、災害時の対応についてワークショップを通して学んだ。	8月26日 11月11日	2	29
柏木出前講座	9月に老後の暮らしについての話・苔玉づくり、11月に映像で振り返る仙台、12月に甘酒など食物の話を実施し、生涯学習を学ぶ機会となった。12月1日には八幡小5年地域学習でも昔の八幡の暮らしについて紹介した。地域講師の活躍の場にもなった。	9月2,26日 11月26日 12月1,2日	5	195
てらまちフェスタ 2017ーあそびでつながるまちづくりー	通町小学校を会場に各団体が持ち味を生かしたブースを開いた。毎年秋休み最終日に開催していることと、平成29年度から新たに通町小学校合奏団と地域団体が加わったことで地域への周知が更に広まった。	10月11日	1	480
●第14回 柏木ふれあいまつり	サークルの活動発表、地域交流の場として開催。水彩画、切り絵や児童作品の展示、お茶や合唱、箏の演奏などの舞台発表の他、リサイクルコーナーや臨床美術体験、餅まき等。中学生ボランティアも活躍した。	10月1日	1	650
あつまれ！柏木茶房 2018	午前はお茶ごえ喫茶、午後はクラシックコンサートの二部構成。会議室を開放し、お茶やお昼を取りながら一日センターで楽しむ来場者が多かった。センター利用サークルの水彩画と和小物も展示した。	2月11日	1	180
柏木地域懇談会	第1回懇談会を三条中、通町小、八幡小の先生方を迎え、学校と市民センターとの連携の仕方などをテーマに意見・情報交換を行った。2回目は、地域でボランティア活動を行っている方々との懇談を実施した。	7月7日 2月2日	2	11
地域元気クラブ2017	定例会・地域のまつり実行委員会参加・八幡小同窓会行事や児童館柿もぎ行事支援・四ツ谷用水学習、凧作りなど小学校総合学習支援実施。柿関連では柿もぎ・柿渋液づくりも行い、保存中柿渋液を活用した一閑張り講座後まつりで展示した。	4月13日～ 3月17日	20	109
市民企画会議「柏木ロビー交流会」	センターの広々としたロビーを会場に地域交流につながる講座を企画。企画員は当日の受付や案内など運営にも参加した。	10月31日 12月6日 1月24日 2月24日	4	24
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等。	1月27日	1	56
柏木サークル体験会	昨年度末にサークルを対象としたアンケートを実施、それをもとに体験会を希望するサークルに声がけし実施した。また、今年度は講座から立ち上がったサークルの体験会も行った。	6月24日～ 9月20日	6	26

北山市民センター

〔沿革〕

北山市民センターは、昭和49年7月に北山福祉会館として設置され(所管は仙台市社会福祉協議会)、平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」となり、平成2年には「北山市民センター」と名称を改めた。地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしてきたが、施設の老朽化に伴う改築後、平成23年1月に再開した。

地域内には、青葉神社、大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館の立地により、若者や外国人の居住者が多い。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	北山歴史講座―「仙台藩を彩った異才たち」		
参加者	成人	延参加者	188人
開催日	全2回 6月24日(土)・11月25日(土)		
協力者・協力団体	北山ガイドボランティア		
ねらい	<p>地元の仙台藩に貢献した人物を学び、その業績や歴史的背景を学習することを通して、身近な新坂町の寺社仏閣から歴史的資源を再発見し、北山地域への関心をより高める。</p> <p>また、当センターから立ち上がった歴史ガイドの北山ガイドボランティアが講師を務めることによりボランティアのスキルアップにもつなげる。</p>		
概要・成果	<p>仙台藩に貢献した人物を学び、歴史的背景や業績を学習した。新坂町の寺社仏閣から歴史的資源を再発見し、北山地域への関心をより高めた。北山ガイドボランティアと連携し、活動支援も行った。</p>		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ルンルン子育て講座	近隣の民生委員児童委員と連携し気軽に訪れることができる子育てサロンを開催。親子同士の交流の場を増やし月齢に合わせた企画の実施で子育てを支援、親子室や図書室の利用の促進にも繋がられた。	通年	23	170
通町小学校連携講座「わたしのまちの歴史探検」	通町小5年生が北山ガイドボランティアの案内で総合学習の一環として実際に歩きながら各寺院を見学し説明を受け、その歴史的価値を学習した。市民センターが調整役となることで、3者が連携する意義は大きかった。	6月6日	1	55
通町小学校連携講座「わたしのまちの歴史探検」part II	学校も地域との連携が欠かせず、地元のことを学びたいとの要望に応え開催。北山ガイドボランティアの案内で、学校関係者(教師、PTA、社会学級等)が子どもたちと同じ北山五山を実際に歩き学習した。	12月22日	1	23
北山シルバースクール2017	一年を通し広い分野を学習する中で、新しい事柄にも関心を持ち、更に興味ある事柄について意欲を持って学習できる場として提供し、心身ともに健康で生きがいを持って自主的に活動ができるよう支援した。	5月～2月	9	361

★初めての仙台暮らし 「留学生応援講座」	留学生会館を運営するユニバーシティ・ハウス三条と連携し、地震の多い日本で留学生が安心して暮らすために外国人向けの防災講座を開催した。講師や通訳は、外国人向け防災講座のノウハウを持つ仙台観光国際協会に依頼した。	10月7日	1	69
★●北山地区合同防災訓練	策定された地域版避難所運営マニュアルに基づき、町内会、地域住民、地域諸団体が、それぞれの役割を確認する中で合同防災訓練（避難所運営訓練を含む）を実施し、より実態に即した地域防災体制の構築や災害対応力の強化を図った。	6月20日～ 11月29日	5	548
北山ブックフェスティバル	図書室の活用と周知のため、図書ボランティアと連携し、本に触れる機会や楽しみ方を提供するとともに、子どもの読書推進を図った。	6月20日 11月18日	2	57
三条中学校連携講座 「ふれあいランチ」	地域住民が中学校施設を見学し、中学生がその地域住民と給食を共にし、家族以外の大人と触れ合い会話し交流することで、地域に目を向け関心を持つきっかけとなった。	11月10日	1	15
第10回 北山交流まつり	北山地域の「まつり」として地域コミュニティの活性化に役立てるため、学生ボランティアや地域団体の協力を得て、参加団体及び地域住民が主体となって開催した。	10月15日	1	600
地域懇談会	地域づくりの拠点機能を果たすために町内会、地域住民、利用団体、地域諸団体からセンター事業や施設運営について積極的に意見・要望を聞く場を設け、地域課題を把握すると共に市民センターに対する理解を共有し、さらに密着した対応に役立てた。	6月17日 11月11日	2	34
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダー同士の研鑽・交流の機会、子ども会や仙台市・青葉区等のイベントの要請に応える技能講習、各要請団体との連絡調整など、地域活性と自己研鑽の場として定例会を開いた。	通年	12	94
市民企画会議 「おばけ屋敷プロジェクト」	大学生が地域で活躍する場として市民企画会議の場を提供した。地域団体と関わりながら、子どもたちに向けたおばけ屋敷イベントを企画運営した。	7月～9月	8	91
市民企画講座 北山納涼祭ーおばけの館ー	寺社や墓所が多い北山の地域性を活用し、「学校の怪談」をテーマにおばけ屋敷を開催した。子どもたちが遊びながら地域に理解を深め、世代間交流が活発に行われ、地域活性化に繋がった。	8月27日	1	92
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を目的に児童と世話人へ学習機会を提供した。児童はリーダーとして行動する際の注意点・プログラム作り・ゲーム体験等を行い、世話人は講話や情報交換等で子ども会運営と改善方法を学んだ。	1月27日	1	56

福沢市民センター

〔沿革〕

福沢市民センターは、昭和59年6月9日、コミュニティ防災センターを併設し、開館。平成20年6月より大規模改修工事を行い平成21年1月14日に再開した。

当市民センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心として歴史を感じる雰囲気を感じ、今にとどめており、下町情緒に溢れている。反面、仙台市中心部からも近く、マンションも建ち並び新旧住民が混在した地域でもあり、ここ数年地域の総人口は増加に転じている。また、地域内に復興公営住宅が2カ所建設され、地域コミュニティの形成がより重要となりつつある中で、地域の交流の場として多くの人々に利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座「音楽交流会 in 福沢」		
参加者	どなたでも	延参加者	201人
開催日	全3回 8月4日(金)、12月9日(土)、3月3日(土)		
協力者・協力団体	昔遊び伝承グループ「福沢ちえ袋の会」、五城中学校生徒会ボランティア		
ねらい	管内の新旧住民や異なる世代が、楽器体験やワークショップなどを通してコンサートに参加しながら音楽に触れ、楽しみ、住民相互の交流を図る。また、地域の要望や情報を反映させ、ニーズに合った行事を開催し、地域の活性化に繋げる。		
概要・成果	市民企画会議を経て実施した講座 第1回「七夕コンサート」ソプラノ・ヴァイオリン・電子ピアノ演奏と七夕飾り作り 第2回「クリスマスコンサート」クワイア・チャイムの演奏と楽器体験・折り紙体験 第3回「ひなまつりコンサート」津軽三味線・箏・尺八演奏とミニおひなさま作り 「参加型のコンサート」をテーマにしたことで、楽器体験やワークショップを通し、一方的に音楽を聴くだけでは得られない地域住民同士の新たな交流を深める機会となった。また、地域で活動する音楽団体や指導者を講師に迎え、新たな人材ネットワークを構築することができた。		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
にこにこ親子クラブ ～パパもいっしょに～	「七北田公園であそぼう」「親子de防災・減災」「親子deプチ運動会」を行い、乳幼児親子が講座を通して交流・親睦を深めた。	5月27日 11月11日 12月6日	3	64
ジュニアリーダーと あそぼう！	ジュニアリーダーが小学生を対象に、ゲームやダンス、工作等を通して交流した。	3月 16, 27, 28日	3	160
中学生「職場体験学習」	中学生が窓口業務・講座企画・図書整理・館の点検等の市民センター業務の体験を通して、職業観を養い、自分の将来を考える機会を提供した。	7月5～7日 10月17～20日 11月7～9日	3	14
●福沢シニア大学	地域史、健康講話や体操、音楽、文化などの講座、館外学習の他、シニア大学運営委員会による企画講座、班懇談会、新年会を実施。センターまつりでの作品展示等の参加。	4月20日～ 2月15日	10	543

災害に備えよう	北六小学区や中江地区町内会との防災訓練、赤十字奉仕団との高齢者支援の赤十字講習、AEDを使った救急救命講習等を実施。また避難所運営や防火訓練なども行った。	5月24日～ 10月20日	6	400
◎わが町再発見“私の住む町 どんな町”	地域の諸団体と共催・連携しながら、「地域探訪」「七夕飾り作り」「こども広場」「地域交流寄席&交流会」「みんなの作品展」などを開催し、様々な世代の交流と親睦を図った。	5月25日～ 3月30日	15	568
北六番丁小学校連携事業	小学生と地域とをつなぐ場を作り、地域探検、接遇研修、和・話・輪フェスティバル、宮町商店街ポスター作り、昔遊びなどを小学校と連携して行った。ボランティア団体との世代間交流を図った。	6月13日～ 3月4日	10	930
社会学級共催事業「荒川知子とファミリーアンサンブル」	講話とリコーダー・フルート・ピアノのアンサンブル演奏により、生演奏を楽しむと共に、障害や多様性の理解を深めた。	11月1日	1	75
第28回福沢市民センターまつり2017	センター利用サークルや地域住民・近隣の児童生徒が、作品展示・舞台発表・出店販売等を通して交流した。	11月19日	1	1,452
福沢懇談会	地域住民・地域団体・近隣児童館と懇談会を実施し、地域課題の共有やセンターへの意見・要望等の収集、および情報交換を行った。	6月3日 1月25日	2	22
ジュニアリーダー「かめ吉」定例会	月1回の定例会とバルーンアート研修、中学校でのPR、自主企画行事を行った。	4月9日～ 3月23日	16	60
市民企画会議「音楽交流会 in 福沢」	企画員が主体となって意見交換や運営を行い、音楽を通して地域住民が交流できる催しを企画、開催した。	5月9日～ 3月3日	7	30
社会学級共催事業企画会議	地域の3つの社会学級と市民センターとの4者で会議を行い、事業を企画・実施した。	6月9日～ 12月8日	7	46
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会のリーダーとなる児童と世話人が、その活動に必要な知識や技能の習得とレクリエーション・ゲームのやり方などを学んだ。	1月20日	1	45

旭ヶ丘市民センター

〔浴 革〕

旭ヶ丘市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として昭和 60 年 6 月に開館した。地下鉄・バスの利便性が非常に良い立地にあり、また近隣は日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）、スリーエム仙台市科学館、仙台文学館等の学術文化ゾーンとなっている。さらに西側には市民から親しまれている台原森林公園が広がり自然環境にも恵まれている。当市民センターは、年間利用者が 10 万人近いことから市内全域を視野に入れ、現代社会における課題を踏まえ、地域資源・人材を活用した事業展開を推進し、多様なニーズに対応する生涯学習の場を提供するとともに、地域コミュニティの基盤としての役割を担っている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	★災害につよいまちづくり		
参加者	旭丘小学校区町内会等	延参加者	175 人
開催日	全 8 回 4 月 20 日(木) ～ 3 月 15 日(木)		
協力者・協力団体	旭ヶ丘連合町内会、旭ヶ丘南部連合町内会、旭丘小学校、仙台市科学館		
ねらい	避難所運営マニュアルに基づき、旭丘小学校区町内会において避難所運営に特化した訓練を実施し、これらを基に防災に関する話し合いを地域で継続していく。またこの知見を基に次期マニュアル改訂につなげていく機会提供をする。		
概要・成果	毎年行われる避難所運営訓練は、訓練内容が定番の仮設トイレ組立、発電機始動、非常用照明、障がい者、高齢者対応等だが、年度毎に異動する町内会役員（理事、区長、班長）にとって初めて経験する方も多し。毎年実施し、避難所運営を一度でも経験することにより地域の防災意識の向上や万が一の際の対応のスキルアップに寄与できる。なお、日程は地域の中学生の参加を得るため中総体の振替休日とし 19 名の参加を得た。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ホッとつぶく子育て談義	親子で簡単なおやつを作りながら、子育て中の方同士や先輩ママとの交流会を催した。	12 月 7 日	1	9
ジュニアリーダーとあそぼう	輪投げ、はてなボックス、スライム作りなど、旭ヶ丘市民センターまつりの一コーナーとして、ジュニアリーダーが自ら企画した小学生向けのあそびの広場を開催した。	10 月 15 日	1	40
13 歳からのコミュニケーション	台原中学校と共催で、入学直後の友達づくりにつながるコミュニケーションの取り方について講演会を開催した。	4 月 17 日	1	161
職場体験学習受入事業	中学生が就業体験を通して社会や地域の現状を知り、問題解決方法や業務の進め方を学び理解する機会を提供した。また働くことに関心を持ち、今後の学習の向上につなげた。	10 月 8 日 10 月 9 日 10 月 10 日	1	9
元気な旭ヶ丘 K I D S	小学生を対象に体験型学習を開催した。 ①磁石で楽しい実験②マスキングテープを使った工作 ③UVレジンを使ってストラップ作り④軍配作りと甲冑試着⑤革を使った工作	8 月 3, 10 日 12 月 16 日 1 月 20 日 2 月 18 日	5	77

旭ヶ丘老壮大学	多様化する社会の変化に対応できるよう、様々な分野で学習し、受講生同士の交流が図られた。	4月21日～ 3月9日	12	1,135
市民センターがやってくる	4町内会と共催し、サロンを開催した。童謡再発見、笑談音楽～歌って、笑って、いきいきと～、みんなで歌いましょう、懐かしい朝ドラ主題歌、見てきたような講談の世界へ。	7月27日 10月3日 11月2日 2月6日	4	108
旭ヶ丘の魅力	地域資源の活用講座として、台原森林公園の自然観察や健康的なジョギング方法の学習、科学館・文化センター・文学館のバックヤード見学等実施した。また、交通の利便性等、館の特色を生かしたコンサートを開催した。	5月20日～ 11月15日	7	153
市民企画講座 世界のひとと、ともだちになろう！	旭ヶ丘地区に住んでいる外国人と地域の方々が理解し合える講座として、外国の文化紹介、挨拶カードを使用しての交流、各国作品展示、カントリーラインダンスや盆踊りの実演を行なった。	12月2日	1	75
旭丘小学校社会学級共催事業企画会議	互いが把握している地域課題について話し合いを行なった。その課題解決のため、子育て中の方の支援を目的にした講座を企画・運営した。	5月18日 6月1日 9月6日 12月6,7日	5	12
旭ヶ丘市民センターまつり	旭ヶ丘台原地区の住民、旭ヶ丘市民センター利用団体、旭ヶ丘老壮大学受講生が、活動や学習の成果を発表した。ステージ発表、作品展示、あそびの広場、健康相談コーナー等を開催。	10月14,15日	2	4,000
旭ヶ丘地域懇話会	地域の課題や生涯学習等について地域団体代表者及び有識者と懇談会を通して情報収集する機会とし、課題を共有して地域づくりの促進につなげた。	5月24日 11月16日	2	26
ホテルの里サポーター支援講座	台原森林公園内に生息するゲンジボタルを守るため、「仙台旭ヶ丘ホテルとメダカの家」と協力して環境整備活動を行なった。また、ホテルについて学んでもらうため、ホテルクイズや、学習会・観察会を開催した。	4月8日～ 3月10日	10	110
ジュニアリーダー育成支援	ジュニアリーダーがスムーズな活動をできるよう、定例会の支援をした。また、スキルアップにつながるように講師を招いて工作やスライム作りの研修会を開いた。	4月4日～ 3月18日	9	23
市民企画会議	市民企画員を公募し、旭ヶ丘地区で何が必要とされているかを考え講座を作り上げた。企画員が広報や講師の依頼、講座の実施まで担当した。	6月30日～ 12月2日	9	24
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童・世話人向け研修会。児童向け（講話・実技）：子ども会活動について、世話人向け（講話）：子ども会と世話人の役割、全体演習（実技）：ジュニアリーダーによるレクリエーションゲームの進め方	2月3日	1	58

三本松市民センター

〔沿革〕

三本松市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には野鳥や山野草に恵まれた三本松緑地公園が隣接している。堤町は、現在は窯の火は消えてしまったものの、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和 62 年 4 月 1 日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(35 台)、舞台付で約 50 畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート 1 面、バレーボールコート 2 面、卓球台 10 台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。平成 27 年度に大規模修繕を実施し、平成 28 年 4 月に再開した。

[★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業]

〔特色ある事業〕

事業名	堤町再発見		
参加者	成人	延参加者	42 人
開催日	全 4 回 8 月 31 日(木)、9 月 7 日(木)、9 月 21 日(木)、10 月 5 日(木)		
ねらい	堤町は、良質の粘土が産出されたことから堤焼きや堤人形が生まれた地域であるが、それらを知る人々は年々少なくなっている。当館では、この歴史ある堤焼きや堤人形を含め、堤町について学び、それらを伝える事業に継続して取り組んでいる。		
概要・成果	今年度は、江戸時代から近代までの地図から堤町の変遷をたどり、梅田川を含めたまち歩きを行い、過去と現在の変化についてより理解を深めることができた。さらに、堤人形の絵付け体験では、伝統工芸の良さを体験し、愛着を深めることができた。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育て支援講座 三本松ちびっこひろば	親子を対象に、わらべうたと絵本、親子ヨガ講座を行い、託児付で母親向けにリラックスして楽しむヨガ、簡単米粉ピザ講座を行った。	6 月 6 日 7 月 4 日 9 月 5 日 9 月 12 日	4	54
三本松寺子屋	台原小学校で牛乳パックはがき作り、パドルテニス体験、絵手紙講座、荒巻マイスクール児童館で紙芝居講座、台原児童館で藍染体験、市民センターでベガ号による天体観望会、お菓子作り講座の体験学習を行った。	7 月 21 日～ 3 月 24 日	8	192
バスケットは面白い	体育館の個人利用の若者が小学生にバスケットボールを指導し地域貢献への意識を高めた。また利用者が運営主体となり 3×3 バスケットボール大会を開催し技術を高め交流した。	7 月 22, 29 日 11 月 12 日	3	90
台原中学校 PTA 共催事業 中 2 病のすすめ	全校生徒を対象に、自分と他者の価値観を共有し理解し合うことの大切さを学ぶ「中 2 病のすすめ」の講演とワークショップを行い、保護者と地域の方々も参加した。	11 月 17 日	1	683
市民企画講座 人生の終い方	多様化している人生のエンディングに向けての選択肢。最近の葬儀・お墓事情、介護保険と高齢者施設、後悔しない相続等を中心に、心身ともに元気なうちに考え、準備しておいた方がよいことについて学んだ。	11 月 2 日 11 月 16 日 11 月 30 日	3	89

《青葉区》

三本松老壮大学	地域の高齢者が心身共に健康で豊かな生活を送れるよう、歴史、健康に関する講話や軽体操等実技の学習の機会を定期的に提供し、受講生同士の交流を図った。	5月10日～ 3月7日	10	404
三本松ロビーコンサート	市民センターロビーで、地域住民交流のためフルートとギターコンサート、アイリッシュ音楽コンサートを開催した。また堤町あしぐろ保育所と共催し幼児と地域の親子を対象にトーンチャイムコンサートを行った。	7月13日 9月29日 11月11日	3	147
三本松緑地活性化講座	オリエンテーリング、緑地探訪とミニリース作り、落ち葉堆肥作り、野鳥観察会を開催し、三本松緑地公園の自然に親しむ機会を提供し緑地の良さを周知した。	4月8日～ 2月17日	8	85
◆三本松緑地活性化委員会	三本松緑地活用事業の打合せを行うとともに、住民に周知させる策として緑地案内板と道標の設置を計画し打合せをして設置作業を行った。また三本松緑地活性化委員会独自事業で初日の出を見る会を開催した。	5月10日～ 2月9日	11	59
台原中学校PTA共催事業企画会議	台原中学校とPTA研修・交流員会と協力して、中学生が自己肯定感を高め学校内外での対人関係を円滑にできるよう「中2病のすすめ」を企画した。	6月2日 7月12日 11月17日 2月9日	4	48
図書まつり	読書推進と図書室周知のために親子ふれあい遊び、コンサート、調理実習、川柳募集と入選句の掲示、リサイクル図書等を行った。また図書ボランティアスキルアップ講座で絵本の紹介、読み聞かせ、紙芝居実演を学んだ。	9月27～30日 10月22日	5	288
三本松市民センターがやって来る！	市民センターへの来館が難しい地域の方々のために、地域の集会所へ出向いて布のブローチ作り、ドレスうさぎ作りの手芸講座や3B体操講座を開催した。	7月7,14日 8月4日 1月18,25日	5	35
三本松市民センターまつり	市民センター利用サークルと個人、台原中学校等のステージ発表と作品展示、健康コーナー、お茶席、子供向けコーナー、図書リサイクルコーナー等で日頃の学習成果を発表してもらい、地域交流を図った。	10月22日	1	366
★地域防災について学ぼう	市民センター近隣町内会役員と住民を対象に仙台市地域防災計画の自助・共助についての説明をし、避難所の種類と運営方法、避難の手順、災害情報の入手法などを学んだ。	12月16日	1	16
地域懇話会	1回目は市民センター近隣の町内会役員の方々と地域課題や市民センター事業について情報交換を行い、2回目は近隣住民に対し30年度予定講座に理解と協力を要請した。	9月2日 2月24日	2	26
市民企画会議「ティータイムサロン in 三本松～人生の終い方を考える～	人生の終い方について元気うちに考え、これからの人生をよりよく過ごすために必要な事について情報収集と話し合いを重ね、講座の企画・実施をした。	6月1日～ 11月30日	9	44
庭木剪定講座	地域の美化とボランティア活動につなげる事を目標に、樹木の剪定についての講話と技能習得のために剪定実習を行った。	11月12,18 ,25日 12月2日	4	54
インリーダー研修会	次年度の子ども会リーダーである児童は年間プログラムの作り方、世話人は世話人の役割についての講話と情報交換を行い、レクレーションゲームの進め方を合同演習した。	2月2日	1	73

片平市民センター

〔沿革〕

片平市民センターは平成元年、児童館とコミュニティ防災センターを併設して、東北大学農学研究所跡地に開館した。市内中心部に位置し、交通が便利なこと町内会など地域の団体ばかりでなく、全市民的な市民活動の場として盛んに利用されている。

また市民センターが立地する地区は、市街地にありながら広瀬川がつくり出す独特な地形と、仙台城や経ヶ峯の豊かな自然に囲まれたところである。さらには歴史的な資源に恵まれ、大学の研究機関などが隣接する。

こうした地域の資源を活かした生涯学習プログラムの提供や、市民の自主的な活動の支援、併設する児童館との共催事業の提供を通して、地域に貢献している。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	盛り上げよう地域のイベント		
参加者	地域住民	延参加者	56人
開催日	全4回 8月18日(金)19日(土) 1月17日(水)20日(土)		
協力者・協力団体	片平地区まちづくり会 片平丁小PTA かたひら父サポーター		
ねらい	片平地区は、夏まつりや餅つき大会など世代を超えた交流、コミュニティの活性化、伝統行事の伝承を目的にイベントが開催されている。しかし担い手の高齢化が進み、後継者が不足している現状がある。そこでこの問題を解消し目的を達成するために地域の伝統や技術を次世代につなぎ、地域イベントをより多くの人を楽しんで意欲的に関われるよう支援する。		
概要・成果	片平地区まちづくり会主催の8月の夏まつりにおいて、盆踊り練習会を開催した。子ども達が地域の大人から指導を受ける姿も見られ世代間交流が図られた。当日は雨天の為体育館の中での開催となったが参加した児童と保護者が一緒に踊る姿や外国の方が踊る姿もあり、日本の伝統文化を知るいい機会となった。1月の餅つき大会では、もち米蒸かしのボランティア養成講習会を開催し、6人の方が参加した。当日は60升の餅米を蒸かし今まで参加したことが無かった地域のイベントを知る機会となり大いに餅つき大会を楽しんでいた。また、ボランティアの中に他所から引っ越してきた方もいて片平地区のイベントを知る機会となった。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で親しむ片平の自然	片平公園で「虫の声を楽しむ会」、竜ノ口峡谷で「親子で竜ノ口探検」を実施した。	9月9,30日	2	54
かたひらキッズワールド	7月に2日間に渡って「木工レターラックを作ろう!」、2月に宮城県工業高等学校と「県工でものづくりをしよう!」を実施した。	7月~2月	3	58
広瀬川界限ぶらり散歩2017	広瀬川界限をボランティアの案内で花壇・大手町コースや米ヶ袋コース、片平コースなどを散策した。	5月~3月	10	179

片平シニア隣経大学	歴史や防犯に関する講話や川柳のワークショップ。博物館観覧。運営委員の協力の元運動会や企画講座で歌声喫茶など。	5月11日～ 2月8日	9	412
★防災講座 ペット同行避難	ペット同行避難について講話と実技を実施し、片平地区総合防災訓練でペット同行避難ブースを開設した。また防災・減災ゲーム「BOTA」片平丁小すぐろくバージョンを片平丁小で実施した。	5月27日 6月10日 10月21日 1月31日	4	236
片平人に優しい街づくりフォーラム～猫でつながる人と人	「飼い主のいない猫」について「音楽物語」や講演会で啓発。町内会での取り組み支援。	7月～3月	8	139
片平ひだまりサロン	出前サロンや市民センター主催サロン、サロンボランティアメンバーへのスキルアップ講座を実施した。	4月12日～ 3月15日	24	294
片平すずめ踊り祭連 参上！	太鼓作りのワークショップと踊りのリーダー養成講座を開催した。	1月～3月	6	33
片平ウィンターコンサート	片平市民センター利用の音楽サークル5団体と児童クラブのミュージックベル、五橋中学校合唱部の発表。	12月2日	1	180
かたひらw a i w a i 広場	小・中・高校と地域の学生がフル参加して日頃の活動の成果の発表。地域で活動している団体が連携して交流を深めた。	10月14日	1	1,100
片平市民センター懇 話会	市民センターの事業を地域諸団体に説明し、意見交換及び情報交換を行い、地域課題やニーズに合わせた効果的な事業展開の方向性決定の参考とした。	5月24日 1月23日 1月31日 2月10日 2月26日	5	58
◎●片平公園活性化 プロジェクト～地域の 宝みんなの片平公園！	片平公園の花壇作り、野外ライブ、落ち葉で遊ぼうなどのイベント、片平丁小学校の授業サポートを行った。	通年	20	414
市民企画会議 片平国際交流企画会	国際交流を目的とした講座の企画会と講座実施。	1月11日 2月14日 3月8～10日	4	11
市民企画講座 グラウンドゴルフ& 交流会	国際交流を目的とした、室内グラウンドゴルフ大会と交流茶話会を実施した。	3月10日	1	25
インリーダー研修会	子ども会活動についてゲームを通して学び、子ども会と世話人の役割について考えた。	1月27日	1	23

水の森市民センター

〔沿革〕

水の森市民センターは、広く市民の憩いの場として親しまれている自然豊かな水の森公園の水の森入口に立地している。管内は昭和 30 年代半ばから宅地開発が進んだ水の森、東勝山、桜ヶ丘、川平等の閑静な住宅地を擁する地域である。

当市民センターは、児童館・温水プール・コミュニティ防災センターを併設する複合施設として平成 2 年 9 月にオープンした。斬新な外観の施設は地域のランドマークとして親しまれ、一年を通して多くの利用者が訪れる。2 階の広いロビーは、地域住民の情報交換や憩いの場として高齢者から幼児まで常に賑わいをみせている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座 「地域探険なるほどザ水の森！」		
参加者	成人	延参加者	39 人
開催日	全 4 回 10 月 28 日（土）、29 日（日）、11 月 7 日（火）、14 日（火）		
協力者・協力団体			
ねらい	「記録に残そう地域の記録」の冊子が発行され、地域の大きな資源を伝えるツールができあがった。冊子の発行だけで終わることなく、冊子を活かし、企画員が学んだ成果を発信し、地域を理解する人々の裾野を広げ、エクスカージョンを通して地域活動を支援する人材を発掘しながら次世代へとつないでいく。		
概要・成果	①第 1 回目「市民センター地域まつり」において『記録に残そう地域の記憶』冊子と地域マップの展示(10 月 28 日、29 日) ②第 2 回目「古道を歩く」 水の森周辺地域を散策。昔の地形と今の地形はどう変わったかを見て歩いた。(11 月 7 日) ③第 3 回目「仙台川を巡る」 仙台川はどこにあるか？そしてどこに流れていくのかを見て歩いた。(11 月 14 日) 参加者からは古街道と古海道の違い発見や仙台川が始まる水路発見など歩いて見つけ感動があったと評判だった。企画員からは、今後、地域の魅力をどのような形で発信していくのか、四季折々の季節の変化のすばらしさなど地域の良さを紹介したいとの話が出た。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子ほっとタイム	乳幼児を持つ親子が育児で孤立しないように、心身のリフレッシュや育児に対する意欲を与え、楽しみを見出すきっかけを提供した。アロマオイル、リラクゼーション、パステルアートを実施した。	6 月 8 日 6 月 22 日 7 月 6 日	3	11
水の森キッズクラブ	子どもたちに異学年との体験交流や自然と触れ合う機会等を提供した。表現ワークショップ、ダブルタッチ、縄文体験、美術館見学を行った。	7 月 26 日 9 月 9、30 日 12 月 16 日	4	56
中学生職場体験	市民センターの職場体験を通して、社会人として働く上でのマナーを学び、自分の将来について考える機会を提供した。窓口業務体験、環境整備、講座の補助を行った。	11 月 13～16 日	1	2

《青葉区》

キラリ☆ウーマン倶楽部	40代以上の女性が地域で活動するきっかけとすため、つながりや仲間づくり、交流が広がる講座を実施。森林セラピー、街中探検、ストレスケア、アロマ、和菓子作りを実施した。	5月26日 6月2日 7月14日 9月15,29日	5	54
水の森シニア学園	高齢者が健やかに過ごし、元気に生き生きと心豊かに学習に意欲的に取り組むことができるように、多様な内容を提供。健康体操、認知症予防の工作、歴史講話、コンサートなどを行った。	5月18日～ 2月15日	8	279
荒巻地区・桜ヶ丘地区 出前講座	市民センターに来ることが不便な2地区に対し、出前講座を実施した。生涯学習に触れる機会を提供。認知症を理解する寸劇、歴史講話を行った。	2月17,18日	2	78
水の森防災学校	北仙台地域防災ネットワーク会議の活動をサポートしながら、防災学校を実施した。東日本大震災の講話、町内会対象のワークショップなどを行った。	6月17日 9月2日 12月2日	3	139
水の森防災学校企画 会議	北仙台地域防災ネットワーク会議と連携し、防災力向上を目指す講座を実施するために企画会議を開催した。	4月8日～ 2月3日	6	50
水の森市民センター 地域まつり	実行委員会が主体となって協働してまつりを企画、運営した。市民センターや地域で活動する団体やサークル、学校などが一堂に会して、ステージ展示、抽選会、模擬店、バザーなどを実施した。	10月28,29 日	2	1,490
社会学級連携事業企 画会	市民センターの近隣にある3つの社会学級と連携して地域活性化を目指した講座を企画した。	6月20日～ 12月6日	5	23
水の森懇話会	地域団体や学校関係者と広く意見交換し、事業運営に理解を深めてもらうとともに、地域課題や利用者のニーズを把握し、地域の連携事業や行事日程のすり合わせを行った。	5月24日 6月14日 1月26日	3	18
社会学級連携事業 水の森ロビーフェス	市民センターの利用拡大（中高生や若い世代）と社会学級の活動への理解を深めるため、誰でも気軽に立ち寄れるコンサート（大道芸）を開催した。	11月8日	1	135
仙台すき♡すきコンサ ート	来館者が気軽に参加できるピアノとバイオリンコンサートを開催し、複合施設の存在を地域にPRする機会とした。秋季休業期間の子どもの居場所づくりの一助とした。	10月11日	1	95
ジュニアリーダー定 例会	「みずの森リーダー'S」の活動支援や情報交換、スキルアップのための研修会などを実施した。また、まつり準備のために臨時会議も開催した。	4月30日～ 3月18日	13	59
市民企画会議 地元を知ろう市民企 画会	「水の森まちの語り部養成講座」「記録に残そう地域の記憶講座」の参加者や地域活動団体の構成メンバーを企画員とし、学んだ成果を発信する講座を企画した。	4月7日～ 1月30日	9	47
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため子ども会のリーダーとなる児童及び世話人を対象に研修会を開いた。子ども会運営についての講話と実技を行った。	1月20日	1	48

貝ケ森市民センター

〔沿革〕

“貝”をモチーフにしたデザインが館内随所に配された貝ケ森市民センターは、貝ケ森地区に平成5年4月、児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあつて、その瀟洒な建物は、隣接する貝ケ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

風光明媚な貝ケ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などに恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	★防災情報発信講座 ～中高生のための防災リーダー講座～		
参加者	仙台第一中学校生徒、仙台高校防災委員	延参加者	650人
開催日	全3回 9月7日(木)、11月2日(木)、11月7日(火)		
協力者・協力団体	仙台市立第一中学校、仙台市立仙台高等学校、東北福祉大学防災士、仙台市危機管理室減災推進課、国見消防出張所		
ねらい	「市民協働による地域づくり」を目指し、中高生を対象に「防災リーダー」を養成することを目標にして講座を開催する。		
概要・成果	「中高生のための防災リーダー講座」として防災への意識の向上、地域防災に関わるきっかけ作りのため、仙台市立第一中学校(1回)及び仙台市立仙台高等学校(2回)で実施した。第一中学校では初めての試みとして、放送室から防災トークを行い全校生徒がリスナーとして参加する方法をとり、その後の避難訓練に役立てた。仙台高校では平成28年度と同講座をきっかけに設立された「防災委員会」の委員を対象に、仙台市地震アドバイザーや仙台防災アドバイザーの講話を実施し、防災知識の向上を図った。アンケート集計結果から、中高生の意識の高さ、そして今後もより多くのこと学び、発災時にはこの受講経験を活かしたいというたくさんの意見や感想が聞かれたことから、目的を十分に果たせたと考えている。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子の課外活動	親子が一緒に楽しむ時間は必要である。親子で共通の体験をする機会を提供し、コミュニケーションの機会を増やすことで、子育て支援の一助とした。	6月10日～12月9日	4	51
ちびっこまつり	地域の子育て情報を交換する機会とし、親子同士の交流と仲間作りを支援する。児童館併設の利点を活かし地域の子育て支援の団体が連携することで、地域の安心・安全な子育て環境を強化した。	10月6日	1	129
職場体験学習	中学生が適切な職業観を持ち、自分の将来について考える機会を提供した。施設運営の基礎的知識、生涯学習事業の企画立案など。	11月14～17日	1	5

インリーダー研修会	国見小学校、中山小学校、川平小学校の子ども会のリーダーと次年度世話人を対象に実施し、講話や実技を通して子ども会の活性化を支援した。	2月17日	1	83
中学生のハローワーク	職場体験をする前の中学校一年生に対して、実社会で各種の職業に就いている方々から仕事に関する話をきくことで、将来幅広い職業の中から自分に合った職業を選択できるようにするための一助とした。	9月26日	2	394
貝ヶ森ソーラン隊養成講座	貝森小閉校にあたり貝小ソーランを引き継ぐ形でスタート。28年度は国見小でも取り組んでおり、貝森小出身にこだわらず参加できる下地作りができた。ソーランを通じて子ども達の居場所づくりを行った。	8月5日～ 12月3日	9	71
貝ヶ森で楽しむ水彩スケッチ	魅力的な地域の風景を、水彩画を描くことを通じて、発見・再確認し、地域への関心や愛着を深める。また、制作した作品を貝ヶ森地区文化祭で展示発表し、地域の魅力を発信することを目指した。	9月14,21日 10月12,19 ,28日 11月9日	6	69
楽しく歩こう！～雷神堂界限をたずねて	企画員が案内役を務め、楽しく歩く講座を開催。今まで見過ごされてきた小さな脇道を通ったり、道端の石碑や古道の跡を見たりする機会を通じて、新たな地域の見どころを地域の方々に紹介した。	9月15日	1	11
●貝ヶ森シニア学園	高齢化が進んでいる貝ヶ森地区は、高齢者向けの学習活動のニーズも高い。高齢者が月に一度、市民センターを会場に集い、楽しく学ぶことを通じて、いきいきと生活することを目的として開催した。	5月24日～ 3月7日	10	521
四季の杜 サロンコンサート	29年度は演奏だけでなく、解説や体験の機会提供も取り入れる。児童館と共催で乳幼児親子が来場しやすい環境を作り幅広い世代が来館しやすい講座づくりを目指した。	6月18日～ 3月20日	5	337
豆まき会	幅広い年齢層が参加しやすい伝統行事を開催し、新・旧住民の世代の違う住民同士が楽しみながら交流する機会を提供する。また、共催によって、より幅広い層の参加を促進し、地域団体との連携の強化につなげた。	1月27日	1	126
いっしょにじぶん磨き～世界のお茶を飲みながら	現在増えつつある家族で地域に住む外国の方から異なる環境でお互いに理解し合い共生する事の大切さを学び、地域住民間の相互理解へ生かした。	11月17日 12月13日	2	43
社会学級企画会議	普段から地域に根ざした学習活動をする国見社会学級の方達の視点を活かして、地域課題について検証し、より地域が活性化していくための事業を企画した。	6月7日～ 12月13日	10	41
貝ヶ森交流サロン	様々な分野の集いを設け、都度の申込みで気軽に楽しく参加できる講座とし、引きこもり防止、市民センター来館のきっかけや地域の方同士の交流促進の一助とした。	5月25日～ 2月27日	6	189
◎まち創り in 貝ヶ森	地域のジオラマを作り、自分の住む町の問題点を自ら洗い出して、防災を含む安全・安心なまち創りを積極的に考える機会を提供した。	8月21日～ 3月24日	9	177
貝ヶ森地区文化祭	参加サークル団体も実行委員に加わり企画、運営、実施の作業を通して、より一層地域の交流と絆を深めることを目指した。	10月28～29日	2	1,550
街かどコンサート「男声合唱でお贈りする美しいハーモニー」	市民文化事業団と共催で若年層向けのコンサートを開催し、今まで来館者数が少なかった若い世代に市民センターに足を運んでもらう機会とした。	3月3日	1	68
地域懇話会	市民センター事業の運営に役立てるため、連合町内会、各学校及び地域諸団体の持つ様々な課題を共有した。	10月20日 2月16日	2	32
市民企画会議	歴史的講話をからめた散策の講座は、申込開始日に定員に達するなどニーズ高い。受講者の「もっと開催してほしい」という声を踏まえ、企画員自ら興味と楽しみを持って、地域の隠れた魅力発信を企画した。	4月20日～ 11月1日	8	30

中山市民センター

〔沿革〕

中山市民センターは、旧中山コミュニティセンターを増改築し、平成7年4月に児童館を併設して開館した。近隣には月急山公園、うどう沼公園があり、街路のケヤキや桜並木に囲まれ緑豊かな自然にあふれている。地域では、街道市や七夕祭り、スノーマン祭り、とびの子祭り、学区民運動会、老人クラブ演芸大会、町内会夏祭り等地域団体が主催する行事が活発である。

当市民センターが受け持つ中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが増え、新しい町並みを形成している。また、近くに「せんだんの杜」、「せんだんの里」等の介護や福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲の高い地域である。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	●◎花と緑のエコタウンづくり事業		
参加者	地域住民	延参加者	82人
開催日	全10回 4月8日(土)～11月25日(土)		
協力者・協力団体	青葉区中央市民センター、中山小学校、中山中学校、明成高校、西勝山町内会、中山西第二町内会、中山西寿会、中山児童館		
ねらい	中山地域は公園や街路樹など緑豊かで秋の紅葉も美しく、道行く人の目を楽しませてくれている。一方、夏場の雑草や初冬の落葉の処理で住民が苦勞している。そこで、学校や町内会で行っている地域清掃で集められた雑草や落葉をゴミとせずに堆肥化して、公園や児童館・市民センター、家庭の花壇や菜園で再利用し、資源循環型の環境作りを目指す。併せて活動を推進する地域人材を育成し、身近でできる環境保護の意識向上と地域住民の交流を図る。		
概要・成果	28年度までは堆肥作りを中心に活動してきたが、29年度は堆肥活用講座として野菜の苗を植え、収穫し調理実習を行った。また市民センター内のハーブやバラを利用してリースを作り、作品はセンターまつりで発表した。堆肥作りのための発酵についても学び、花や野菜作りに興味、関心を高める場を提供した。学校の地域清掃などで集められた落葉を利用し堆肥作りも実施した。活動は幼児から高齢者まで様々な年齢層の地域住民が集まって行われ、市民センターを媒介にして、住民が楽しみながら地元の自然環境へ目を向けるきっかけ作りとなった。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
小正月を祝おう	老人クラブ等地域団体と連携・協力し小学生と幼児親子が「小正月」の行事を体験した。小正月の由来についての話しを聞き、餅つき、みずきへの飾りつけを行った。	1月6日	1	44
かわだいらお楽しみ劇場	親子で、リトミックやコンサートを楽しんだ。講座終了後は、子育て支援グループと社協が茶話会を開催し、受講生の交流の場となった。	6月16日	1	15
昔あそびを楽しもう	地域の高齢者や保護者が、中山小1年生と昔遊び(お手玉、おはじき、紙鉄砲、紙トンボ、かるた、けん玉、こまなど)を通して交流した。	12月2日	1	112
ジュニアリーダーと作って遊ぼう	川平学びのミュージアム主催のイベント内で、ジュニアリーダーによるコースター絵付の補助やバルーンアートコーナーにて、地域の小学生に指導した。	7月15日 10月14日	2	300

《青葉区》

中学生職場体験	中学生が成長していく過程で、学力の向上はもとより、他者との関わりを通して望ましい勤労観、職業観、自立していく力を養う機会とした。	8月22～24日 10月17～20日	2	7
私が守る家族の健康—生活習慣病予防講座	初回は生活習慣病について医師講話や自己紹介を兼ねて普段の健康を話題に参加者でミニ交流。2回目からは個々の体力測定後、自宅で続けられる運動指導や野菜不足を補う調理実習を行い家族の健康を考えた。	11月8日～ 12月6日	4	52
中山銀鈴倶楽部	歌唱やハンドベルの体験、健康・書体・仙台藩主などの講話、ユアテックスタジアム仙台を見学する館外学習、健康マージャン体験などバラエティに富んだ学習を提供し、受講生の学習意欲や興味に応えた。	5月12日～ 2月9日	10	409
地域を盛り上げよう はじめの一歩	写真の撮り方を学び、中山商店街で行われている七夕飾りの写真を撮り、講評し作品をセンターまつりで飾った。	7月29日 8月26日 9月15,16日	4	5
防災講座	東日本大震災後の反省から住民の自助による災害対応の学びが必要という意見があり、地域の総合防災訓練に市民センターとしてブースを設けて参加し、地域住民の災害対応力の強化充実を図った。	9月9日 11月11日	2	34
おかのまちふれあい コンサート	第1部は中山市民センターを利用している音楽サークルによる演奏、第2部は在仙の音楽家による演奏を行った。	11月18日	1	77
中山市民センター・児童館まつり	地域の諸団体や中山市民センターを拠点とするサークル団体のステージ発表や作品を展示。また地域の授産施設の製品を販売。児童館との同時開催で子どもからおとなまで楽しめるまつりとなった。	9月15,16日	2	793
懇話会	地域関係団体・機関と協議し、市民センターとしてコミュニティづくりを支援するため、より実効ある事業を実施し、地域課題が解決できるようにするために実施した。	6月17日 10月21日	2	17
SKY 定例会	月1回の定例会を開催し、心得や心構えなどを学んだり、工作やダンス、バルーンなどの研修を行った。また要請確認、研修や大会などの報告、ハロウィンパーティーやクリスマス会、三送会を開催。	4月23日～ 3月25日	12	110
市民企画会議 中山 地域の魅力をさぐる 講座を企画しよう	企画会議の中で、高齢化など地域が抱える課題が出され、できるだけ多くの人が集まって、楽しみながら交流できる内容について話し合い講座の実施にあたった。	5月18日 6月22日 7月14日 10月4日	4	8
市民企画講座 中山 今昔物語「仙台のむかし・中山のむかし…そして今」	紙芝居「庄の助さんとオオカミ」鑑賞、DVD「90歳フィルム」視聴後、昔を懐かしみながらグループごとに話し合い、発表し、内容を共有した。	11月29日	1	31
インリーダー研修会	中山小・川平小・国見小の5年生と保護者を対象に、次年度の子ども会活動の充実化を図るため実践的な研修を行った。	2月17日	1	83
サークル体験会	太極拳やストレッチ、社交ダンスなどの運動系サークルが10団体、書道や絵画などの文科系サークル6団体で参加者を募集し、体験会を実施した。	6月2日～ 7月12日	14	18

折立市民センター

〔沿革〕

折立市民センターは、平成7年5月30日に市内50番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターは仙台市中心部から西方約5kmの地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山があり、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開けており、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。

施設には可動式のステージが備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた49畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理実習室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	折立おやこ農園		
参加者	小学生と保護者	延参加者	237人
開催日	全10回 4月23日(日)～12月3日(日)		
協力者・協力団体	農園ボランティアの皆さん		
ねらい	生活の中で食や自然の恵みを実感する機会が少ない現状の中、地域資源でもある畑を活用して親子一緒に、野菜の栽培をとおし食や自然について学ぶことで、親子の共通話題づくりとする。また講師を地域住民の方や農園ボランティアさんに支援してもらうことで親子と異年齢交流を図る。		
概要・成果	参加者は共通で同じ苗とそれぞれが作りたい苗を植栽した。全く経験のない人、畑好きな人などで差はあったが手慣れた指導とボランティアの応援をいただきながら、それぞれの家族が思いを込めて作業する姿は体験型講座としておおいに興味をひくことができた。夏以降の天候がよく野菜は順調に育ち収穫を楽しんでいた。回を進めるごとに参加者の気持ちも打ち解け、お互いの生育情報交換の姿が見られた。またボランティアは手慣れた様子で作業を応援し、子どもたちと共に作業する風景は微笑ましく見えた。参加者にとって講座の野菜の育成や調理を通して食べ物の大切さなどを改めて考える機会になった。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子たいけん隊	「イライラ棒ゲーム」や「からくり蝶番」などの工作や「ミニ門松作り」、「小正月行事だんごさし体験」、「味噌作り」などの伝統行事体験。	7月15日 9月30日 12月23日 1月13日 2月18日	5	111
★小学生の防災教室 ～ワークショップで 防災を学ぶ～	小学生がグループに分かれて、災害時の自分の行動をスタンプラリー形式で考え、意見をまとめ発表した。	11月16日	1	69
★中学生の防災教室 ～僕たち私たちの力 ～	救急救命訓練や炊き出し訓練、仮設トイレ、投光器の組立体験などを実施した。	5月25日	1	105

地域の里山を歩こう！	権現森、蕃山といった地域の里山でトレッキングをしながら豊かな自然にふれ、地域資源を守り育てる一助とした。	5月7日 11月10日	2	12
折立老壮大学	文学館職員による講話や地域講師による講話、クリニカルアート作成、介護講話とコンサート、学生による寄席観賞など運営委員とともに検討したプログラムを実施した。	5月18日～ 2月15日	10	350
★災害に強いまちをめざして	土砂災害の危険性や災害情報の入手等防災対策を学ぶとともに、避難所協力員を含めた避難所開設訓練を行った。	2月11日 3月11日	2	117
◎人が地域を創る—折立素敵物語—	すでに制作済みの昭和45年当時のものにつき、平成28年版の地形模型を制作したほかDVD制作及び実行委員による成果発表会などを実施した。	7月20日～ 3月16日	21	304
第9回折立風のメロディーコンサート	折立市民センターを拠点に活動している音楽サークルの発表、及び合同演奏会とゲスト演奏。	7月8日	1	168
第15回折立ふれあいまつり	幼稚園、保育所、小中学校、サークルによる演芸や作品展示、出店、児童館による子どもあそびスペース、フリーマーケット。	10月28日	1	1,467
折立地域交流会	高齢者と若い世代の交流を図り、世代間交流を通して顔の見える地域づくりにつなげた。箏、三味線、尺八の邦楽演奏や児童館パフォーマンス、小学生ダンス、豆まきなど。	2月3日	1	104
折立市民センター懇談会	地域の単位町内会や諸団体との意見・情報交換。	4月26日 12月3日	2	40
昔遊び伝承事業	昔遊びボランティア「わらすこ」との自主研修と小学生との昔あそび体験、小学校や他センターへの出前授業、児童館まつりでのコーナー設置、児童館と共催した「わらすこまつり」の実施。	5月11日～ 3月1日	15	142
市民企画会議「市民センター講座を考えよう」	企画員自らの経験や知識を活かして地域住民が気軽に参加でき心身ともに豊かに生き活きと暮らすことができるような講座を企画・実施した。	6月8日～ 3月8日	9	27
市民企画講座「世界のおいしいところ発見！パートⅡ」	折り紙体験、みそ作りといった日本の文化体験や中国、フィリピン、ルーマニアの料理やデザート作り、インド、モンゴルの楽器コンサート。	8月29日～ 2月18日	6	168
インリーダー研修会	児童に向けた危険予知トレーニングやゲーム研修と成果発表。世話人に向けた子ども会と世話人の役割についての講話、他子ども会世話人との情報交換と懇談。ジュニアリーダーを中心にみんなで楽しむゲーム体験を行った。	2月10日	1	23

木町通市民センター

〔沿革〕

木町通市民センターは、木町通小学校の改築に伴い、平成 16 年 4 月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5・6 階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁・学校・病院・商業施設・マンションが建ち並び、従来からの一戸建ての住宅はほとんど見られなくなった。この地域では若い単身世帯や乳幼児の子育て世代の 40 代が多く、20 代、30 代、50 代、60 代と続く人口構成となっている。

当市民センターはこうした環境の下、複合施設の利点を生かし、地域との連携を図りながら学びの場を提供することを目指している。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	◎きずな・まなび・ちから一みんなの北三番丁公園プロジェクト		
参加者	どなたでも	延参加者	310 人
開催日	全 8 回 6 月 3 日(土)、8 月 26 日(土)、9 月 30 日(土)、10 月 20 日(金)、 11 月 4 日(土)、11 月 15 日(水)、12 月 9 日(土)、3 月 3 日(土)		
協力者・協力団体	こよなく北三番丁公園を愛する会、木町地区社会福祉協議会、木町通学区連合町内会、木町地区民生委員児童委員協議会、北三番丁公園愛護協力会		
ねらい	平成 27 年度第 26 回緑の環境デザイン賞緑化プラン(公益財団法人都市緑化機構主催)において緑化大賞を受賞し、再生された北三番丁公園を地域活性化の核のひとつとして、公園を媒体とした事業を通して、町内会・小学校・社会福祉協議会等の地域団体と市民センターが連携し人づくり・まちづくりにつなげる。 また、地域住民が気軽に参加できるコンサートや地域で活動する団体を巻き込んだイベントを開催し、若い世代の地域への帰属意識を高め地域活動へつなげる機会とする。		
概要・成果	季節の花のまめ知識や植え方、手入れ方法を教わりながら公園内の清掃と花の植え替えや、仙台市天文台のベガ号を公園に誘致し星空観察会(開催日当日は雨天のためベガ号の見学と講義)を実施した。このほかに、ソプラノ歌手やピアニスト、フルート奏者と地域で活動している小学生合唱団によるクラシックコンサートや公園で育てた花や種を活用した万華鏡づくりを開催し、イベントの参加者にこよなく北三番丁公園を愛する会のメンバーが育てた花の苗や種を配布することで、公園で取り組んでいる美化活動をより広くアピールすることができた。 また、こよなく北三番丁公園を愛する会は、市民センターや児童館の講座で地域資源を活用したものづくりのサポーターや指導者として若い世代との交流を深め、さらには、小学校の総合的な学習の時間で公園内の樹木や花に提げる樹名板づくりの企画から運営に携わり、小学校との連携にも力を入れるなど地域の活性化のために積極的に活動し、地域を支える絆づくりに大いに貢献した。		

〔平成 29 年度(地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育て★ENJOY 広場	未就学児親子を対象に、森のおもちゃ図書館での遊び体験と、子どもが遊べる布おもちゃの製作を行なった。	12 月 6 日 1 月 18 日 2 月 1 日	3	40
WAKU ² キッズ	小学生を対象に、工作・食育・スポーツ体験・環境学習等学校や家庭では体験することの少ない学習機会を提供し、参加者間の交流も図った。	7 月 25 日～ 1 月 13 日	6	103

木町通小学校 PTA 花火まつり	地域のまつりとして定着している花火まつりにおいて、児童館と協力して小学生が楽しめるゲームを行なった。	9月22日	1	382
メンズキッチン	料理経験の少ない男性を対象に、食事作りを通して自分や家族のために健康的な食生活を送れるよう手軽で簡単につくれる料理を学ぶ機会と交流を深める場を提供した。	7月8日 8月19日 11月18日 12月16日	4	29
暮らしたいいき！健康力アップ	地域の高齢者を対象に、タオル体操、ストレッチ、腰痛ひざ痛予防体操の実技と、食事による健康管理や認知症について理解を深めるための講話などを実施した。	5月17日 6月28日 7月19日 10月25日 11月22日	5	93
木町通老壮大学	60歳以上の方を対象に、歴史、伝統、国際社会、防犯、医療、脳トレ、食育、音楽などの分野にわたって学ぶ講座を実施した。	5月11日～ 2月14日	10	432
木町通学区の「みんなで考える防災講座」	震災の経験を踏まえ、地域の方々に防災・減災に対する啓発のため、避難所運営ゲーム・ケガの応急手当・普通救命講習・防災資機材倉庫見学などを行った。	6月21,24日 10月21日 12月15日	4	147
木町通小学校社会学級共催事業企画会議	県外からの転入者が地域活動に参加し、仙台の歴史や行事についての知識を得られるような講座の実施について話し合い、講座の運営にも参加する。	4月6日～ 7月6日	11	33
木町通市民センター・じどうかんまつり	日頃市民センターを利用して活動しているサークルや地域で活動している団体等の学習成果の発表及び活動成果発表の機会を提供した。	10月14日	1	1,017
木町通市民センター・児童館運営懇話会	地域住民や市民センターで活動している団体の方々と意見交換をし、市民センター事業及び運営について広く意見を聞く機会とした。	5月25日 11月22日	2	21
木町通小学校連携講座	木町通小学校3年生が地域の折り紙サークルの方から折り紙を学んだ。夏は七夕の由来について話を聞くとともに、折り鶴を折って七夕かざりに付けて校内に飾った。冬はリース作りをした。	7月4日 12月6日	2	132
市民企画会議	木町通地域の現状や課題を抽出し、課題に対応する講座の実施に向けて話し合い、「きまちから情報発信」講座を企画した。	4月11日～ 10月24日	8	28
木町通小学校社会学級共催事業「せんだい夏 koyomi」	木町通地区は県外からの転入者が多いので、仙台七夕まつりをテーマにし、飾り作りや伊達藩のお茶、和菓子づくりを学び、地域を理解を深めた。	6月8,22日 7月4日	3	55
市民企画「きまちから情報発信！」	同じ地域で活動している団体がお互いに情報を共有し、また自分たちの活動を地域の方に知っていただくために「地域活動団体紹介シート」を作成し、市民センターのロビーから発信した。	6月6日 7月11,25日 10月14日	4	40
仙台市子ども会インリーダー研修会	レクリエーションゲームの進め方を学ぶ児童向け研修と、子ども会における世話人の役割を学ぶ世話人向け研修を実施した。	1月27日	1	4

広瀬市民センター

〔沿革〕

広瀬市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音をはじめとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和 24 年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和 62 年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台市宮城市民センターと改称、平成 3 年 6 月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の場所に移転した。

施設は広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	★●子ども参画型社会創造支援事業 カップダ川プロジェクト 2017		
参加者	小中学生（公開講座は小学生親子）	延参加者	173 人
開催日	全 21 回 4 月 16 日（日）～ 3 月 17 日（土）		
協力者・協力団体	仙台市青葉区区民部青葉区中央市民センター、ひろせの底力		
ねらい	平成 24 年から始まった本事業も、昨年度は地域内活動を精力的に行い、広瀬地域での認知度を高めることができた。また、本事業に参加した受講生もこのプロジェクトへ参加することで、自分たちがまちづくり、地域づくりに関わり、地域活性化の一役を担っている自覚が芽生えてきた。今年度は、さらに受講生の自主性を伸ばし、より精力的に活動するため自立支援を促進する。さらに、次世代の地域の担い手としての意識を醸成していく。		
概要・成果	今年度から月 1 回定例会を行い、ダンスの練習や諸連絡、活動を振り返る場とした。また、地域のまつり等に参加し、ダンスを広める一助とした。 さらに今年度は、新たな指導者を迎えダンスを披露するだけでなく一緒に踊れる新バージョンダンスに取り組み、市民センターまつり等で発表することができ、愛子児童館のワークショップでは、ダンス部が指導し一緒に踊ることができた。 公開講座の「カップダ川たんけん」で調べた川の様子や、参加者が描いた絵を市民センターまつりで展示発表し地域の方にも伝えた。 事業に参加した受講生は、ダンスを通じて地域の方と知り合うことで更なる交流を目指しており、活動の幅も広げようとしている。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●平成 29 年度宮城地区子育て支援プロジェクト 宮城地区こみゅ〜んひろば	宮城地区広域の既存の住民組織と協働し、子育て世代の居場所や交流の場を提供した。事務局会、定例会、イベントに向けた企画会、イベント「秋を遊んじゃおう！」開催、地域情報誌の発行。	4 月～2 月	17	521
ジュニアリーダー「くまっこ」と遊ぼう！	ジュニアリーダーの企画による、ジュニアリーダーの周知と活動への理解を深める場とした。おばけやしき、バルーンアート、もぐらたたきなど。	7 月 17 日	1	220
職場体験学習	地域内の中学校からの依頼を受け、併設施設の役割や業務内容の周知を図り多様な職業の体験の場を提供。	8 月～11 月	3	12
インリーダー研修会	宮城子ども会育成会連合会と共催し、子ども会活動の充実を図るため開催した。リーダーとしての心構えやスキルの習得、レクリエーションゲームなど。	7 月 29 日 7 月 30 日	1	102

来たれ！スーパーサイエンス・キッズ	近隣の中高校、大学や地域の施設等と連携して、それぞれの専門的な知識やスキルの学びを通して科学の面白さを伝える場とした。①電気工作実験 ②ロケットを作って飛ばそう！ ③光の世界をのぞいてみよう！ ④スライム作りをしよう！	8月～1月	4	92
地域で伝える「平和学習」	子どもたちに、地域の高齢者からの戦時下での体験談を聞く機会を設け、平和の大切さを考える契機とした。プレパネル展示、小学校での平和学習。	10月～12月	5	325
みんなで学ぼう！「ひろせ塾」	地域の関心を高め、学びを通じた「知縁」づくりを図りながら、住民同士がつながりを深める機会を提供。①親子でアロマキャンドル作り ②③脳科学の話 ④プラモデル作り ⑤こけし絵付け体験	7月～2月	5	161
●老壮大学「若返り教室」	地域の高齢者を対象に、健康で豊かな生活をおくるための機会と学習の場を提供。開講式、広瀬寄席、館外学習、健康づくり体操、介護予防講座、新春のつどいなど。	5月～3月	9	481
「愛子の田植踊」を踊ろう～次世代へつなぐ広瀬の伝統	県無形民俗文化財に指定されている地域の伝統芸能「愛子の田植踊」を、アーカイブを充実させながら次世代に継承する学習の場とする。田植踊保存会との練習会、各まつりでの発表。	7月～3月	12	78
ひろせ地域防災講座	地域内町内会との連携を強化するため、市民防災について学ぶ場を提供し、地域の防災力の向上を目指した。実技「避難所運営ゲーム」講話「災害の教訓から学ぶ」。	2月3日	1	35
★●絆づくり田んぼアート	地域住民、学校関係や事業所などの団体等と、この地域の特性を活かして絆づくりと地域づくりにつなげた。企画運営委員会、田植え体験会、観賞会&草取り、案山子づくり、写真コンテスト、写真展、記念誌作成。	4月～3月	19	757
市民企画講座 聞こえない世界を飛べー「きこえない」ってどんなこと？	多様な障がい気づききっかけとして当事者の話を聴きながら、コミュニケーションの取り方を学んだ。体験談、聴覚障がい者の日常生活、手話体験、交流会。	12月2日	1	17
三館共催事業 「音楽で奏でる本の世界」	地域での読書環境を整備していくため、専門性を持つ施設と共催し、より質の高い学びの場を提供した。ワークショップ、コンサート。	6月25日 7月1日	2	114
関山街道の魅力を伝える	地域に残る歴史を広く周知するため、地域資源を効果的に残し、活用することができる媒体を構築する手立てを学ぶ。参加者と相互の交流を図り、地域の活性化に繋げる。講話、フィールドワーク、ワークショップなど。	4月～3月	13	331
第29回広瀬市民センターまつり	市民センター利用団体、児童館などへ日頃の学習成果の発表の場を提供し、参加団体間のネットワークを築きながら、地域住民との交流と親睦を図った。作品展示、ミニステージ発表、体験コーナー、成果発表など。	10月29日	1	1,312
ひろせサマーナイトコンサート2017&民俗芸能フェスティバル	文化センターと共催し、賑わいのある楽しい「広瀬地区の夏のイベント」を開催した。野外ステージでの発表、町内会による出店、子ども向けお楽しみコーナー、ジュニアリーダーによる司会。	8月5日	1	1,600
クリスマスコンサート～聖なる曲の贈り物	改修工事のため、市民センター・文化センター両施設の事業の見送りがされたが、代替講座を企画し、地域で活動するサークルや団体の発表の機会とした。合唱、楽器演奏、ジュニアリーダーによる司会。	12月23日	1	100
ひろせ懇談会	文化センターと共催し、施設利用者及び各種団体と広く意見交換の場を持ち、地域課題やニーズを把握し、市民センターの事業運営に活かした。両センターの役割と事業について理解を深め協力体制を構築した。	6月14日 3月6日	2	36
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーの技術の向上を図りながら交流を深める。定例会、自主活動、インリーダー研修会に向けた準備、バルーン研修、総会、クリスマス会、三送会。	4月～3月	22	308
市民企画会	講座企画のノウハウを学び、地域課題や現代の多様なニーズに対応可能な講座の企画運営を行なった。企画会議、講座の実践、振り返り。	6月～12月	6	29

宮城西市民センター

〔沿革〕

宮城西市民センターは、昭和 51 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。その後、施設の老朽化に伴い平成 22 年 8 月から一時休館して改築工事を行い、平成 24 年 7 月に新たに開館した。

当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが、地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	★自主防災活動を推進するための「防災・減災学び塾」		
参加者	熊ヶ根・大手門・下倉の各町内会、 広陵中学校生徒	延参加者	322 人
開催日	全 9 回 6 月 4 日(日)、6 月 18 日(日)、6 月 25 日(日)、7 月 2 日(日)、7 月 15 日(土)、 7 月 30 日(日)、9 月 2 日(土)、9 月 16 日(土)、10 月 7 日(土)		
協力者・ 協力団体	熊ヶ根町内会、大手門町内会、下倉町内会、広陵中学校、宮城消防署熊ヶ根出張所、 宮城消防団上愛子分団熊ヶ根部、仙台市公共施設マネジメント推進課		
ねらい	平成 27 年初めに、当市民センター周辺地区は、大規模な土石流の発生が懸念されると 新聞に発表されたが、実際に同年 9 月 11 日の豪雨により大きな被害を受けた。その影響 もあり町内会はじめ地域の住民の中で自然災害に対する警戒心が高まりつつある。そこ で、各町内会と諸団体が協力して防災・減災の知識の習得や避難所運営訓練を体験するこ とで、災害時には安全に避難し、且つ円滑な地域連携につなげることを目的とする。さ らに、D I G や現地調査などのワークショップを開催し、町内会ごとの防災マップを 作成する。		
概要・成果	本講座は、全 9 回開催のうち最初の 2 回は座学として、災害時に身を守る「自助」に ついての講話と D I G、訓練当日のシナリオ作りなどを行った。29 年度の訓練では、土 砂災害を想定し、新たに土のう袋設置訓練や倒壊家屋からの救出訓練などを個別訓練に 加えた。防災マップ作成のためのワークショップは 3 回実施し、現地調査の結果を白地 図上に落とし込み、町内会ごとのマップのデータを作成することができた。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子ふれあい教室	水道記念館見学と青下ダム散策・お月見の和菓子作り・ 仙台市科学館職員による LED のクリスマスツリー作り・ 小正月行事だんごさし体験等を実施し親子の交流を深 める機会とした。	6 月 10 日 9 月 30 日 12 月 9 日 1 月 13 日	4	96
中学生のハローワーク	広陵中全校生徒対象に職業教育の講話を行う。仙台市消 防局青葉消防署小林邦彦氏の講話、フリーアナウンサー・ 研修講師高野真弓氏の講話。生徒たちが将来を考える 一助となった。	8 月 24 日	1	49
市民センターに集まれ	広陵中学生を対象に、卓球・バドミントン・長縄跳びの 講座を行った。中学生の運動不足解消・安心して過ごせ る居場所作りを目的に開催。講師の指導のもと、部活動 にはない種目に親しんだ。	6 月～1 月	8	79
自然体験教室	宮城西部地区の里山（箱倉山、戸神山、蕃山、鎌倉山） 散策と植生観察を行った。講師の案内を聞きながら、里 山や植物に対する理解が深まった。	5 月 12 日 6 月 9 日 10 月 6, 27 日	4	45

《青葉区》

女性教養講座	パーソナルカラー、陶芸、料理、ヨガ、コンサート、フラワーアレンジメント、手芸、市民まつりへの作品展示等を実施し、地域内の女性の活動の幅を広げると共にコミュニティ作りの一助とした。	6月～2月	8	120
宮城西地区今昔物語	昨年度の講座で得た地域の歴史、文化、風習等の情報を基に「熊ヶ根ぶらり歩き」のマップ改訂版を作成した。	5月30日 6月27日 7月11,25日 8月8日	5	28
出前講座	手軽にできる夏野菜調理・カラオケと音楽療法で健康を作る・新聞ちぎり絵・ブローチ作り・簡単和風料理・布で作るミニバック・軽体操等を行い地域住民の交流と高齢者支援の機会とした。	6月24日～ 3月8日	8	144
老壮学級	高齢者の交通安全について、健康体操、歴史講座、コンサート、健康イベント、新聞ちぎり絵、新春初笑い、市民まつりへの作品展示等、多岐に渡る内容を学習し、高齢者の生き甲斐作りや交流を深める機会とした。	6月～1月	8	452
高齢者のための健康イベント～音と香りに包まれた日常で～	地域の福祉団体の紹介、アロマについての講話、ギター演奏と軽体操、病院の無料健康診断、薬剤師会によるお薬相談等を行い、地域住民の支援と各福祉団体の役割について知識を深める機会とした。	10月12日	1	59
仙台・作並「日本ことば遊び回文コンテスト・交流大会」	第20回記念日本ことば遊び回文コンテスト・交流大会において主に記念大会フォーラムと回文かるた大会を実施。これまでの活動の振り返りやもっと回文を身近にするための話を発表してもらった。また回文シチューや回文ピザを食べながら交流した。	2月24日	1	65
地域交流研修会	地域で活動する諸団体の代表及び役員対象に行った。「宮城西地域の今とこれから～地域活動団体の活動について」というテーマのとおり、3つの地域活動団体が活動内容や今後の展望を紹介した。	3月4日	1	83
宮城西市民まつり	演芸発表・作品展示・食品バザー・伝承遊び・野菜即売・ジュニアリーダーコーナー・フリーマーケット等を行い地域住民の交流と活性化の機会とした。	11月23日	1	2,651
宮城西地域懇談会	地域課題、地域ニーズを把握し、今後の市民センター事業や施設運営に役立てる事を目的として実施した。宮城西地区15町内会、各種団体との情報交換会等。	7月～3月	3	154
ゆかいな森の広場	地域の音楽団体によるコンサートと地域の幼児対象の映画会を行い、地域住民の交流と憩いの場として認識してもらう機会とした。	8月4日 10月28日 1月26日	3	135
◎“ゆうゆうの森”再生プロジェクト	少子化による町内会役員の高齢化と担い手不足が大きな課題となっているため、PTAお父さん委員会と町内会との交流を促進し、その交流の中から担い手となる人材を発掘した。	5月～3月	11	506
◆伝承遊びを伝えよう！竹細工編	地域の達人より風車、竹トンボ、うぐいす笛の作り方を学び、市民まつりの伝承部会で竹とんぼ作りや子ども達との遊びを体験した。	8月18日 9月3,15日 10月20日 11月23日	5	24
市民企画会議「高齢者のための健康イベントを考える」	地域の福祉団体と良好な関係を作り、それらの団体の協力を得て高齢化率の高い宮城地区での高齢者支援に結びつける事業を企画した。	6月22日 9月1日 10月11日	3	12
市民企画会議「大倉ダムの魅力発信」	県内有数の規模を誇る大倉ダムの魅力をさらに高め、広く発信するための企画会議を開催し、講座内容の打合せと講座の準備をした。	9月14日 1月30日 2月27日	3	13
●インリーダー研修会	子ども会リーダーの児童および世話人を対象に子ども会活動についての知識を教える研修をし、ジュニアリーダーとの室内ゲーム実技等で心構えやスキルを学んだ。	7月29,30日	1	102

大沢市民センター

〔沿革〕

大沢市民センターは、平成2年5月、青葉区の西北部、田園地帯や緑多い丘陵地帯など豊かな自然環境の中に、児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

古い史跡が点在する歴史ある地域としても知られ、古くからの村落と成熟化が進行する団地、開発が進む新興団地が混在する中、若い世帯の増加が著しく更に発展が見込まれる。こうした地域状況を背景に市民センターとしての機能を活かし、地域住民の活動・交流の拠点として、社会変化に伴う市民のニーズに対応する生涯学習事業を展開している。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗		
参加者	地域住民	延参加者	305人
開催日	全6回 12月9日(土)、12月27日(水)、1月5日(金)、1月6日(土) 1月14日(日)、1月21日(日)		
協力者・協力団体	大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗実行委員会 大沢・川前地区町内会・子ども会、大沢・大竹・川前児童館		
ねらい	「大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗」凧揚げ大会に向け、地域の児童館や子ども会で凧づくりの出前講座を行い参加者の拡大を行うと共に、学校や児童館と連携を深め、「大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗」が地域のイベントとして定着できるよう、実行委員会の主体的な事業運営を支援していく。		
概要・成果	地域内児童館（大沢・大竹・川前）と地域子ども会への出前凧づくり。一般から募集した方を対象に凧づくり講習会を行い、自分で作った凧を使っての凧揚げ大会と交流会。今年度、地域子ども会で出前凧づくりを行うことができ、地域との輪が広がった。一般の凧づくり、凧揚げ大会の参加者も年々増えており、毎年楽しみにしている参加者も多い。老若男女が楽しめる、地域の冬のイベントとして認知されてきている。		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
大沢おやこくらぶ	乳幼児親子が気軽に参加して交流できるコンサートや人形劇の上演を行なった。	12月16日 2月1日	2	155
こどもお楽しみ体験講座	大沢中学校区の小学生を対象に、星を見る会、ドッジビー、児童館まつり、牛乳パックで作るフリスビー、チョコレートカップケーキ作りをした。	5月11日～ 3月14日	7	335
職場体験学習	大沢中・広瀬中から職場体験の受入れを行なった。	8月22日 11月16日	2	7
●すくすくプログラム	宮城総合支所保健福祉課に講師を依頼し、川前小学校授業参観6年生対象食育講座を行い、食育講座の実践として、親子調理教室「野菜たっぷりメニュー」を行なった。	12月2日 2月10日	2	98
地域の達人に学ぶ	・夏野菜を使った、保存食や伝統食 ・地域の野菜を使って、白菜キムチ作り ・みそ・甘酒づくり、食育講話	7月8,22日 12月2日 2月28日 3月1日	5	83

《青葉区》

大沢写真講座「地域を写そう！」	・撮影の基本講話・大國神社の山野草の写真撮影・撮影した写真を持ち寄り、合評会	6月2日～ 7月28日	7	90
いきいきコミュニケーションマージャン	地域の高齢者対象にコミュニケーションマージャンの体験と交流会を行なった。	2月2,16日 3月2日	3	69
大沢朗々学園	高齢者対象に・三味線と手踊り・民話・ディスコン・館外学習「水道記念館」・介護予防運動・歴史講話「伊達政宗・運営委員企画講座「折紙」を行なった。	5月18日～ 3月8日	10	374
大沢いきいきプログラム	高齢者が楽しく生活するためには？をテーマに、シナプソロジー、臨床美術の体験、歯と口の健康、栄養と食事について学習した。	6月29日 7月27日 8月24日 9月28日	4	79
★大沢地域防災講座	・大沢小中合同訓練 ・段ボールを使った簡易トイレづくりと防災ダックゲーム体験 ・防災、簡単クッキング	9月29日 12月16日 3月3日	3	510
大沢地域出前講座	各地域の代表、世話役の方と協議し・押し花で作るコースター・電池モーター作り・そば打ち体験・モザイクタイルのフォトフレーム作り・笑いの講話・ギター演奏鑑賞などを行なった。	7月13日 8月2日 9月29日 2月7,8日 3月6日	6	184
スポーツで地域交流「川前・大沢グラウンドゴルフ交流会」	グラウンドゴルフ交流会を通して地域間交流を行った。	9月3日	1	44
大沢市民まつり	1日目展示発表 2日目舞台発表・展示発表・体験コーナー・子どもコーナー・出店コーナー	10月14,15日	2	1,260
大沢地域懇談会	地域の町内会、学校、諸団体を対象に市民センターの事業内容及び運営に関する意見交換や、地域情報の収集を行なった。	6月23日 2月23日	2	42
「サロンボランティア養成講座」企画会	地域のサロン活動を担うボランティアを育成するために必要なスキルを考え、ボランティアを養成する講座を企画した。	5月12日 6月21日 7月4日 12月5日	4	22
市民企画講座「サロンボランティア養成講座」	ハンドマッサージの習得、タッピングタッチの習得、レクレーションの基本の学習、ボランティア活動の体験等を行なった。	8月29日 9月9日 10月3,31日 11月7,28日 12月5日	7	102
インリーダー研修会	みやぎ地区内の小学5年生と保護者対象に講話・演習を一泊研修で実施した。	7月29,30日	1	102

落合市民センター

〔沿革〕

平成6年に開館した落合市民センターは、広瀬川、齊勝川、蕃山などの自然環境と、仙山線（陸前落合駅）、国道48号線仙台西バイパス、作並街道という交通環境に恵まれた地域にある。また、宮城県立こども病院をはじめとする医療機関、栗生小学校、宮城県宮城広瀬高等学校などの教育機関、宮城消防署などの公共施設、大型商業施設も整備され、さらに平成27年には復興公営住宅が完成し、人口が増加している地域でもある。

こうした地域環境の中で、当市民センターは開館以来、施設利用および生涯学習講座等を通じて、地域コミュニケーション活性化、まちづくり推進の拠点として広く地域住民の方々から愛され、利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	◎●落合復興公営住宅出前講座「落合市営住宅におじゃまします」		
参加者	落合市営住宅(復興公営住宅)住民、地域住民	延参加者	266人
開催日	全6回 7月8日(土)、7月16日(日)、9月16日(土)、12月17日(日)、1月14日(日)、2月18日(日)		
協力者・協力団体	宮城総合支所まちづくり推進課ふるさと支援担当、落合・栗生地区連合町内会、落合栗生地区社会福祉協議会、宮城東地区民生委員・児童委員協議会、愛子地域包括支援センター		
ねらい	復興公営住宅の入居が完了し自治会も設立されたが、住民たちは新しい近所付き合いやコミュニティ形成に不安をかかえているので、その不安を取り除くためにネットワーキング会議などを通して地域全体で支援が行われてきた。3年目となる今年度は出前講座をおこなうことで、住民相互、周辺町内会や地区社協との顔の見える関係づくりを図り、地域住民との交流を促進する。さらに市民センターへの理解を深める。		
概要・成果	復興公営住宅出前講座「落合市営住宅集会所へおじゃまします」と市民センターに向いてもらう「落合市民センターでお待ちします」の二本立てで開催。七夕コンサート・卓球・スポーツの日・漫談。(出前講座)七夕づくり・クリスマス交流会。 落合市営住宅の住民は当初地域に出て活動する意欲が低かったが、気軽に参加できる内容が好評で、外に出る意欲が生まれ、地域住民との交流も深まりを見せた。また、自主的に活動できる場として「スポーツの日」を設けたところ参加者自体は8人と少なかったが、今後に向けて住民に自立を促す効果があった。さらに落合市営住宅自治会自体も「今後は復興ではなく一自治会として活動したい」と、自立に向けて動き始めた。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●わくわく子育てひろば	親子があそびやふれあいを通して、のびのびとできる機会を提供し、参加者同士が情報交換を介し、安心して子育てができるような学びの場とした。わらべうた・おやつ作り・手作りおもちゃ・親子ビクスなど。	5月11日～ 12月7日	7	106
親子であそぼ!	親子で一緒に遊び、ふれあいを通してよりよい親子関係を築き、親同士の地域の子育て仲間づくりにつなげた。ラダーゲッター体験、科学実験とおもちゃの作成、だんごさしと調理実習。	6月17日 8月19日 1月13日	3	98
健康づくり～スポーツ民踊で楽しく身体を動かそう	「スポーツ民踊」をテーマに楽しく身体を動かすことで健康づくりを図った。身体を動かすことの好きな受講者が集まり、自主グループ「スポーツ民踊はなみづき」を立ち上げた。	11月2,30日 12月14日	3	31

ふるさと落合栗生地元塾	私たちの住む地域の昔（歴史や文化、自然、年中行事など）を見、聞き知ること、この郷土の魅力を再発見し、昔からの住民と新住民とが落合栗生地区を、「ふるさと」として意識を共有し、住みよい街づくりをめざした。落合栗生地域の歴史と自然について学んだ。	6月24日 7月8,22日 10月7日 11月4日	5	98
落合栗生実年学級	運営委員会が企画し、地域の高齢者がこころ豊かに、生きがいを持って暮らしていけるようにさまざまな分野で学習の場を提供し、受講生同士の交流と親睦を図った。歴史・音楽・健康・調理など。	5月18日～ 2月15日	10	395
宮城広瀬高等学校連携事業「いってみよう！やってみよう！広高タイム」	高校生による小学生への卓球・書道指導、文化祭で生徒が考えた見学コースを生徒の案内で地域住民が見学する、地区まつりでのスライム工作ブースの運営、市民センターロビーで写真部・書道部・美術陶芸部の生徒作品の合同展示。	7月25,26日 9月2日 10月15日 12月23日 2月8～27日	6	558
七夕かざりをつくろう	地域の人たちが、いっしょに七夕かざりをつくることにより、市民センターのロビーから「地元の七夕かざり」を発信し、より一層交流の輪を広げた。	6月9日～ 8月4日	8	53
地域防災講座	宮城消防署と落合東町内会と協力し、地域住民への防災訓練を実施。避難所運営訓練、濃煙体験、地震体験、消火訓練、防災資機材倉庫見学等。	11月12日	1	94
市民企画講座「追憶・戦争の時代～広瀬村を語る」	戦争の悲惨さと、平和の大切さを、体験者から次世代の若者に語り継ぎ、その記憶を未来に継承をしていく公開講座。	10月28日 3月16日	2	315
七夕コンサート	作成した七夕かざりのお披露目を兼ねた鑑賞会と音楽コンサートとトーンチャイムの演奏で気軽に参加できる内容で地域交流を図った。「七夕かざりをつくろう」「落合栗生実年学級」「復興公営住宅におじゃまします」共催として実施した。	7月16日	1	148
落合・栗生地区まつり	市民センター利用サークルや地域住民・団体に学習成果の展示や発表の場を提供し、交流と親睦を図った。また、市民センター事業を地域住民に周知すると共に、来館してもらう機会を提供した。	10月15日	1	1,450
地域懇話会	第1回は連合町内会をはじめとする各種団体、機関の代表者との意見交換会。第2回目はお茶っこサロンに参加している地域住民との意見交換会。いずれも施設についての要望が多く出された。	11月25日 2月22日	2	36
落合栗生ふれあい工房	「ものづくり」を学び、施設を訪問して作品と一緒に作る機会を提供することで、地域住民のボランティア活動のきっかけづくりとし、地域貢献について考える一助となった。作品作りと施設訪問。	8月25日 9月8,15,22, 28日	5	65
図書ボランティア養成講座	新しい図書ボランティア人材を募集し、図書館職員から基礎を学んだ。図書分類、装備環境整備、効果的な展示、図書の修理、読み聞かせの手法、他館の図書室見学、図書ボランティアとの交流会。	6月14,28日 7月12日 8月2,9日	5	64
市民企画会議 わが青春の思い出	講座を企画・運営するために企画会議を続け、より多くの地域住民に戦争の悲惨さと平和の大切さを語り継ぎ、企画員自らの企画力を高めた。	4月12日～ 3月15日	15	109
インリーダー研修会	子ども会活動の目的やみんなで楽しめるゲームを学んだり、様々な体験活動やジュニアリーダーとの関わりを通して、リーダーとしての心構えやスキルを身につけた。危険予知トレーニング、ゲーム、マジック、理想のリーダー像。	7月29,30日	1	102

吉成市民センター

〔沿革〕

吉成市民センターは、仙台市北西部の吉成と南吉成の小学校区中間位置に、市内 51 番目の市民センターとして平成 8 年 4 月に、児童館及びコミュニティ防災センターを併設しオープンした。当該地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。

当市民センターは、吉成小学校区と南吉成小学校区の 2 連合町内会を対象地域としている。現在、高齢化率の上昇に伴って、利用件数や利用者数も増加傾向にある。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	地域の魅力再発見～わがまち散歩道		
参加者	どなたでも	延参加者	37 人
開催日	全 2 回 10 月 28 日(土)、11 月 18 日(土)		
協力者・協力団体	臨済院弁財天堂保存会		
ねらい	国見ヶ丘、南吉成、吉成団地は、新興団地として開発された地域ゆえに昔のを知ることが少ない。そこで、地域をよく知る方から昔の話、地域資源の話聞いて実際に歩き、地域を見直し、理解を深め、環境保護の意識を高める一助とする。		
概要・成果	市民企画講座として開催。(1 回目) 講話「臨済院・弁財天堂について」(2 回目) 散策「臨済院・弁財天堂、桜の水辺公園、青陵の森」。地域を良く知る方から、臨済院・弁財天堂ができた時代背景などを学び、地域の理解を深めた。また、青陵の森散策では、貴重な地域自然があることの再認識を促し、自然保護の大切さに気付いてもらうきっかけとなった。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
がんばるママのリフレッシュタイム	安心して子供を預け、心身ともに癒される機会を提供した。(講座終了後は、児童館職員による親子遊び) ①パステルアート②バランスボールエクササイズ③楽しいリトミック(同室託児)	6 月 15, 29 日 7 月 13 日	3	44
共に考えよう 地域の子育て	「吉成・南吉成地域子育て支援ネットワーク」の活動を広め、活性化することを目的として情報交換や研修「相談事例に学ぶ発達障害」を実施した。	4 月 14 日 5 月 24 日 10 月 27 日 2 月 2 日	4	88
やさしい地域づくりプロジェクト	発達障がいについての学びの機会を提供した。①講話「発達障がいについての理解と配慮」②ワークショップ「事例から学ぶこと」	7 月 22, 29 日	2	29
吉成チャイルドスクール	科学実験、伝統文化体験、楽器によるコミュニケーション体験、認知症に関する学習などを通して、学校では経験できない体験学習、世代間交流の場を提供した。	7 月 1 日～ 2 月 24 日	6	106
いっしょに学ぼう！ 介護とサービス	介護予防について、講話と実技を通して学んだ。①実技：簡易ベットを使ってやさしい移動の介助方法②講話：認知症についての③実技：介護施設で基本的な介護方法	7 月 19 日 11 月 22 日 12 月 6 日	3	30

《青葉区》

吉成発歴史さんぽ— 水を訪ねて—	国見から広瀬川へ注ぐへくり沢と、交差する四ツ谷用水の2つのルートを通り、かつての水路の様子や深い谷の痕跡を通った。	5月～10月	6	144
老壮大学「きらめきスクール」	①開講式・交流会②ようこそ朗読の世界へ③ロコモ体操④北極圏でのオーロラ体験⑤博物館特別展見学⑥『井上ひさしの生涯と作品』⑦クリスマスコンサート⑧新春お楽しみ交流会⑨リフレッシュ体操⑩フルーツコンサート・閉講式	5月～3月	10	663
みんなのコンサート	①吉成小・吉成中・南吉成中・仙台青陵中等教育学校・東北福祉大学による合同演奏会②東北福祉大吹奏楽部による各パート指導・出演者同士の交流会	1月20,21日	2	640
青陵の森を楽しもう	地域住民が地域資源である青陵の森について知る機会として青陵校吹奏楽部、合唱部のコンサートを開催した。多数の地域住民が参加した。	5月13日	1	110
災害に備えて	吉成地区婦人防火防災クラブとの共催で気象予報士による豪雨災害に関する講話と、防災士による非常食作りを実施した。	7月15日 8月26日	2	41
複数年事業「元気いっぱい の街づくり・人づくり」	利用の少ない地区の地域団体の活動状況を把握して、活動支援のための講師派遣や出前サロンを実施した。①リフレッシュ体操②みんなで学ぶ地域防災③クリスマスコンサート④新春お茶っこサロン	6月17日 11月18日 12月16日 1月12日	4	118
地域スポーツ交流会	吉成、南吉成地域の両体育振興会と児童館の共催で小学生から高齢者までニュースポーツを通して交流を深めた。(1回目)カローリング、ボッチャ、公式輪投げ、マグダーツ(2回目)カローリング、ボッチャ、公式輪投げ、ラダーゲッター	6月24日 11月25日	2	127
吉成・南吉成地域懇談会	市民センターの事業や運営に関して、地域住民や利用団体からの意見や要望を聞き、館運営の改善に資することを目的として実施した。	7月21日 2月2日	2	21
吉成市民センターまつり	市民センターを利用している各種サークルや地域で活動している団体の学習成果の発表の場として開催した。	10月20日	1	750
権現森を歩こう！	地域資源である権現森を権現森自然研究会のガイドで散策し、地域住民が地域資源やその保全について理解し、親しむ機会を作った。	6月3日 11月4日	2	77
市民企画会議「よしな り企画会」	地域の魅力再発見というテーマで話し合いを重ねた。「地域の魅力再発見～わがまち散歩道」という講座(2回)を企画、実施した。	5月～11月	9	36
インリーダー研修会	子ども会の中心となる現5年生と子ども会世話人を対象に、子ども会活動に必要な知識や行事プログラムの立て方、レクリエーションなどの研修を行った。	1月24日	1	29
サークル体験会	サークル体験や見学ができる体験会を開催し、学びと地域での出会いの場を提供した。この機会を通じて、17名が新しくサークルメンバーとして加入した。	4月～6月	10	49

宮城野区中央市民センター

〔沿革〕

宮城野区中央市民センターは、平成 24 年 8 月、宮城野区役所や J R 陸前原ノ町駅に隣接する複合施設内に、市内 60 番目の市民センターとして開館した。同施設には、文化センター、図書館、児童館、情報センターが併設されており、交通の利便性も良く多くの市民に利用されている。

当センターの周辺は、古くから歌枕の地と知られる歴史をきざみ、近隣には原町商店街や自衛隊苦竹駐屯地などを擁しており、旧来の地元住民に加え転出入者も多い地域である。市民センターとしての歴史は浅いが充実した施設を活用して、様々な学びの機会を提供するとともに、地域情報の収集・提供に努め、地域の活動を担う人材の育成や交流拠点としての事業展開を図っている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	高校生がやってくる！		
参加者	小学校 3 年生～6 年生	延参加者	32 人
開催日	全 2 回 7 月 26 日(水)、12 月 10 日(日)		
協力者・協力団体	仙台市立仙台工業高等学校定時制課程 自動車部 仙台育英学園高等学校 生物部		
ねらい	地域にある高校と連携し高校生が講師となり、小学生を対象に指導をする異年齢交流事業。高校生は教える喜びと難しさを学び、小学生は高校生のお兄さんお姉さんとの体験学習から学ぶ楽しさを知るとともに、両者が地域の一員として親しみ交流できる機会とする。		
概要・成果	1 回目の「電気自動車に乗ってみよう！」は申込み開始日に定員を越す応募があった。小学生は高校生の作った電気自動車に驚き、貴重な運転体験を興奮気味に楽しんだ。 2 回目の「みんなは小さな植物ハカセ」は小学生が飽きないようゲームや実験を組み込み、高校生の綿密なプランと準備練習を重ねた努力が実り、小学生は興味津々に取り組んでいた。 高校生にとって、指導するという体験は予想以上の学びと達成感をもたらし、貴重な体験の機会を提供できた。		

〔平成 29 年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おやこでチャレンジ 1・2・3!	親子の触れ合いや参加者間の交流を深めたるため、幼児親子対象に「布コラージュで壁飾り」、小学生親子対象に「おやこで作ろうクリスマス」「積み木をつくろう」「ポーチをつくろう」を実施した。	9 月 22 日 12 月 16 日 1 月 27 日 2 月 17 日	4	106
ウェルカムひろば	1 年以内に宮城野区内に転入された育児中の親子を対象に、地域に馴染むきっかけづくりとしてアンパンマンパペットシアターや子育て支援機関の紹介・生活情報の提供・情報交換、おしゃべり交流会等を実施した。	6 月 9 日 10 月 5 日	2	84

《宮城野区》

地域が伝える平和学習	原町小学校の子どもたちが戦争体験者である地域の方から戦中戦後の学校や家庭での様子、空襲時の体験などをうかがうことで、改めて現代と比較しながら平和の大切さを学んだ。	1月18日	1	75
すずむしの里 宮城野	管内3小学校へのスズムシの出前授業の実施及び宮城野区役所でのスズムシ配布会を開催した。また追加開催として宮城野小学校でスズムシの冬越しの出前授業を実施した。	7月13,14 ,29日 8月26日 12月8日	5	539
ジュニアとあそぼう！	市民センターまつりへの参加のほか、原町児童館との共催で、ドッジボールや「猛獣狩り」「お〜い大変だ」等のゲームを実施した。	11月11日 1月5日	2	162
中学生職場体験	宮城野中学校の2年生4名を職場体験として受け入れ、センターの業務や接遇について学ぶとともに講座企画や運営の手伝いを通して社会学習体験をした。	8月22~24日	1	4
市民企画会議「原町キッズもりあげ隊」	原町の子どもたちが地域の魅力を知り、活気あふれる街づくりを目指して、地域のまつりへの参加や企画講座実施に向けての話し合いを重ね、イベントを開催した。	5月21日~ 3月25日	14	70
みやぎの防災・減災ひろば	文化センター主催の震災復興交流事業において「みやぎの防災減災ひろば」を開催し、地域での防災活動報告、防災ゲーム・カルタ、簡単非常食の試食、講演会「遺跡から探る災害の歴史」を実施した。	3月3日	1	200
みやぎの大学	火曜日・金曜日のコース別に、文学、歴史、音楽など多岐にわたる分野の講話や実技と、運営委員会企画講座を行った。また合同では開講式閉講式、シアターホールでの仙フィルの公開講座を実施した。	4月21日~ 3月13日	18	1,229
原町小学校地元学	3年生「原町たんけん〜いまむかし」、4年生「原町の達人に学ぶ〜弟子入留学〜」、5年生「めざせ宮城野大使」をテーマとして、地域講師からの講話と校外学習、グループに分かれての調べ学習と発表会を行った。	9月28日 11月8,22 ,29日	4	224
市民企画講座「原町キッズもりあげ隊夏の陣・冬の陣」	原町地域を盛り上げるために、夏の陣として「原町夏祭り」（雨で中止）と市民センターまつりへの出店、冬の陣として「原カフェ」を開催し、宮城野カルタや防災クイズを行った。	11月11日 3月4日	2	258
ゆったり健康フェスタ	運動と食育をテーマに、健康体操指導、健康講話、寸劇、お楽しみコーナー、食の講話と試食を行った。	6月28日	1	52
宮城野区中央市民センターまつり Mフェス	センター利用者や地域の団体が構成する実行委員会が中心となって、舞台・展示・出店の部門に分かれて学習成果の発表を行うとともに地域住民の交流を図った。	11月11日	1	1,800
市民センター 四季コンサート	地域人材を活用しながら年4回（8月・10月・12月・3月）平日の昼から40分程度、文化センターの1Fロビーを会場としてコンサートを開催した。	8月23日 10月27日 12月20日 3月9日	4	453
ティールーム@原ノ町駅前	月1回のペースで、誰でも気軽に参加できる手工芸や体操などのミニ講座と茶話会を開催した。センター事業のPRの場であるとともに、地域情報や身近な住民の意見を知る場ともなった。	5月18日~ 3月15日	13	277

宮城野区中央市民センター 地域懇談会	1回目は町内会や学校、地域で活動する主な団体を対象に、2回目は宮城野地域で活動する女性を対象に開催した。情報収集や意見交換を行い、地域の特性や課題を把握し、市民センターの事業に反映させた。	6月6日 2月22日	2	42
佐々木喜善と怪談話～遠野物語を中心に	清水沼町内会、「宮城野学講座」との3者共催で遠野物語の原案者「佐々木喜善」と地元との関係について、遠野から学芸員と語り部を講師に招いて学ぶ講座を開催した。	6月3日	1	146
ジュニアリーダー定例会	毎月第2土曜日に開催。子ども会など地域からの要請や研修会等の確認や報告、自主企画などの検討を行った。	4月8日～ 3月17日	12	125
読み聞かせボランティア養成講座	地域で乳幼児や児童を対象に読み聞かせ活動を行う人材を育成することを目的に、読み聞かせや紙芝居、手あそびなど実践を交えて基礎から学ぶ講座を開催した。	6月22日～ 2月22日	7	88
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動の充実を図るために、子ども会についての知識や実技（レクリエーションやゲーム）を学習した。	2月3日	1	31

生涯学習支援センター

〔沿革〕

仙台市の公民館は、昭和21年に在仙文化人有志による民間団体が主体となって設置されたのが始まりで、昭和24年に仙台市公民館条例が制定され、行政機関としての「仙台市公民館」が発足した。その後、各地域の公民館設置とともに、昭和48年には「仙台市公民館」を「中央公民館」と改称。昭和58年には榴岡図書館とともに現在地に開館し、平成元年には「中央市民センター・公民館」となり、翌年には「中央市民センター」と改称した。さらに平成26年4月より「生涯学習支援センター」と改称し、仙台市の生涯学習支援体制の充実・強化を図った。

当センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を生かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。こうした立地条件から、市内各方面からの利用者や夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発な状況となっている。

なお、施設機能の見直しに伴い、当センターにおける地区館事業は、平成26年度より近接する榴ヶ岡市民センターの出前講座として実施している。

高砂市民センター

〔沿革〕

高砂市民センターは昭和 43 年、高砂小学校校舎を改築し高砂公民館として発足した。昭和 53 年宮城県沖地震で建物が大破し隣接する前高砂小学校給食センターを改築、昭和 54 年に移転した。平成元年「高砂市民センター・公民館」、翌年「高砂市民センター」と改称、その後平成 6 年高砂地区の中心部に複合施設として新たに開館した。

この地区は、七北田川、貞山運河、蒲生干潟、そして南部には広い田園地帯が広がっている自然に恵まれた地域である。また、東北の海の玄関口、物流の拠点である仙台港を配し、背後地には大型商業施設等の進出も相次ぎ、急激な都市化が進んできたが、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により、沿岸部が津波で甚大な被害を受け、中野地区は仙台市災害危険区域条例に基づき災害危険区域に指定され移転対象地区となった。地区内の 4 町内会は解散し、多くは田子、上岡田、南福室に移転した。

[★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業]

〔特色ある事業〕

事業名	◎新浜たんぼ学校		
参加者	子どもとその保護者	延参加者	439 人
開催日	全 5 回 4 月 16 日(日)～12 月 16 日(土)		
協力者・協力団体	新浜町内会 新浜協業組合 新浜実行組合 高砂老人クラブ連合会 新浜女子会 宮城野親子で料理プロジェクト		
ねらい	東日本大震災で被災した新浜地区は、若い世代の流出により少子化が進んでおり地域力の衰退が懸念されている。 地域の諸団体が協力して行う農業体験や住民との交流会を通じ、復興の様子を地域外の方々に見てもらい、理解者と協力者を増やしていくことで活性化を目指す。また、活動内容を冊子にまとめ、ホームページの広報と合わせて情報発信することで、新浜地区のイメージアップに寄与する。		
概要・成果	3 年間におよび行った地域力創造支援事業としての最後の年となった。参加した子どもたちとその保護者が楽しく米作り体験を行うことができ、新浜町内会・新浜協業組合・新浜実行組合・高砂老人クラブ連合会との協力体制は年を追うごとに強固なものとなった。農業の専門家たちの指導は町場の子ども達や保護者にとって貴重であり、大切な食育の場となるとともに地域住民との交流も大いにできた。 また、受講者から田植えや稲刈りの体験学習を希望する方々も多いという情報もあり、都市に近い地の利を活かした新浜地区の農業を通した町おこしの可能性も示唆できた。 新浜の各団体が力を集結して市民センター事業を行うことで、地域の活性化に寄与できた。また新たな協力団体を招き入れることができ、今後も現状に近い形で活動を継続できると見込まれる。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
高砂子育てサロン～子育てママの元気塾～	調理実習 ママとキッズの国際交流会 アロマ・親子でエアロビクス 親子で 3B 体操【託児付き】	5 月 24 日～ 11 月 28 日	7	98
地域小学校連携講座「学びの講座」	・高砂小学校「夏の講座」 新体操・こどもダンス・人形劇 書道・アロマ体験・読み聞かせ ・移動天文台～ベガ号星空観測会～ ・草木染体験・書きぞめをしよう	7 月 27 日～ 12 月 23 日	9	153

中学生職場体験活動	・生涯学習、施設業務体験 ・社会教育施設概要説明 ・案内 ・講座企画演習体験 ・講座準備、参加体験 ・施設管理、整備	5月12日 11月7～9日 14～16日	3	21
いまから健康人生	【講話】地域の医療機関からみた課題について 東北医科薬科大学から専門的な講話、 託児付き講座（1回）、健康体操	4月26日～ 3月14日	22	698
高砂老壮大学	開講記念コンサート・軽体操・ダンス・歴史講話・健康 講話・老壮大学生交流会・朗読劇・地域小学生と交流会・ 交通安全防犯講話閉講式/記念公演（昭和歌謡曲）	5月17日～ 2月21日	9	683
三館共催事業 「検証 お舟入堀」	お舟入堀付近に住んでいた方を招いての座談会を行い、 その様子をまとめ第2回の講座資料として使用した。仙 台市教育局にて発掘調査が行われた「お舟入り堀跡」の 資料を基に、水運の歴史の再考をする講座を2回開催し た。1回目「米の道」2回目「お舟入堀発掘調査報告」	7月21日 8月26日 9月30日	3	128
★高砂サローネ・カフ ェコンサート	①5月「震災復興応援コンサート」 ②6月「ハワイア ン・コンサート」 ③10月「火曜コンサート」 ④11 月扇座プロジェクト公演「旅籠の娘」 ⑤12月「ウィン ター・フェス」 ⑥1月「小正月を楽しもう」 ⑦2月 「高砂おひなさま」	5月28日～ 2月21日	7	1,409
高砂市民センターま つり	センター利用サークル・団体の活動や学習の成果発表、 地域活動の展示、舞台、展示発表、出店、児童遊びコー ナー、各種イベント・交流コーナー等	10月21,22 日	2	6,601
高砂市民センター懇 話会	①地域関係団体懇話会 ②地域懇話会 ③利用者懇話会	5月13日 11月11日 2月7日	3	43
★復活岡田 環境こ どもまちづくり計画	【ハマヒルガオプロジェクトについて学習会】 ・海岸への植栽（専門家及び学生指導）来年度に向け海 浜植物の種まき ・新浜海岸観察会 ・岡田リポーンア ート作成（巡回展示含む）	6月2,3日 10月11,13 日 11月16日	5	232
★考えませんか「指定 避難所運営」	①せんだい防災ひろば （被災地の防災学習と取組） ②中学生と避難所運営訓練 ③新米ママの避難術 ④女性の視点で避難所運営を考えます	8月27日 11月5日 2月2,16日	4	642
★「中野ふるさと学 校」	①中野ふるさと学校定例会（通年）②地図と測量のミニ にフェスター③「日和山」登山④他県高校生との交流⑤ 「せんだい防災ひろば」⑥パンフレット製作⑦成果展示 発表⑧ふるさと交流会⑨せんだい3.11メモリアル交流 館共催企画展・トークイベント⑩H29住民参画・問題解 決型学習推進事業 成果報告会⑪資料室の整理（随時）	4月14日～ 3月9日	39	1,239
高砂フレンズクラブ 定例会	資質向上のための研修会活動 活動要請への対応や割振り 活動内容の報告	4月15日～ 3月25日	12	39
★市民企画会議 新浜応援企画会	新浜地区を活性化するための活動企画する会議	4月13日～ 3月27日	5	71
★企画講座「新浜応援 プロジェクト」	・おばけカボチャ・カボチャの育成・イベント 新浜プロモーションムービー作成	6月16日～ 3月28日	5	187
宮城野区インリーダ ー研修会	講話：子ども会活動の意義、インリーダー世話人の役割 演習：年間行事プログラム計画の立て方 実技：レクリエーション・ゲームの進め方等	2月17日	1	48
新しい自分発見「高砂 市民センターサーク ル・ボランティア体験 会」	【サークル体験会】・絵画・太極拳・ちぎり絵・生け花・ 日舞・音楽・茶道・バウンドテニス 【ボランティア体験会】・食育/読み聞かせ/図書 ボラ ンティア	4月13日～ 12月12日	10	11

岩切市民センター

〔沿革〕

岩切市民センターは昭和 56 年に開館した「岩切公民館」を前身とし、平成 2 年「仙台市市民センター条例」により「仙台市岩切市民センター」と改称された。平成 18 年 6 月から 12 月まで大規模改修が行われ現在に至っている。建物内部には市民センターのほかに、保健センター、老人憩いの家、コミュニティ防災センター資機材倉庫が併設されており、さらに平成 22 年 3 月より岩切証明発行センターが併設された。

当地区は宮城野区の北東部に位置し、美しい田園風景が広がる。古からの歴史と文化を伝える神社、仏閣、遺跡が点在している。近年は岩切駅前地区の再開発により若い世代の人口増加が著しい。人々の学習意欲は高く、自主サークル活動が盛んに行われてきた地域である。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	●すずむしリンリン講座		
参加者	出前授業:岩切小学校 4 年生 放虫:岩切たんぼぼ保育園 配布会・コミュニティまつり:どなたでも	延参加者	492 人
開催日	全 4 回 6 月 15 日(木)、7 月 29 日(土)、8 月 22 日(火)、10 月 22 日(日)		
協力者・協力団体	すずむしの里づくり実行委員会、岩切小学校、宮城野区中央市民センター、岩切地区町内会連合会、岩切たんぼぼ保育園		
ねらい	都市化が進むことで失われつつある自然環境の中、仙台市の虫スズムシを飼育し、自生させる活動を通して、多くの市民が自然に興味を持ち、人とスズムシが共存できる潤いのあるまちづくりを目指す。		
概要・成果	岩切小学校 4 年生に毎年出前講座を行っているが、その年ごとに子どもの様子にも違いがあり、実行委員はその場で工夫を凝らし、集中して聞いてもらえるよう講義を行っているようだ。4 年生も保育園児も、虫を怖がる子どもは少しずつ減ってきているように思われた。配布会やまつりなどは、天候にも左右されるので、参加人数は横ばい状態であるが、毎年来てくれる人は増えている。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
家庭教育地域交流会	岩切地域で教育に携わっている 6 団体が定期的に話し合いの場を持ち、情報交換や問題提起を行い地域の実情に合った家庭教育の普及と発展に努めた。	6 月 14 日～ 2 月 14 日	6	72
●いわきり子育てネットワーク	近隣の教育関係施設や子育てサークル等の諸団体が連携して「わいわい広場」「食育講座」「コミュニティまつり」「出前講座」等の講座を実施し、情報を提供することで地域の子育てを支援した。	6 月 21 日 7 月 27 日 10 月 22 日 1 月 29 日 2 月 8 日	5	344
子どもの広場	小学校児童数が 1200 人を超え、地域ぐるみでの見守りが必要不可欠となっている。子供たちの居場所づくりの一環として、様々な体験の場を開催した。	6 月 17 日 8 月 1 日 1 月 20 日 2 月 10 日	4	70
中学生職場体験	岩切中学校の 2 年生を対象に、窓口業務や企画書作成を体験した。またサークル体験やボランティアの方の仕事を手伝うことで地域の方と交流することができた。	10 月 17～19 日	1	5

岩切小学校地元学地域連携講座	岩切小学校の4年生が、地域に古代から自生するカラムシを題材に、生育の観察から糸にするまでを学び作品を作ることで、地域文化を知り愛着をもつきっかけをつかった。	8月30日～ 11月17日	6	561
岩切老壮大学院	高齢者へ様々な分野の講話・運動・音楽・館外学習など、定期的な学習の場へ参加することを促し、心身ともに健康に過ごし、受講生同士の交流も深めることが出来た。	4月～3月	12	463
岩切老壮大学	高齢者のニーズに合ったさまざまなジャンルの講話や軽運動・音楽鑑賞・館外学習など、学習の場を提供し、定期的な学習の場・集いの場に参加することで、受講者同士が交流を深めた。	4月～3月	12	411
虫の声を聴く観察会	古来より「宮城野の鈴虫」として有名であったスズムシにまつわる文化・歴史・生態や七北田河川で生息している虫たちについて学び、自然環境の大切さを学んだ。	8月26日	1	13
いわきり手作りカフェすまいる	地域で活動している方を講師に「パッチワーク」や「手編み」「切り絵カード」等手作りの講座を開催し地域の交流を図った。	8月24日～ 11月30日	7	65
考えよう！岩切の防災	地域の方を対象に①水害②避難所運営ゲーム（HUG）③親子で楽しく防災④AED講習を行い、基礎的な知識と防災意識の高揚を図った。	7月22日 9月20日 11月25日 2月3日	4	110
つながるニュースポーツ	複数年事業の5年目として、ペタンクを中心に8回開催した結果、参加メンバーでペタンクサークルを立ち上げることとなった。	5月11日～ 3月3日	8	79
岩切市民センターまつり	岩切市民センターを活動の拠点としているサークルや地域団体が日頃の活動の成果を発表した。学びを通じた住民の交流・親睦を図ることが出来た。	10月7,8日	2	1,750
岩切地域懇談会	町内会をはじめ地域の各種諸団体から、地域の色々な悩みや課題に関する情報交換を行うとともに、市民センター運営について意見を拝聴した。	6月23日 11月22日 2月21日	3	35
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーに情報の提供や活動の相談を行う場を提供した。	4月～3月	11	44
市民企画会議	H27年度の市民企画会より立ち上げられた岩切住民による団体「I O C（岩切おもしろ倶楽部）」と共に地域が抱える課題や地域資源・人材の活用など地域に根差した内容をテーマに岩切の活性化を目指した講座を企画運営した。	6月13日～ 2月2日	7	29
家庭教育地域交流会事業 子どものいのち・子どものころ～地域で守ろう～	スマートフォンやSNSについての危険性や親子間でのコミュニケーションを学んだ。また、岩切地域の6団体が協力し、いじめに対する危機意識を地域に共有し、家庭教育の充実に繋げた。	8月3日 11月18日	2	99
市民企画講座 ぐるっと岩切探検隊	岩切のメインストリート「今市通り」めぐりや地元の農家を訪れ、歴史(史跡)以外のものを学習し、地元への愛着意識を高める講座を実施した。	9月30日 11月23日	2	29
インリーダー研修会	子供会の5年生と世話人を対象に、子ども会についての知識や世話人の役割、行事プログラムの作成やゲームの進め方を学ぶ機会を提供した。	1月27日	1	39
サークル体験会	センター利用のサークルは高齢化や家庭環境の変化に伴い、メンバーが減少している。新たな会員を増やす目的で体験会を開催した。	1月～2月	10	10

鶴ケ谷市民センター

〔沿革〕

鶴ケ谷地区は、仙台市が大型モデル団地として開発し、昭和 43 年から入居を開始した住宅団地である。

鶴ケ谷市民センターは昭和 47 年 5 月 22 日、団地の完成とともに RC3 階建、温水プールを併設する施設として開館した。その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年から岩切公民館の協力を得て、各種の講座を開始したが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年に市民センター・公民館として発足してからのことである。平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点となった。

平成 23 年 3 月の東日本大震災により鶴ケ谷市民センターが被災し使用不能となったことから、平成 24 年 3 月から近傍に仮事務所を設け生涯学習事業を行ってきたが、平成 28 年 4 月 2 日から第一市営住宅団地再整備地内に市民センター(単独館)を移転・新築して開館し、地域の生涯学習・交流・コミュニティづくりの拠点として多くの人々に利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	わがまち自慢 ひょうたん沼		
参加者	地域住民	延参加者	59 人
開催日	全 4 回 春編 4 月 15 日(土)、16 日(日) 秋編 9 月 30 日(土)、10 月 1 日(日)		
協力者・協力団体	鶴ケ谷ひょうたん沼楽校		
ねらい	<p>通称「ひょうたん沼」は鶴ケ谷団地の中心部に位置し、珍しい樹木や山野草、野鳥の種類も多い公園として知られ、冬季にはハクチョウやカモなどの野鳥が観察できる。身近にあり、一年を通して気軽に自然を楽しむことができ、心と体の健康づくりができる貴重な地域資源だが、訪れる住民は、そう多くない。</p> <p>そこで、「ひょうたん沼」周辺を散策し、自然の魅力や大切さを学び合うことで、故郷への愛着を深め、自然を活用した地域づくりを目指すとともに、参加者が中心になり春と秋のマップを作成して、地域の方に「ひょうたん沼」周辺の魅力をアピールすることで訪れる契機とする。</p>		
概要・成果	<p>ひょうたん沼を知り尽くす地域ボランティア「鶴ケ谷ひょうたん沼楽校」の皆さんに協力をいただき、春と秋に参加者を募り、みんなで散策し自然観察をした後、マップ作りを行った。春には、自生する山野草や4種の桜(糸桜・染井吉野・山桜・上溝桜)を中心に春編マップを作り、秋には、ススキや実のなる樹木等を中心に秋編マップを作った。</p> <p>春編マップは市民センターまつりの来館者に約 250 枚配布し、その後、春・秋編の2種のマップをロビーに配置して、来館者が自由に持ち帰れるように準備したところ、約300枚が公園散策等に利用された。また、鶴ケ谷東小学校の校外授業でマップが活用され、地域資源である「ひょうたん沼」の魅力を学ぶことで、子ども達が故郷への愛着を深めることができた。</p>		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●つるがや子育て応援ひろば	同じ世代の母親達の仲間づくりを支援する為、親子で一緒に楽しめる各種講座を開催した。また、子育て支援活動をしている地域団体や児童館と連携して、地域ぐるみでの子育て意識の向上を図った。	6 月 16 日～ 12 月 12 日	6	219
中学生職場体験	鶴ケ谷中学 2 年生 3 人を受け入れ、社会教育施設としての役割等を説明、また活動支援業務や事業準備など様々な体験を通して、生徒達は働く意義や楽しさを感じ、将来の職業選択や自立を促す一助とすることができた。	10 月 24～27 日	1	3

鶴ケ谷キッズステーション	小学生にネイチャークラフト・科学実験と工作・スポーツの体験学習や、異年齢・他校児童との交流の機会を設け、子どもの持つ豊かな思考力を引き出し、積極性やコミュニケーション力を身に付けることができた。	9月9,30日 11月25日	3	62
キャップハンディ体験	地域団体等と連携し、3小学校の4年生に高齢者疑似体験、認知症劇の鑑賞、手話学習、車イス体験等を出前授業して、児童たちは高齢弱者や障害者への理解を広げ、「地域で共に暮らす」ことの大切さを学習した。	6月15日～ 12月11日	8	402
君もプチレスキュー	中学生が積極的にボランティア活動を行えるよう鶴谷中1年生に防災教育と簡易手当法、2年生に救命講習、3年生に仮設トイレ組立と心肺蘇生法、西山中1年生には救命講習を体験する機会を提供した。	7月5日 9月29日 10月3日 11月10日	4	332
鶴ケ谷ことぶき大学	地域に住む高齢者が生きがいを見出し、健康で心豊かな生活を送るため、コミュニケーション、歴史、健康、音楽、国際交流、美術などの講座を行った。また、運営委員会への参加を通して交流を図った。	5月17日～ 2月21日	10	527
すずむしの自然学校	市の虫スズムシを学び育てることで自然の大切さを見直し、潤いのあるまちづくりを目指す為小学校へ出前講座を行った。スズムシ配布会や市環境局環境共生課と共催した夜間講座も行った。	6月15日 7月4日 8月4,31日 9月2日	5	263
ささえあうまち鶴ケ谷	鶴ケ谷地域の高齢化率は非常に高く、加齢に伴う病気や認知症等の増加が懸念される。町内会や福祉団体等と連携して、住民同士が互いに支え合えるよう講話や救命講習を行った。	10月31日 11月16日 12月7日 1月25日	4	139
市民企画講座「女性のいきいきライフ in 鶴ケ谷」	鶴ケ谷地域で高齢者や転入者が孤立しないよう、地域の女性達が気軽に話せる環境を整え、情報交換や友達づくりに繋がる場所を提供し、交流会・脳トレ・和の文化や健康についての講座を開催した。	8月12日 9月7日 10月4日 11月20日	4	47
鶴ケ谷市民センターまつり	市民センターの利用団体、小中学校・幼稚園・児童館、地域福祉団体などが活動成果を発表する場として、展示・ステージ発表の場を提供し、地域住民の交流と親睦を深め、元気なまちづくりを目指した。	10月28日	1	1,500
鶴ケ谷市民センター懇談会	地域団体の代表者及び市民センター利用サークルの代表者と、市民センター事業に関する意見交換や、地域の現状や課題など情報交換を行った。	5月10日 12月7日	2	25
ジュニアリーダー定例会	当館で活動する「鶴ケ谷 Yourself」の活動を支える為、ジュニアリーダー同士の交流の場として定例会を月2回開催し、各要請に対応できるようゲーム習得やスキルアップ学習、情報交換などを行った。	4月8日～ 3月24日	20	47
市民企画会議「女性のための井戸端会議」	地域で活動する場や機会を求める女性も少なくない一方、子育てや家庭生活に悩みを抱える女性も多い。そこで、女性の視点で課題を見出し、地域に密着した講座を企画した。	6月23日～ 8月25日	8	32
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会の充実と活性化を図る為、子ども会のリーダーとなる児童と世話人に、ジュニアリーダーや嘱託社協と連携して、活動に必要な知識や技能を習得する機会を提供した。	2月17日	1	50
サークル体験会	鶴ケ谷は市営住宅の整備により転入者が増え、旧住民との交流や学習の場が求められている。また、移転開館を機に戻ってきたサークルに、地域住民の仲間づくり・新たな学習意欲を生み出す機会を提供した。	12月 5,7,8,9 ,12,13,14 ,15,19日	9	24

榴ケ岡市民センター

〔沿革〕

榴ケ岡市民センターは、日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和48年6月に開館した。平成元年4月には公民館が併設され、翌年4月に「榴ケ岡市民センター」に改称された。平成24年7月31日にはそれまでの本館を閉館し、同年8月28日に榴岡公園軽体育館の名称を「榴ケ岡市民センター」へ変更して現在に至っている。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園に隣接し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館、国の合同庁舎、楽天生命パーク宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	介護予防講座「東口ますます元気教室」		
参加者	地域にお住いの高齢者（概ね60歳以上）	延参加者	429人
開催日	全9回 5月17日（水）～2月21日（水）		
協力者・協力団体	榴岡地域包括支援センター		
ねらい	高齢化社会において、「介護されない体づくり」を、高齢者自身が意識的に継続する必要性が高まっている。そのためには、周りからの声掛けや、具体的な運動方法のアドバイスがあり、地域の同世代とつながりを持つ場があることが望ましいため、地域の介護予防活動の一助として、定期的に様々な介護予防の方法について学習する機会を設ける。		
概要・成果	<p>気軽に介護予防について学べる場として、毎年参加される方の他、榴岡地域包括支援センターとの共催により、新規参加者も増加し、学習内容の充実も図ることが出来た。年間を通し、定期的に健康な体作りのための学習の機会を設けられたため、高齢者同士の交流の機会が増えたほか、自ら進んで介護予防活動に取り組む高齢者の増加につながった。</p> <p>また、地域の医療系専門学校の学生を講師に迎えられたため、若い世代との交流もでき、心身共にリフレッシュ出来たと思われる。</p>		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

東口ゆうえんち	学年や学校の違う子どもが大勢で一緒に楽しめる場として4回開催。社会人や学生からなるボランティアスタッフの企画と運営で、学校や家庭ではできない遊びを体験しながら、社会性や公共性を身につける機会となった。	7月15日～2月10日	4	149
中学生職場体験	センター近隣の中学校に通う中学生に生徒の社会性や勤労意欲を養いながら、社会的・職業的自立に必要な能力を育てる一助となるよう、学びの場を提供した。中学生の豊かな発想を取り入ながら業務を行うことが出来た。	8月22～24日 11月8～10日	2	18
輝く社会人になろう	多様化している現代、若い社会人が心身ともに健康でかつ輝きながら働ける一助となることを目指し、睡眠、お金、心などをテーマの前半5回、自分たちのための企画会議、先輩社会人からの体験談や話し合いの後半5回を行った。	5月～3月	21	90
コミュニケーション講座	講話やワークショップ、ゲームなどから、ストレスとの付き合い方や伝え方の工夫などを学び、参加者同士の交流も楽しんだ。	6月23,30日 7月7,14日	4	70

榴ケ岡老壮大学	高齢者が変化する社会に対応しながら、日々豊かに過ごすことのできる社会づくりを目的とし、健康講座・芸術鑑賞・歴史講話など年間を通して様々な分野について学んだ。また、講座や運営委員会活動を通して、受講者同士の交流の場となった。	4月20日～ 3月8日	11	747
復興公営住宅出前講座	榴岡地区2カ所に完成した復興公営住宅への転入者が、地域の一員として生活できるように、地域資源等を紹介し、寄せ植えや音楽を楽しみながら交流を促進する機会を提供した。	6月25日 8月25日 11月10日 12月8日	4	140
つなげよう平和のバトン	市民が「戦争」や「平和」について考えるきっかけを作ることを目的にワークショップや戦災復興記念館の見学、地域の戦争体験者による語り部を実施した。また、体験談を文章にまとめるとともに、榴岡小学校の6年生を対象に出前授業を行った。	7月2日～ 12月14日	7	223
介護する方たちへ とおきの時間	介護する側の方々に、介護から距離を置くことのできる時間を提供した。同じ状況にある参加者が交流し、関心の高い、福祉や医療の情報を提供し、話し合うことで、支え合える地域交流のきっかけとなった。	5月10日～ 2月9日	11	60
地域活動を応援！簡単パソコン活用塾	町内会や地域団体の円滑な運営のために必要なパソコン技術を気軽に習得できる場を提供出来た。また、地域の人材を講師に活用したことで、地域課題についての意見交換の場になることができた。	5月23,25, 30日 6月2日	4	24
地域盛り上げバルーン隊	地域活動参加のきっかけ作りを目的に、バルーンアートの講習を実施した。講習後はセンターまつりでのブース発表や主催事業への参加、地域団体主催事業への参加などを行った。	9月2日～ 12月1日	7	28
東口ガイドツアー	地域の魅力を学び、発信する活動が求められているため、市民センターや地域で活動してきた様々なガイドボランティアと協力し、まち歩きや公開講座を実施した。地域への愛着と関心を喚起した。	4月14日 6月20日 3月2日	3	72
平成29年度榴ケ岡市民センターまつり	主に榴ケ岡市民センターを拠点に活動しているサークル等が日頃の学習や活動の成果を発表し、サークル同士、サークルと地域住民が交流した。	10月7日	1	350
榴ケ岡市民センター 地域懇談会	町内会や地域団体、サークル、センター利用者と意見・情報交換をし、センター事業について理解を深めていただき、地域課題やニーズを共有した。一部の意見は次年度のセンター運営に反映させた。	10月20日	1	8
◎榴岡地区エキサイティング事業	町内会連合会をはじめとする地域団体と連携し、実行委員会で話し合いながら、防災をテーマの「榴岡寺子屋」を実施し、地域内外の方たちと学び合った。	通年	22	414
市民企画会議「東口ゆうえんち企画会」	小学校低学年を対象に開催する「東口ゆうえんち」の充実を図るための企画会として開催。子どもの健全育成に関心があり活動の場を求めている社会人や学生が集まり、情報交換と講座を企画・運営しながら、それぞれのスキルアップに繋がった。	5月20日～ 2月9日	8	60
インリーダー研修会	榴岡小学校に通う児童が属する、子ども会の充実と活性化を図ることを目的とする。このために核となるリーダーと世話人を対象に、子ども会に関する知識を習得したり、レクリエーションやゲームの運営・技術を学んだ。	2月3日	1	59
あなたのやりたいを見つける！「サークル見学・体験会」	新しく活動を行いたい地域の方へ向けて、センターを利用している団体・サークルを紹介し、新たな学びの場を提供することができた。各サークルのPRを行うことで、各団体の活性化にも貢献することが出来た。	2月18日～ 3月16日	16	16

東部市民センター

〔沿革〕

東部市民センターは、昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。昭和 58 年 4 月に改築され、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。また、この地域は、JR 陸前原ノ町駅・苦竹駅・小鶴新田駅・東仙台駅があり、東北本線、仙石線、貨物線、新幹線等が通る鉄道景観が見事に交錯する街並である。

当市民センターの中学校区は東仙台中学校、小学校区は東仙台小学校・新田小学校が管轄。さらに立地状況としては、宮城野区役所から北東へ約 0.7km の地点に位置し、南に国道 45 号線と北に利府街道、その中間を跨ぎ繋ぐ形で、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。また、付近には、東仙台・苦竹・原町・自衛隊苦竹駐屯地などそれぞれに歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。

[★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業]

〔特色ある事業〕

事業名	●子ども参画型社会創造支援事業「新田まちづくりこども計画」		
参加者	新田小学校児童及び地域住民	延参加者	393 人
開催日	全 11 回 5 月 13 日(土)～3 月 3 日(土)		
協力者・協力団体	宮城野区中央市民センター、新田小学校、SFAC 新田おやじの会、新田よろこびの会		
ねらい	<p>新田地域は昔からの住民に加え、近年開発されたマンションに住む若い世代も多くなり、多世代が住む仙台のなかでも、有数の人口急増の地域となっている。</p> <p>そのような状況のなかで、古き良き新田と新しい新田を融合させ、さらにより良い新田にするために、地域の貴重な人材である小学生を核にして、まちづくりを考え、具体的に行動し、新しいコミュニティ像を地域に発信していく。</p>		
概要・成果	<p>子ども参画型社会創造支援事業 3 年目。昨年度に決定した「NETS 新田」の愛称で、メンバーとしての自覚をもち、主体的に会議や企画をすすめてきた。また、「SFAC 新田おやじの会」や大学生アシスタントの連携協力も受け、多様な体験活動の際、大きなバックアップとなった。自主企画のスポーツまつり（6 月と 3 月・延べ 300 人参加）、7 月七夕飾り制作（地域夏まつり・東部ふれあいまつりで展示）、9 月高齢者向け配食時のカード作り、11 月地域探検再発見などを行った。</p> <p>子どもたち自らが発信したことで、高齢者まで関わりを拓けた世代を超えた交流を通して、地域とのつながりをより深めることができた。</p>		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で育てるおいしい野菜 2017	栽培から収穫までの野菜づくり体験と育てた野菜をおいしく食べるまでの過程を学び、地域ボランティアとの異世代交流も深めながら、共に成長し、親子の絆を育んだ。土作り、野菜の栽培と管理、収穫と調理。	4 月～8 月	5	104
子育てサロン「まったりルーム」	子育て中の親が親子での過ごし方や子どもとの接し方を学ぶ機会を提供し、同じ子育て中の親や地域の子育て先輩との交流を図る場も提供した。手遊び・歌あそび、クッキング&交流タイム（託児付き）、親子ピクス。	11 月 2, 16, 30 日	3	75
東部子どもの育ちを支えるプロジェクト	子どもたちが地域の他世代や異年齢の子どもとの交流や体験を通じ、社会性を育む機会とした。併せて地域全体で子どもの健やかな育ちを支える環境作りを図った。（東仙台小出前教室、新田小昔遊び、ジュニアと遊ぼう、夏休み陶芸教室、地域卓球交流会、お手紙ワークショップ、テーブルゲームカフェなど）。	4 月～3 月	14	809

仙台自分づくり教育 「がんばれ中学生職 場体験」	市民センターの職場体験を通して、達成感や自己有用感を感じ、自分の目標や生き方を考察する機会とした。市民センターの設置目的、社会教育、生涯学習についての講話、事業企画演習、講座参加等。	5月～11月	3	17
老壮大学 「東部いきいきスク ール」	運営委員会による企画で、様々な学習機会を通して、いきいきとした活動の場を提供した。館外学習は、ふだん訪問できない施設で学べ、意欲喚起に大きく役立った。	4月～3月	11	337
楽しいシニアライフ 「笑顔で毎日をおく るために」	地域の高齢者が、毎日の暮らしを明るく元気に過ごせるよう、心身の健康増進を図る機会と参加者同士の交流・情報交換の場を提供した。健康についてのお話と年齢に合った無理のない運動の体験。	1月30日 2月6,20日	3	54
伝統の仙台七夕を学 ぶ 「折り紙で作る七つ 飾り」	転入してきた住民と旧住民が伝統の仙台七夕を学び作ることで交流し、新たな地縁を作るきっかけとした。また、地域の小中学校と連携し、子どもたちが伝統を学ぶとともに、地域づくりに携わる機会を提供した。	7月6日～ 8月3日	5	43
地域で支える防災ル ール	東仙台災害対策委員会と連携し、避難所運営の役割と行動を学び、研修会を開催し運営した。策定した地域版避難所マニュアルを活用し、ワークショップや防災に関する意識アンケートを実施し、スキルアップを図った。	4月～3月	12	227
市民企画講座「おせち をつくろう」	企画会議から、行事食や旬のおいしさを味わう機会が減り、若い世代に伝える大切さの意見が挙げられた。小学生親子を対象に「おせち料理」を実習し、日本の伝統食の歴史や生活の関わりを学んだ。親子コミュニケーションにも役立った。	11月25日	1	26
第23回東部ふれあい まつり	町内会・地域サークル・団体の日頃の活動や学習の成果発表の場を提供し、地域住民同士の交流・親睦を深めた。地域団体の活動展示、主催講座の展示、舞台発表、展示発表、出店、児童館遊びコーナー等を開催した。	10月1日	1	1,200
東部ふれあいコンサ ート	日頃、市民センターに足を運ぶことの少ない地域住民のために、誰でも気軽に参加できるコンサートを開催して、音楽を楽しむ機会と交流、情報共有の場を提供した。（「ゴスペル」と「マリンバ&ピアノ」の演奏会）	12月9日	1	80
東部市民センター懇 談会	地域住民によるコミュニティづくりや地域課題の共有を図るため、情報交換や意見交換を行った。市民センターが地域の応援団として顔の見える関係づくりや地域の立ち位置をより深め理解してもらう手立てとなった。	6月20日 2月24日	2	30
まち歩きボランティ ア育成プロジェクト	昨年度まで携わっていた「住民参画・課題解決型学習事業」プロジェクトのメンバーほとんどが、地元の歴史を紹介するまち歩きボランティアガイドを目指して学んだ。活動中のまち歩き団体をリサーチし、規約やガイドボランティア綱領などを整備し、歴史探訪マップ「ぶらり松原街道の散歩道」を活用したまち歩き公開講座を3回実施した。併せて新コースの整備にも着手した。	4月～3月	23	292
市民企画会議 「W A!食でつながろう」	会議から、旬のおいしさや郷土食を伝えていく大切さなどの課題が挙げられ、地域住民と若い世代の交流も併せた小学生親子を対象に「おせちをつくろう」講座を企画運営した。企画員は講座運営のスキルを学び、講師としても活躍した。	4月～12月	9	57
仙台市子ども会イン リーダー研修会	子ども会の活動の充実を図るために、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象にワークショッップを交えた学びを展開した。子供たちの発想を生かしながら子ども会活動を企画する手法やプログラム作成のヒントを学んだ。	2月10日	1	35
東部市民センター「サ ークル・ボランティア 体験会」	地域で活動している団体の情報発信や体験会を行い、サークル活動の活性化と地域住民の生涯学習の意欲向上の一助となった。6団体の体験会で6名が新規入会した。	7月1,16 ,20,26日	4	8

幸町市民センター

〔沿革〕

幸町市民センターは、平成 5 年 4 月 20 日、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当市民センターがある幸町中学校区は、大型商業店舗の進出、民間マンションの建設などで町並みの変容著しい幸町・大槻地区と、与兵衛沼、柘江の森などの緑豊かな自然に恵まれた柘江地区からなる。仙台市ガス局や県・市障害福祉センターなどの公共施設や、きぼう園、いずみ授産所などの福祉施設とともに、国、県、市の公営住宅があり、民間も含めて集合住宅が多い地域でもある。また、平成 26 年度には復興公営住宅も完成した。高齢化が進む中、子育て中の世代や若年層の住民の増加もみられ、ここ数十年で地域の環境は大きく変化した。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	さいわいお散歩日和		
参加者	地域住民	延参加者	72 人
開催日	全4回 5月20日(土)、8月5日(土)、9月24日(土)、11月4日(土)		
協力者・協力団体	宮城県消防学校		
ねらい	幸町地域は平成 26 年に完成した復興公営住宅をはじめとし、住民の転入が増えてきている。また高層住宅が多く地域との繋がりが少ない住民が多い。周辺地域の自然や施設、歴史などをテーマにまち歩きを行い、地域の持つ魅力や地域資源、環境などを学ぶ機会を提供する。このことにより住民が地域への理解を深め愛情を育むとともに地域課題について考えるきっかけを作る。		
概要・成果	初夏と秋の与兵衛沼散策では季節ごとの豊かな自然を満喫し、宮城県消防学校見学会では厳しい訓練の様子や安全防災についての真摯な取り組みを知るなど、地域の資源の存在を再確認できた。 宮町まち歩きでは、史跡を巡り知られざる歴史のエピソードや文化を学ぶ機会となった。地域資源の魅力を再発見する様々な体験を通して、地域のつながりや愛着を深めることができた。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てママのリフレッシュ応援講座	子育てのストレスや悩みを解消する方法を学ぶ機会を提供。親子で参加するおもちゃ作りやバランスボールでの運動、調理実習、子育てサロンでの交流会を実施した。	6月16,30日 7月13,27日	4	70
●さいわいどんぐりクラブ	子どもたちの自主性や創造性を育むことを目的に様々な体験の場を提供。親子対象の自転車教室、和紙を使ったかざぐるま制作、発電機を組み立てた電気工作実験教室、天体観望会を実施した。	5月14日 8月4,18日 3月16日	4	109
ジュニアリーダーとあそぼう	ジュニアリーダーが研修会等で身に付けた工作やレクリエーションの知識を活かし、実践する場として、幸町児童館まつり、幸町市民センターまつりで活躍してもらった。	10月14日 11月19日	2	192

中学生職場体験	宮城野・幸町・東仙台中学校からの依頼により中学生の職場体験を受け入れ、市民センターの業務を通じて、働くことの心構えや責任について学ぶ場を提供した。講座の補助、窓口業務、館内清掃など。	8月22～24日 10月24～26日 11月8～10日	3	11
●幸町生涯大学	地域の高齢者が社会との繋がりを持てるよう学習・交流の場を提供した。歴史・文学・文化・交通安全等の講話、軽運動、新年会、音楽鑑賞、移動学習等を実施した。	4月20日～ 2月15日	10	334
幸せ奏でるロビーコンサート	誰もが気軽に集い交流する機会を提供するため四季を彩るコンサートを実施。コンサート終了後にはお茶っこサロンを開催し、地域住民相互の親睦を深めた。市民センターへの新規来館の促進と音楽に携わる団体の活動の場を提供した。	5月13日 7月8日 9月30日 1月20日	4	136
市民企画講座「夏だ！行こう！盆踊り！」	3つの連合町内会がそれぞれ開催している夏祭りの盆踊りの参加人数を増やすため、盆踊りの練習会と浴衣の着付け講習会を実施。まつり当日は盆踊りで地域行事の活性化と世代間交流を図った。	7月15, 22, 25～30日	9	203
さいわい・ふれあい講座	福祉施設が多い地域において、障がい者への理解と交流を促す講座を実施した。ハンディキャップ体験、授産施設におけるクッキング教室、施設設備とサークル見学、障がい者による講話とスポーツレクリエーションを実施した。	9月7, 23日 10月15日 11月10日	4	33
一人ひとりにやさしい防災の輪－防災でつながる人と人－	災害時の協力体制を構築し、安全なまちづくりを目指し、地域防災リーダーが中心メンバーとなり柘江学区合同防災訓練の準備を進めて実施。柘江学区町内会連合会と共催して防災講話を実施した。	8月10, 24日 9月9日 12月15日 2月10日	6	82
第21回幸町市民センターふれあいまつり	幸町地域の3つの連合町内会と健全育成連絡協議会が市民センターとともに、地域あげてのまつりを開催した。地域団体によるステージ・展示発表、地域福祉団体による出店・販売、防災コーナーなど。	11月19日	1	2,800
幸町市民センター地域懇談会	地域の声を事業運営や企画に反映し、理解と協力を得られるように、話し合いと情報交換を行った。事業計画・実施報告を説明し、意見を聴いた。	6月28日 3月2日	2	23
ジュニアリーダー定例会	幸町市民センターで活動するジュニアリーダーのサークル「幸町 Fortune」が集い、情報共有や研修を行う定例会を行った。	4月15日～ 3月17日	12	24
学校へ行こう隊－子どもを育てる大人の力	小学校に地域住民やサークルを派遣し、地域と学校をつなぐ「学校へ行こう隊」のスキルアップを図った。「昔話を語る会」「しめ縄づくり」の指導を実施した。	11月28日 12月6, 12日	3	15
市民企画会議「夏まつりをトコトンのしむプロジェクト」	地域行事を活性化し、コミュニティの結束をより強める一助とするために、盆踊りを継承し、魅力を発信するための企画会議を行い、企画した講座を運営した。	4月15日～ 8月10日	13	27
仙台市子ども会インリーダー研修会	地域の子ども会活動を更に充実させるため、次年度の子ども会活動の中心となる児童や世話人を対象とした実践的学習を行った。講話、世話人同士の情報交換、児童はレクリエーションゲームを企画・実践した。	2月24日	1	50

田子市民センター

〔沿革〕

田子市民センターは、平成 11 年 8 月、仙台市で 53 番目の市民センターとして開館し、児童館とコミュニティ防災センターを併設し、多目的ホール、会議室 2 室、和室 2 室、調理実習室、児童館図書室などを備えている。

当市民センターの位置する田子地域は仙台市東部に位置し、市中心部と直結する JR 仙石線(最寄駅:福田町駅)や国道 45 号線等に近い交通の利便性のよさから開発が進み、人口が増加している。半面、平成 27 年頃から 65 歳以上の高齢化率が緩やかに上昇してきている。幼稚園や小中学校、高校等の教育施設にも恵まれ、地域リーダーとして活躍する人材が豊かで、地域づくりに関する住民意識も高く、地域防災訓練等の特色ある活動が活発に行なわれている。当市民センターは、これらの立地条件を活かしながら、地域団体や学校との連携に努め、事業を展開している。

こうした中、平成 26 年度には田子西復興公営住宅に 160 世帯余りが入居し、田子西町内会が設立された。平成 27 年度は、田子西第二復興公営住宅への入居と集団移転用地への移住が開始され、平成 28 年 4 月、田子西こだま町内会、田子西中央町内会、田子西三丁目町内会が設立された。田子市民センターの管轄エリアは田子小学区 10 町内会、高砂小学区 4 町内会となった。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	★田子のきずなステーション		
参加者	どなたでも	延参加者	367 人
開催日	全 18 回 4 月 15 日(土)～3 月 24 日(土)		
協力者・協力団体	東北医科薬科大学病院		
ねらい	センターを情報や人の集まる地域の拠り所とするため、新旧住民がともに田子について学び交流する場を設け、地域を知り新しい仲間をつくるきっかけとする。今年度は、参加者が田子で活躍する人材へとステップアップし、地域を活性化することを目指す。		
概要・成果	<p>地域医療セミナー 1 回、オープンクラス卓球 11 回、絵手紙 2 回、写真 3 回、ヨガ 1 回の講座を開催した。ヨガの講座では、今までセンター講座に参加したことのない以前から田子に住んでいる方々が興味・関心を持って体験し、生涯学習のきっかけづくりの場として市民センターを知って貰うことができた。写真講座では、地域の歴史ある農家を撮影することができ、変わりゆく田子の風景の一枚を記録に残すことができた。</p> <p>新旧住民が気軽に集い語り合える講座を積み重ねてきた結果、「卓球サポーター 田子」「絵手紙サークルたご」「田子写真サークル」の 3 サークルができた。メンバー同士活発に意見交換しながら活動を継続し、絵手紙と写真サークルは地域のお祭り『たごっ子まつり』で作品発表や体験会も行った。卓球サークルは、次年度の卓球の技術アップを目指す講座で講師を務める予定である。</p>		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
夏の講座	小学生を対象とした講座で、自分で工作した「水鉄砲」や「パラシュート」を用いた遊びの活動により、学校を超えた交流が深まった。地域講師やジュニアリーダー、保護者に見守られて体験学習に取り組んだ。他、「お話し会」「茶道」「動物とのふれあい」「そば打ち」体験。	7 月 26 日～ 10 月 21 日	8	251
田子老壮大学	班活動で受講生間のコミュニケーションが生まれた。ダーツや身体を使った脳トレも好評で、受講生の学習意欲を高めることができた。他、田子の歴史、漫談、シャンソン、認知症理解、落語、調理実習、大型ぼう災すごろく、館外学習。	5 月 10 日～ 2 月 14 日	10	386

伝笑あそび会	地域にお住いの高齢者が昔遊びを子ども達に教え、やりがいやいきがいを実感する場を提供。会員同士で技能の向上を図りながら、自主サークルに発展。昔遊びの技能向上、児童・生徒との交流、児童館まつりへの参加。	5月～3月	12	8
みんなで学ぶ地域防災	毎年田子中学区で行われている地域防災訓練に先立ち、9月に講話「突然の大雨 その時どうする。」を開催した。11月は田子地区地域防災訓練が各町内会行われた。	9月2日 11月12日	2	2,835
田子今昔物語	田子の旧家から見つかった古文書を中心に地域の歴史を勉強する公開講座を4回開催した。次年度から複数年事業として取り組む。	4月～3月	17	205
市民企画会議「田子を愛する住民塾」	企画員が地域情報の中から地域全体で共有する問題とその解決を探るための話し合いを重ねる。「仙台のなかの田子」を改めて意識する勉強会も2回開催した。	4月～3月	14	88
復興支援事業出前講座「田子西であいましょう」	田子西4町内会の集会所で出前講座を7回開催した。絵手紙、人形劇鑑賞、親子ピクス、シャンソンコンサート、親子工作、伝承あそび。	6月3,6,20, 23,24日 7月15日 10月11日	7	84
市民企画会議「子育てしゃべり場企画会」	地域で孤立しがちまたは子育てに悩んでいる母親を対象とした子育てについて学ぶ講座を企画し、開催するための企画会を行った。	5月～1月	7	25
季節のハーモニー～田子で出会えるすてきなコンサート～	地域住民の出会いと交流の場として2回コンサートを開催した。6月「ヴァイオリンとエレキベースの2重奏」12月地域合唱団を中心とした「ハートフルコンサートVol.5」	6月25日 12月17日	2	250
たごっ子まつり	市民センターの利用団体や地域活動団体の活動成果を発表する機会を提供し、地域住民の交流と親睦を深め地域の活性化を図る。	2月17日	1	2,500
田子市民センター懇話会	地域団体や利用者等との懇談を通して、地域課題の把握や地域情報の収集、共有化を図り、課題解決に向けた事業企画等に生かした。また運営への理解と市民参画を促進した。事業運営等についての意見聴取、情報交換など。	5月～3月	3	43
ちょっとひと息タイム 講話&しゃべり場	市民企画についての会議「子育てしゃべり場」を経て企画された子育てについて学ぶ講座を開催した。「効果的なほめ方・しかり方」「リフレッシュ・ヨガ」「意欲を引き出す声かけの仕方」	9月21,28日 12月6日	3	47
中学生職場体験	市民センターにおいての職業体験として窓口対応や施設点検などの業務を経験した。また活動中のサークルを見学したり、サークル体験なども行った。	11月8～10日	1	4
インリーダー研修会	児童は子ども会での上級生の役割を、講話や実技を通して学んだ。実技「ゲームの説明をしよう」では、チーム内で役割を分担し協力し合う姿が見られた。世話人は、子ども主体の運営方法や、ジュニアリーダーについて知る機会となった。	2月24日	1	32
三館共催事業「検証 お舟入堀跡」	お舟入堀付近に住んでいた方を招いての座談会を行い、その様子をまとめ第2回の講座資料として使用した。仙台市教育局にて発掘調査が行われた「お舟入り堀跡」の資料を基に、水運の歴史の再考をする講座を2回開催した。1回目「米の道」2回目「お舟入堀発掘調査報告」	7月21日 8月26日 9月30日	3	128

福室市民センター

〔沿革〕

福室地区は西に七北田川、北は多賀城市に接し、南は仙台港背後地に囲まれた地域で、かつては豊かな田園地帯であった。昭和 30 年～40 年代にかけて住宅地や市営住宅が造成され、住環境が急速に整備された。国道 45 号線、JR 仙石線の沿線という利便性から、最近では仙台港背後地の開発や商業施設の増加に伴い、高層住宅、集合住宅が増え、人口は増加傾向にある。旧来の農地は激減したが、今も七北田川周辺の豊かな自然は健在である。

同地区に位置する福室市民センターは、中野中学校区を対象地域として平成 15 年 3 月に開館し、児童館、コミュニティ防災センターを併設している。年々利用者も増加し、地域住民の生涯学習の拠点として、広く親しまれ利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座「ぶらり石碑ウォッチング！」		
参加者	成人	延参加者	75 人
開催日	全 4 回 9 月 7 日(木)、9 月 21 日(木)、9 月 29 日(金)、10 月 5 日(木)		
協力団体	高砂おたから探訪の会		
ねらい	昨年度の市民企画会では地域の石碑、石仏、石造物等を調査して冊子を作成した。今年度は、作成した冊子を活用して調査した地域や石碑を回ってみる講座を企画した。ウォーキングをしながら、石碑を訪ねて回ることによって地域の歴史を振り返り、理解する機会とする。		
概要・成果	事前の講座として、石碑や石造物、高砂地区の開発の歴史について学び、その後歴史ウォークとしてまだ訪れていない仙石線より南の地域の神社や公園等の石碑や石造物を 3 回にわたって見て回った。冊子については、事前に配布していたが実際に実物を見ることによって石碑の素材や質感や歴史を感じ取ることができた。また普段何げなく見ている、あるいは気づかなかった石碑や神社のいわれや歴史などがわかり地域を知ることができ、より愛着を持つことができた。 ガイドのスタッフ、神社やお堂の管理やまつりの維持などを行っている町内の方や講の人々への感謝の念を表す受講生もいた。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
市民企画講座「子育てママのエンジョイタイム」	地域の乳幼児を持つ母親たちの交流とリフレッシュを目的として、「おやこでカラダをうごかす時間」「ちびっこまつり」「mama's キッチン」の 3 講座をママ企画員が企画・実施した。	7 月 5 日 10 月 4 日 1 月 24 日	3	154
中学生職場体験学習	地域にある中学校の「職場体験学習」の受け入れを通して、中学生に市民センター業務の目的や内容を理解し体験してもらう機会とした。また、職場体験を通して中学生の勤労観を育む支援の場とした。	11 月 7～9 日	1	3
地域で育む学びの芽	福室小 3 学年は福室歴史ウォーク（西光寺、深山神社、誓渡寺等）、福室、中野栄小学校の 1 学年は昔あそび（コマ、けん玉、おはじき、あやとり等）を地域の方々に講師に体験し学ぶことができた。	11 月 8, 22 日 12 月 5, 14 日	4	277
●知っておきたい、これからの介護事情	超高齢社会の今日、将来の不安に備えるために①介護全般について受講生の疑問に答える講座、②認知症についての講座、③介護保険の基礎知識についての講座を開催した。	6 月 24 日 10 月 14 日 2 月 24 日	3	87

福室老壮大学	受講生が講師として実施したデジタルの仕組みについて学ぶ講座や、健康講座、交通安全教室・防犯講座、東北陸上自衛隊東北方面音楽隊有志によるコンサートなど様々なテーマで全10回の講座を実施した。受講生同士の交流の場として、講座後の顔合わせを2回実施した。	5月31日～ 2月28日	10	662
ふくむろ和みサロン	高齢のため市民センターから足が遠のいている方が気軽に参加できるサロンを地域の集会所などを会場に、出花町内会(2回)、福室若葉町内会、高砂西区町内会(2回)、高砂東町内会の高齢者を対象に開催した。	4月27日 6月29日 10月26,27日 3月2,4日	6	318
だれでもサロン”まざらいん”「福室縁芸場」	①②ダーツを楽しもう! 標的に投げ矢を当てて得点を競うゲーム③福室縁芸場地域の方々のカラオケ、演芸、みやび組チンドンパフォーマンスショー、福室児童館有志による特技披露、先生方の寸劇、お茶っこ交流会	9月13日 10月11日 1月20日	3	75
ふくむろ剪定サロン	剪定の知識、技術の習得には継続と実践が肝要であることから、29年度は経験者から初心者に対し技術の伝達をしつつ、自らの技術を磨きながら、剪定でつながる仲間意識を育てた。	6月3,10,17日 10月7,14日	5	75
◎思いやりネットワーク構築事業	住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けられるよう地域包括ケアシステムの構築が各地域で模索されている。高齢者の生活支援分野を地域で担っていく仕組みづくりを検討し、実践していく中で、課題を整理し、次につなげる組織を立ち上げる。	4月18日～ 2月15日	10	100
社会学級との連携事業「みんなの輪2017」	福室小学校社会学級と中野栄小学校社会学級と市民センターが連携して、地域に向けた講座を協働で企画し弦楽合奏団ゲッケロゾリステンコンサートを開催した。	11月25日	1	120
第13回福室市民センターまつり	地域住民・団体の交流と親睦を図ることを目的として、地域住民、サークル利用団体、地域の小中学校の日頃の学習成果の発表を行った。	11月4日	1	2,750
地域懇談会	地域内の町内会や学校・諸団体などと広く意見交換の場を持ち、地域のニーズを市民センターの事業に吸収反映させるとともに、地域づくりに向けての協力関係を強化した。	4月22日 12月16日	2	32
●★ふくむろ防災塾2017	地域の諸団体と連携して、福室地域の状況にあった防災のあり方を検討し、11月に「福室学区防災訓練」を実施した。避難所開設の初期期対応と、今年度は児童の保護者引き取り訓練も組み入れた。	7月14日 10月21日 11月28日 12月16日	4	1,228
市民企画会～地域の魅力発見Ⅲ～	地域住民が地元の歴史や地域資源など、自らが語り継ぎたい地域の魅力を話合う講座を企画した。市民センター事業の企画・運営にかかわることで、地域に目を向け、まちづくりへの参加意識を高めた。	4月～3月	18	184
市民企画会「ママ企画 for ママ～ママによるママのためのママ企画～」	地域の子育て中の母親たちがママ企画員となり、地域の親子のための講座を企画し、実施した。各講座で使用する子どもへのプレゼント用メダルやお面、フォトフレーム、会場の飾り物の作成等も行った。	5月10日～ 2月9日	22	89
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を目的として、福室小児童15名、世話人13名を対象に(中野栄小は学年閉鎖のため中止)、リーダーの養成についての演習(児童)と、子ども会活動についてのグループ討議(世話人)を行った。	2月10日	1	28
三館共催事業「検証 お舟入堀跡」	お舟入堀付近に住んでいた方を招いての座談会を行い、その様子をまとめ第2回の講座資料として使用した。仙台市教育局にて発掘調査が行われた「お舟入り堀跡」の資料を基に、水運の歴史の再考をする講座を2回開催した。1回目「米の道」2回目「お舟入堀発掘調査報告」	7月21日 8月26日 9月30日	3	128

若林区中央市民センター

〔沿革〕

若林区中央市民センターは、昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館し、その後、条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変え、平成 5 年 9 月 28 日、若林区文化センターの新設に伴い移転して、現在の「若林区中央市民センター」となった。また平成 29 年には、若林区中央市民センター別棟が、南小泉児童館、社会福祉協議会、子育てふれあいプラザとの複合施設として移転・新築された。当市民センターを含む若林区文化センターは図書館・市政情報センターも併設されている複合施設である。こうした立地の下、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	★●【出前講座】防災博士に挑戦		
参加者	幼稚園児 小学生	延参加者	435 人
開催日	6 月 13 日(火)、10 月 21 日(土)、10 月 25 日(水)、3 月 1 日(木)		
協力者・協力団体	夢つなぐ実行委員会W a k k a ・若林区区民生活課・若林区中央市民センター管轄小学校・児童館・区民部若林区中央市民センター		
ねらい	学校と連携し子どもたちの災害に対する関心を高め、地震・津波・水害などの災害に直面した際に、的確な状況を判断ができ、自らの命は自ら守り、さらに周りの人のために役立つことができる「防災対応能力」を育むことを目的とする。		
概要・成果	防災学習「ぼうさいダックで学ぶ(災害時の初期行動)・ぼうさいクイズに挑戦・アッパくん体験」を実施した。 さまざまな災害発生時に、的確な判断により、自らの安全を確保するために行動できるための基礎学習になった。アッパくん(胸部圧迫)の体験をすることで、命を繋ぐ大切さの意識が高まった。		

〔平成 29 年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●家庭教育講座	宮城県版親の学びのプログラム「親のみちしるべ」を活用して、「自分と向き合う」と「子どもたちの未来に寄り添っていこう」という 2 回のワークショップを託児付きで開催した。	9 月 8, 29 日	2	17
●ワカチュウ子どもランド	あそびのコーナー・体験コーナーお茶席・簡単工作コーナー等を実施した。	10 月 9 日	1	300
●ジュニアリーダーと遊ぼう	もぐらたたき、シャボン玉をとぼそう、チョークアートをワカチュウ子どもランドで実施した。	10 月 9 日	1	95
若林調査隊	「イモ掘り」「国分寺の歴史」「サケの生態」のテーマで実施。いずれも子どもたちに実物に触れさせることができた。番外編として史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設を会場に隣住民を対象とした講座を実施した。	7 月 30 日 2 月 10, 23, 24 日	4	63
●中学生の職場体験学習	職業体験学習は中学校の核となる活動として位置づけられている。区民部が職場体験を受け入れており、地区館は其中で「接客研修」を受け持ち、中学生の多様な職場体験の場として実施した。	8 月 23 日～ 11 月 16 日	5	20

●東西線沿線魅力探検隊	散策「七郷堀の中を歩いて、堀沿いの桜を鑑賞」・「堀の魅力」について展示とギャラリートーク・堀なか歩き～六郷堀編～・講話「六・七郷堀のあらましとその歴史・魅力」を実施した。	4月9日 5月10日 9月24日 2月17日	4	86
南小泉老壮大学教養コース	地域の高齢者を対象に、生涯学習の理念のもと、共に学び合う場を設定し、心身ともに健康で実りある豊かな生きがいのある人生を送ることはできるよう、多様な学習の場を提供した。	4月19日～ 2月14日	11	872
南小泉老壮大学健康コース	地域の高齢者を対象に、生涯学習の理念のもと、共に学び合う場を設定し、心身ともに健康で実りある豊かな生きがいのある人生を送ることはできるよう、多様な学習の場を提供した。	4月26日～ 2月28日	11	680
【出前講座】 シニア元気倶楽部	地域の町内会や老人会の高齢者を対象に軽妙トークや歌グループ対抗のゲーム、ダンス、紋切型などを行った。	7月25日 2月20日	2	32
仙台七夕に願いを	地域住民が七夕飾りを作製し、飾る作業を行う事で、住民同士の交流する機会とするほか、複合施設である特性を生かし、文化センター・図書館・市民センターが仙台七夕祭り期間にあわせて、七夕にちなんだ行事を実施した。	6月15,22 ,29日 7月6,13,27 ,29日	7	93
季節のコンサート	若林区は音楽イベントが盛んで音楽が親しいものとなっている。七夕の時期に夏の夜のミニコンサートを始め、四季を通じ、気軽に楽しめるコンサートを実施した。	7月14日 8月4日 11月11日 12月9日	4	1,399
【出前講座】 ●地域げんき倶楽部	大和会サロンでは七夕作り、ダーツ、クリスマスリース、落語等を実施し、卸町ふれあいサロンではダーツ、ポッチャ、クリスマスリース作り等を実施した。	4月4日～ 3月6日	24	316
●ユニバーサルスポーツ・ポッチャで交流	講話「障がい者の方とふれあうために」「キャップハンディ」の体験・ポッチャのルールの学び「試合運営を体験等を実施した。	9月2,16 ,30日 10月21日 11月18日	5	61
若林区中央市民センター事業懇話会	出前講座をテーマで情報交換及び・各団体の活動、次年度の予定等についての意見交換を実施した。	12月15日	1	7
若林区中央市民センター第24回学習発表フェスタ	地域で活動している団体・個人の学習発表の場、地域の活性化、生涯学習の推進と気軽に集え、交流できる場として実施した。	10月9日	1	600
若林区民のための防災力UP講座	「若林区の防災 ここがポイント」や、なぜ、防災・減災に「女性の視点」が必要か！等の講話や、災害に備えてサバ飯作りワークショップ（災害時に限られた物資で簡単に出来る非常食）実施した。	12月7,14日	4	29
ジュニアリーダー定例会	サークルJAROの定例会を毎月開催。情報交換、要請対応、研修を実施した。	4月16日～ 3月18日	12	48
ステップアップ！読み聞かせ	実際に高齢者への読み聞かせを行っている講師から、選書や技法についてのポイント、図書館職員からは子供と高齢者への読み聞かせの違いや紙芝居のコツ等について学んだ。	6月30日 7月28日 8月2日	3	70
地域・学びの応援隊	防災学習をテーマに意見交換・情報収集、スキルアップ研修会を実施した。	12月22日～ 3月14日	5	24
市民企画会議「わかばやし魅力発信事業」	これまでの事業をふりかえりつつ、発信すべき若林区の魅力を探るための意見交換、アンケートを実施した。	1月25日 2月23日	2	44
子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとなる児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やリクリエーション等の実技を学習した。	2月3日	1	94

七郷市民センター

〔沿革〕

七郷市民センターは、地元住民の要望により「七郷公民館」として昭和 58 年 4 月に保健センター・コミュニティ防災センターとの複合施設として開館し、平成元年には「七郷公民館・市民センター」となり、若林区の拠点館となった。平成 2 年には「七郷市民センター」と改称。平成 5 年 9 月には若林区中央市民センター開館に伴い、拠点館機能を移行した。平成 14 年 4 月児童館を併設、さらに平成 22 年 2 月に大規模改修工事を終え、七郷証明発行センターも併設された。

近年、七郷地区は、復興公営住宅や防災集団移転を含め土地区画整理事業が進展し、地下鉄東西線開業も相まって新しいまち並みが形成されており、今後のまちづくりに向けた市民センターが果たす役割は大きくなっている。区役所はじめ諸機関、地域団体との連携を深め、新旧住民がつながりを築き共に支え合うまちづくり、文化づくりを推進できるよう、組織的に事業を推進している。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕
〔特色ある事業〕

事業名	◎わたしのまち七郷		
参加者	小冊子作り 町内会・地域団体からの選出者 まち歩き どなたでも かるた大会 主に小学生	延参加者	249 人
開催日	全 14 回 4 月 18 日(火) ～ 3 月 20 日(木)		
協力者・協力団体	七郷地区町内会連合会、七郷小学校社会学級、七郷語り継ぎボランティア「未来へー郷浜」、七郷地区民生委員児童委員協議会、蒲町小学校、蒲町児童館		
ねらい	農村地帯から街へ大きく変容している状況を踏まえ、今までの七郷の歴史や街並み、そこで営まれてきた暮らしをまとめ、記録として継承できるようにする。この事業を通して、転入者のみならず従来からの住民にとっても地域を知る手立てをつくり、郷土を愛する心情を育むとともに、近年の変容も含めて地域のアイデンティティを確認し、新しいコミュニティ形成につなげる。		
概要・成果	平成期の町内会毎の変化や営まれてきた暮らしをまとめた小冊子作りに取り組むとともに、平成 28 年度に作成した『七郷かるた』でたどる史跡・旧跡七郷散歩マップ」を活用したまち歩きを 3 回と、このマップの基となった「七郷かるた」で蒲町小学校編・七郷小学校編とかるた大会を 2 回実施した。まち歩きでは、見どころである史跡・旧跡毎に精通した方より説明をしていただいたことで、参加者に対して中身の濃い内容を提供でき、その説明に携わった方々とのつながりをより深めることができた。またかるた大会では、子どもたちが楽しく地域を知るきっかけとなり、運営するにあたって七郷地区民児協、七郷語り継ぎボランティア、蒲町小学校、蒲町児童館の協力を得ることができ連携を深めることができた。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育て支援講座 「ママ友つくって毎日 はっぴい」	母親同士の情報交換・仲間作りの場を提供した。家庭健康課職員のお話と交流会、ベランダ菜園、ちびっこ運動会、おやつづくり、子育て・親育ち、ママヨガ、親子で 3B 体操、料理をさらにおいしく、親子防災講座等。	5 月 23 日～ 2 月 20 日	11	214
「七郷学びの応援隊」 企画講座 「こども食 堂」ってなんだろう？	「こども食堂」の活動を知る講座を開催し、子どもたちを取り巻く課題について考えるきっかけとした。他地域での「こども食堂」活動紹介、パネルディスカッション、参加者によるテーブルトーク等。	2 月 3 日	1	43
●七郷子どもクラブ	子どもの健やかな育ちを支援するため、授業以外での様々な体験を通して仲間作りや異年齢交流の機会を提供した。ペットボトルロケットをとばそう、防災キャンプ、スイカ割り、かるた大会。	6 月 10 日～ 1 月 14 日	6	389

七郷老壮大学	地域の高齢者が心豊かなライフを送るため、学習の場、受講者間の交流の場を提供した。防犯講座、コース&ハーモニカコンサート、仙台整形外科病院院長講話、軽体操、陸奥国分寺住職講話、運営委員会自主企画講座等。	4月12日～ 3月14日	11	848
★定点観察 「今と未来をつなぐ」	変化の著しい地点をピックアップし定期的に写真で記録した。定例会、写真整理、館内フォトギャラリー展示、写真展開催、若林区中央市民センター主催講座「語り継ぐ震災の記憶」での写真展示、主催講座での写真撮影等。	5月19日～ 3月10日	32	110
伝統民俗芸能を次世代につなぐ「七郷丹波神楽ふれあい講座」	七郷神社丹波神楽保存会と共催し、伝統芸能である神楽の後継者育成と地域住民に広く知ってもらおう場を設けた。七郷神社丹波神楽を知る、神楽の基本、方平舞を演じる等。	5月25日～ 10月26日	11	19
「七郷学びの応援隊」 企画講座 霞目駐屯地見学ツアー	転入者に対し、七郷地域にある「陸上自衛隊霞目駐屯地」を見学する機会を設け、さらに周辺地域の見どころを紹介した。霞目駐屯地見学、震災当時の自衛隊救助活動の講話、企画員による浪分神社や谷風の墓の案内。	10月17日	1	28
市民企画会議「つながる・ひろがる・七郷の輪」 企画講座「かえりびなをつくりましょう」	転入者が増加していることから、新旧住民の交流の場として、還暦を迎えた女性に家族が贈るお雛様「かえりびな」作りを実施した。かえりびな作り、茶話会。	1月26日	1	12
市民企画会議「つながる・ひろがる・七郷の輪」 企画講座 蒲町出前講座「寒い冬を歌って笑って元気に！」	市民センターに足を運ぶことが難しい蒲町地区住民を対象に出前講座を実施し、交流の場・市民センターの活動を紹介する場を設けた。出囃子と紙芝居、合唱のミニコンサート、みんなで歌いましょう。	2月23日	1	18
★わたしたちはあの 日を忘れない	大震災の被害や避難、救援の様子、教訓を伝える機会を設け、住民の防災・減災への意識を高めるきっかけとした。当時の若林消防署荒浜航空分署隊員が語る、七郷語り継ぎボランティアの語り継ぐ震災の記憶と経験。	2月16日	1	70
七郷学びの応援隊	管内小学校社会学級と連携し、地域住民の視点でニーズを反映させた講座を企画・実施した。地域課題の抽出と講座開催に向けての話し合い、講座開催、振り返り。	6月29日～ 2月23日	8	52
ハートフルコンサート	地域住民に気軽に足を運んでもらえる場を設定した。七郷中吹奏楽部とブラスパーティー仙台東とのジョイントコンサート、蒲町中吹奏楽部ミニコンサート、市民センター利用3団体によるコンサート。	12月16日 2月24日 3月17日	3	310
●七郷市民まつり	新旧住民のより良い交流の場とし、また、各種サークル活動をしている団体に、学習成果の発表の場を提供した。謝恩即売、消防展示・体験、演芸発表、展示発表、バザー、保健センターまつり、児童館まつり等。	11月19日	1	11,737
市民企画会議「つながる・ひろがる・七郷の輪」 企画講座「将棋のひろば～入門編」	新旧住民の交流の場として、年齢を越えて交流できる将棋を題材に講座を開催し、新しい地域のつながりを築く機会とした。講話「将棋の世界」、小学生将棋大会、指導対局、交流対局。	10月29日	1	32
七郷地域懇話会	地域課題や学習ニーズを把握するため、懇話会を実施。センター利用団体と地域課題や学習ニーズについて、町内会と地域課題や学習ニーズについての意見交換等。	2月1,10日	2	41
ジュニアリーダー活動支援「郷郷七郷」定例会	主に、子ども会活動の活性化のため活動している地域のジュニアリーダー「郷郷七郷」の活動を支援した。定例会、要請確認・調整、交流研修会、バルーン研修等。	4月16日～ 3月29日	12	55
市民企画会議「つながる・ひろがる・七郷の輪」	七郷地域は、新旧住民同士のかかわり合いと広域性による市民センターまでの交通手段確保の難しさが課題となっている。課題解決のきっかけとなるような講座を企画・実施した。企画会議、講座開催、振り返り。	5月29日～ 3月16日	9	43
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人が、子ども会運営の知識や活動に役立つ技能などを学んだ。プログラム作り、子ども会と世話人の役割等。	2月17日	1	44
サークル体験会	新たな活動を求めている方と市民センターで活動している団体とをつなぐ場を作った。	7月25日～ 3月30日	10	106

荒町市民センター

〔沿革〕

荒町市民センターは、昭和 47 年に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称変更した。施設は、老朽化と機能拡充の必要性から現在地に建物を改築し、平成 22 年 2 月 2 日に開館した。

当市民センターが所在する荒町地区は、仙台市のほぼ中心部、昔からの老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台藩の名残を今尚残している地域である。

地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR 仙台駅から徒歩 20 分と交通の便に恵まれ地域の方をはじめ市内全域から多くの市民に利用されている当市民センターは、日中はもとより、夜間も仕事帰りの活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	荒町大好き企画会 2017		
参加者	どなたでも	延参加者	128 人
開催日	全 16 回 平成 29 年 4 月 20 日～平成 30 年 3 月 28 日		
協力者・協力団体	仙台市荒町学区民体育振興会、西多賀手話同好会、仙台市若林地区婦人防火クラブ連絡協議会荒町連合支部、荒町市民センター・児童館フェスティバル実行委員会		
ねらい	複数年事業の最終年として、荒町周辺の歴史やゆかりの人物を後世に語り継いでいくために、これまで調査してきた事柄や作成した紙芝居を地域住民に発信する。		
概要・成果	昔の荒町の写真の再展示や作成した紙芝居の上演を行い、地域への想いを住民同士で共有することができた。また、荒町周辺の歴史等から、荒町と相撲の関係に着目し、「こども相撲荒町場所」を企画・運営した。フェスティバルでの実施だったので、多くの人に荒町の歴史や魅力を感じてもらうことができた。参加した企画員は、平成 30 年度以降自主サークルとして活動していくことになった。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
あらまちっこくらぶ	子育て中の親子を対象にリトミックとお絵かき、託児付きで調理実習とヨガ体験の計 4 回実施した。初めての託児は親子共々不安があったようだが、講座終了時にはそれぞれの成長がみられ、また友達づくりの手助けにもなった。	5 月 19 日～ 6 月 30 日	4	65
あらまち体験隊	主に小学生を対象として生物観察会やドライアイス・紙飛行機での科学実験等を開催した。広瀬川や荒町公園等、地域資源を活用したことで地域を再発見する場もなった。	6 月 11 日～ 11 月 26 日	4	83
●防災ステップアップ講座「荒町ホップ・ステップ・キャンプ 2017」	指定避難所の荒町小学校を会場に、小学生とその保護者等を対象にした防災デイキャンプを開催した。火起こし体験や飯盒炊爨、テント設営訓練、ランタンづくり等を行い、地域防災意識向上の一助となった。	8 月 19 日	1	28
男子編み物くらぶ	編み物については全くの初心者である男性を対象として、編み物の基礎から作品作りまでを学びつつ地域での仲間作りを促せる内容で計 5 回実施した。	10 月 18 日～ 12 月 6 日	5	33

あらまち町民大学シ ルバーセミナー	毎月1回開催の老壮大学。歴史講話や音楽鑑賞、健康体操などの内容で全11回行った。また、館外学習として仙台市博物館の特別展観覧を行った。	4月19日～ 3月7日	11	717
荒町七夕物語	七夕飾りを作り伝統ある「荒町の七夕」に参加することで、荒町商店街振興組合との連携が深まった。	6月29日～ 8月3日	5	88
荒町音楽倶楽部	仙台市民に浸透している音楽を通して、地域の方々が気軽に集えるコンサートを夏と冬に開催した。「地域コミュニティ」醸成に向けての一助となった。	7月7日 12月14日	2	70
シニアの安心塾	五橋地域包括支援センターと共催で開催し、伊達家の家紋の講話や軽体操、防災、食事など多岐に渡る分野で専門家のお話を聞き、生活上の不安軽減化を図った。	11月8～29 日	4	62
荒町市民センター・児 童館フェスティバル	地域住民およびセンターを拠点に活動しているサークルが日ごろの学習成果を発表した。また、当センターの市民企画会議からの年央事業「こども相撲荒町場所」もフェスティバルの中で開催し、大いに賑わった。	10月7, 8日	2	4,500
荒町市民センター地 域懇談会	会合を2回に分け、第1回目は事業紹介と意見交換を実施。第2回目では主に「地域力創造支援事業」と「こども相撲荒町場所」の結果報告に合わせ来年度に向けた意見交換を行った。	5月24日 2月16日	2	33
社会学級共催事業企 画会	荒町小学校、連坊小路小学校の社会学級生が企画員となり、地域の課題を探りその問題解決になるための事業企画を行った。 「傾聴をまなぶ～ていねいなコミュニケーション」を企画した。	5月30日～ 3月20日	6	14
ジュニアリーダー定 例会	月1回実施。要請の確認や活動報告などの情報交換の場を提供し、ジュニアリーダーの自主活動を支援することができた。また、新たに5名の加入もありさらに活発な活動につながった。	4月22日～ 3月25日	12	48
こども相撲荒町場所	地域の各種団体と協力し5歳から12歳まで32名の子供力士が4グループに分かれて対戦した。4名の横綱が誕生しちゃんこ鍋で交流しながら来年度からの継続に向けて大きな一歩を踏み出した。	9月23日～ 10月7日	3	87
社会学級共催講座 「傾聴をまなぶ～て いねいなコミュニケ ーション」	社会学級共催事業企画会を経て企画した講座。地域住民を対象に、コミュニケーションの上手な取り方をテーマに講話と交流会を実施した。	1月23日	1	37
◎「みんなの荒町公 園」再生事業	地域住民やボランティアを募り実行委員会形式によるイベント「シャボン玉&バルーンフェスタ」と「焼き芋と昔遊びの会」をおこなった。地域内の連携の他高校や大学との連携が深まった。	5月27日～ 3月9日	16	328
仙台市子ども会イン リーダー研修会	次年度に子ども会のリーダーとして活躍する児童（子ども会会長または班長など）及び世話人を対象に子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等を学ぶ機会を提供した。	2月10日	1	76

六郷市民センター

〔沿革〕

昭和56年、地域住民の福祉増進を目的に保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和58年に「六郷市民センター」と名称を改め、地域の社会教育活動の場として定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成2年には「六郷児童館」を併設、さらに平成22年12月に大規模改修工事を終えて再開し、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地域は名取川と広瀬川の合流点を有し、美しい干潟や貞山堀運河、屋敷林の居久根など自然環境や歴史的遺産等に恵まれていた。しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、沿岸の六郷東部地区は住宅・学校・農地・事業所といった生活基盤のほとんどが壊滅的かつ甚大な被害を受け、地域が一変した。また平成29年3月末には東六郷小学校が六郷小学校と統合し閉校となった。

現在、六郷地区の再スタートということで、地域住民・町内会・各団体と連携を保ち、情報を共有しながら、地域を支えられる人材育成の推進と新たな地域の活性化に努めている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	「サロン・シング・あ・ソング」		
参加者	地域住民他どなたでも	延参加者	135人
開催日	全6回 5月12日(金)、6月9日(金)、7月14日(金)、9月8日(金) 10月20日(金)、11月5日(日)		
協力者・協力団体	六郷市民まつり実行委員会		
ねらい	復興公営住宅や集団移転地への入居が完了し、新たな生活が始まっている。そこで、地域の方が気軽に参加できるサロン形式で、懐かしい童謡・唱歌を歌う機会を提供するとともに、歌の輪を広げる出前サロンを開催し、友達づくりや健康増進に役立てる。さらに、地域の歌のリーダーとして活動する。		
概要・成果	複数年事業として平成27年度に開始し、今年度で終了。地域の方が歌を通して気軽に交流できる場を提供した。防災集団移転地である久保田東町内会や六郷公営住宅自治会の方など、新たに参加した方が増えた。また今年度も「六郷市民まつり」に参加し、地域の皆さんと一緒に歌ったことは講座の締めくくりとして良かったと思う。講座終了後、サークル化の話し合いを持ったが、スムーズな運営のための人数が揃わず、結成には至らなかった。		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で体験！楽々らクラブ	地域の若い親世代が、市民センターの講座を受けるきっかけとなるような、親子で気軽に参加できる体験型講座。親子ヒーリング、料理、エネルギー学習とセグウェイ試乗、運動遊びを実施した。	5月26日～ 12月22日	4	90
親子で遊ぼう！ポップ広場	乳幼児親子を対象に、スクラップブック、リトミック、親子ヨガの講座のほか、民児協の協力を得て郷土料理の調理実演と試食会を行い、参加者同士や地域の方との交流の場とした。	6月6日 9月12日 12月5日 1月16日	4	35
中高生の六郷クラブ	年齢の離れた者同士が交流する機会が少ない昨今、地域の中学校・高校の部活動の部員が講師となり、演技の披露や技術を指導することで交流促進を図る。仙台東高校マジック部・英語海外文化部、六郷中学校卓球部。	6月24日 8月9日 10月21日	3	51
ジュニアリーダーと遊ぼう	当市民センターで活動するジュニアリーダー「六郷村」が子ども達の遊びを支援することで、交流するとともにスキルアップを図る機会となった。秋休みと六郷市民まつりで開催した。	10月11日 11月5日	2	98

●六郷あすなろ大学	高齢者が活発な地域活動と生きがいのある豊かな生活を得るために、運営委員会と協議しながら、自主的に参加できる通年型の学習の場を提供した。健康・介護予防講話、体操等。	5月18日～ 3月8日	10	526
★お宝発見！～六郷 界隈地域探訪～	震災で様変わりした六郷地域の復旧の状況を知るとともに、かつての講座「六郷を探る会」で作成した冊子を活用し、六郷の魅力発見につながる人や場所を訪ねた。講話とフィールドワーク、井土浦動植物観察等。	7月26日 9月13日 10月25日	3	23
六郷お月見会	地域の諸団体と連携し、伝統行事に触れる機会が少なくなっている若い世代に季節の行事であるお月見会を体験する機会を提供する。月に関するお話会、月の観察、工作、お茶会を実施した。	9月29日	1	50
●六郷地域防災事業	今年度は大雨洪水避難に特化して区指定避難訓練を行った。防災対策委員会と学校・地域団体・行政等が連携し防災事業に取り組み、津波避難と異なる避難方法を中心に、訓練、検証、見直しを実施し、また研修会を行った。	7月14日～ 11月7日	4	1,681
ここ・そこ・どこでも・六郷ふるさと音頭	以前、当市民センター講座で作成した「六郷ふるさと音頭」を地域の方に広めるため、六郷小学校へ出前講座を実施し、六郷市民まつりでみんなで踊るために練習会を開催。まつりでは大きな輪になって踊った。	7月20日～ 11月5日	6	400
★●六郷交流サロン 「おじゃまします、 市民センターです」	復興公営住宅や集団移転地の入居者同士の交流や六郷地域の方々との交流を目的として、市民センターで活動する太極拳体操、フラダンス、手づくり小物、編物のサークル体験と主催事業の出前講座を開催した。	7月25日～ 11月17日	5	63
★●市民企画講座「旧 東六郷小学校 校舎 を送る会」	東六郷小学校校舎解体の前に、地域住民や縁のある方で花植えや清掃活動を実施し感謝の気持ちを表すとともに、交流の場を提供した。	6月11日	1	100
★●市民企画講座「ふ るさにつどう 第3 回鎮魂の花火」	六郷東部の震災前とその後の様子を写真や映像で流し、お菓子やお茶を準備して交流の場を提供した。募金による鎮魂の花火も実施した。	1月27日	1	200
●平成29年度「六郷 市民まつり」	今年度は震災後の復興公営住宅・集団移転地の完成に伴い2町内会が加わり、六郷地区の絆を深め交流の場となるよう開催した。ステージ発表、作品展示、地域出店、防災・安全、環境、児童館、保健センター、大抽選会等。	11月5日	1	3,580
市民センター・児童館 事業運営懇談会	一層親しまれる地域拠点の機能を果たすため、市民センター・児童館の運営方針や事業内容を地域諸団体・ボランティアサークル等に周知し、意見や要望を聞いた。	11月8日	1	30
ジュニアリーダー「六 郷村」定例会	毎月1回定例会を開催し、子ども会等から来た要請の連絡・調整のほか、ゲームやバルーンアート等のスキルアップ研修、要請プログラムの作成等を実施した。	4月22日～ 3月24日	10	35
★市民企画会「わたし のふるさとプロジェ クト」	震災で様変わりした六郷東部地区の賑わい再生を考える会議を開催し、課題解決に取り組むとともに、イベント企画運営に携わる人材の発掘・育成を目指した。企画会議、企画イベントを行った。	5月17日～ 3月14日	19	136
市民企画会「六ゴーイ ング」	市民センターへの参加が少ない地域の成人男性を中心に地域活性化を目的とした事業企画・運営の機会を設け、仲間づくりや地域社会への参画意識を養い、事業計画会議を行った。1～2月に自主事業を行った。	6月10日～ 2月18日	3	10
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとなる児童と世話人を対象に、子ども会活動の意義や役割について学ぶ講話と、ジュニアリーダーの協力を得てレクリエーションゲームの進め方等の実技を行った。	2月17日	1	25

若林市民センター

〔沿革〕

若林市民センターは、平成3年4月に若林児童館、コミュニティ防災センターを併設して開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。

管内は藩政時代伊達政宗公ゆかりの史跡や広瀬川舟運、商人の町の歴史ある町名を残すとともに、広大な河川公園などがあり、自然に恵まれている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	★●◎みんなでつくる“活気と思いやりのあるまち若林”		
参加者	若林小学校児童及び地域の諸団体・地域住民	延参加者	375人
開催日	全5回 5月23日(火)、6月27日(火)、7月11日(火)、10月31日(火)、2月6日(火)		
協力者・協力団体	若林小学校・若林小学校PTA・若林地区町内連合会・若林西せせらぎ会・若林地区社会福祉協議会・民生委員児童委員連絡協議会・日赤奉仕団・若林消防団南材分団・若林地区婦人防火クラブ連合支部・若林区まちづくり推進課・若林区中央市民センター		
ねらい	若林地区の将来を担う若林小学校の児童を核に、町内会をはじめとする地域の諸団体と学校、PTA、市民センター等が協働して事業を実施し、地域全体で子ども達の成長を支援するとともに、本事業を通じて人と人との繋がりや団体と団体との連携をより強固なものにし、地域コミュニティの充実を図り、若林地区を活気と思いやりのあるまちにすることを目的とする。		
概要・成果	若林小学校の児童と若林西市営住宅の入居者が地域の方々と一緒に花植え作業を行い、交流し、元気を届ける事業を春・秋2回実施した。子ども達には地域の方々との関わりを通して思いやりの心を芽生えさせる効果があったと考える。また、若林小学校PTA事業として「親子で防災ゲームin若林」を開催した。この事業は、小学生を持つ若い世代が地域活動に参加するきっかけづくりと防災意識の涵養を目的としたものである。開催に当たっては、町内連合会をはじめ、学校近隣の町内会や諸団体の支援のもと交流を深めながら、改めて自助共助による防災減災対策の必要性を考えてもらうことができた。2月には、若林西市営住宅に入居する方々が主体となり、復興公営住宅と地域の方に“花と笑顔と元気”を届けてくれた若林小学校3年生の児童に歌のプレゼントをするために「花いっぱい、ありがとうコンサート」を企画した。地域の方々同士の交流の場にもなり、地域コミュニティの進展に繋がっていくのではないかと考える。		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育てタイム～ママも楽しもう～	母親がリラックスし、また、母親同士の友達の輪が広がることを目標に託児付きで実施。①若林区家庭健康課保健師を交えた育児相談、②鍋敷きの作成、③バランスボールを取り入れた運動を行った。	10月25日 11月8,22日	3	18
わかばやしチャレンジクラブ	小学生を対象に、学校や家庭では味わえない体験の場・交流の場を提供する。①紙飛行機づくり、②地域のサークルと共に卓球、③仙台東高校マジック部とマジックの講座を実施した。	7月15日 10月14日 1月13日	3	36
若林小学校連携事業「わかばやし歴史探検」	若林小5年生を対象に地域学習授業の一つとして、若林城跡を中心に地元郷土への関心を高める講座を実施した。①ブックトーク、②文化財課教諭の講話。3回の予定であったがインフルエンザのため2回になった。	11月28日 12月7日	2	141

古城小学校連携事業 「仙台まち再発見」	古城小5年生を対象に、自分たちの住んでいる地域の歴史や地理等を学ぶ機会を提供した。①文化財課教諭の講話、②ブックトーク、③グループに分かれたまち探検。	9月15,21日 11月28日	3	165
中学生職場体験	沖野中学校2年生5人を受け入れ、市民センターの役割や生涯学習事業、施設管理等についての理解や、窓口業務や環境整備、事業企画を考えて簡単なチラシ作成するなどの作業を体験した。	8月23～25日	1	5
くらしアップわかばやし	市民センターの利用者拡大を目的として、時代に即した情報や幅広い知識を提供した。①「プロに学ぶスマホ撮影のコツ」、②「消しゴム篆刻」、③「歩き方を見直してくらしアップ」を実施した。	7月8日 12月13日 2月16日	3	36
市民企画講座 「若林地域の歴史とまちなみ」	市民企画会議で企画運営。若林地域の歴史や学びの成果に関する公開講座を開催。①成人を対象に講師を招き「若林の歴史環境」、②企画員が講師となり老壮大学の1コマで「若林の50年 そして今」を実施した。	12月21日 1月12日	2	121
おとなの社会科体験	成人を対象に施設見学や体験を行なう機会を提供した。①ドローン操作を体験、②鉄道交流ステーション見学、③地域の店に行き染体験を実施した。	7月22日 11月4日 2月8日	3	22
若林老壮大学	高齢者に対応できる様々な分野の学習を月1回実施した。内容は、災害と報道、八木山動物公園の現状と魅力、正しい救急車の使い方、軽体操、川柳、歴史、星の話、ミニコンサート等。	4月14日～ 3月2日	11	750
●みんなで守ろう！ 若林	地域団体と連携し、住民の自助・共助の力を養うために、若林区区民生活課の協力を得て開催した。①②古城小学校・同校PTAと連携し「親子で防災」、③八軒中1年生を対象に「みんなのための避難所作り」を行った。	7月5,19日 10月21日	3	193
●若林魅力発信事業 「若林WALKER」 マップを作ろう～河原町編～	若林区まちづくり推進課と共催、東北工業大学と連携し、地下鉄河原町周辺のまち歩きマップを作成。ワークショップを通して市民と学生が交流し、地域を見直すきっかけとなった。	9月30日 11月11日 12月2日 2月24日	4	104
わかばやし気軽にコンサート	誰もが気軽に立ち寄り、生演奏ならではの温もりのある音楽の提供。①ヴァイオリン・ギター・ソプラノによるクラシック、②ジャズ、③「琉球國祭り太鼓」、④ヴァイオリンとピアノのクラシックコンサートを実施した。	6月3日 9月23日 12月16日 3月3日	4	167
若林ふれあいまつり	若林地区住民のふれあいの場として、またサークル・団体の学習成果の発表の場として、町内連合会、地域団体と実行委員会を組織し、まつりの企画運営を行った。多数の来場者でにぎわう楽しいまつりになった。	9月3日	1	1,200
地域懇話会	地域住民や学校関係者等に市民センターの活動を紹介するとともに、市民センターの事業や運営等に関する意見・要望等を伺い、意見交換を実施した。	2月7,15日	2	28
ジュニアリーダー定例会	月1回、区定例会の前に若林区中央市民センターで開催。要請確認・調整・技術研修の他、メンバー同士の交流・親睦を深める場とした。	4月16日～ 3月24日	12	28
市民企画会議「仙台の今・むかし」	複数年事業の5年目。月1回集まって企画会議を開催し、公開講座を企画運営した。「若林の50年 そして今」というマップを制作、それを資料に老壮大学の1コマで講師となり、学んだ成果を地域に向けて発信した。	4月27日～ 3月15日	12	97
仙台市子ども会イン リーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会の知識や活動に必要な実技の研修を行った。実技では、児童が企画したゲームを世話人を交え行った。	2月3日	1	69

沖野市民センター

〔沿革〕

沖野市民センターは、平成3年4月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。東側に田園が広がり、西側はバイパスを境に住宅が密集している。多種の木々と、老人クラブや地域の方々が善意で植えてくださった花壇が、センター前広場に彩りを添えており、こうした花と緑豊かな広場を持つ当市民センターは、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯学習活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んである。また、町内会や老人クラブの結束力が強く、活動も活発で、学校や他の公共施設等とも円滑な関係を保っている。様々な分野の達人も多く、地域人材も豊富な地域である。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕
〔特色ある事業〕

事業名	★●若い力で地域を守る－沖野地区総合防災訓練－		
参加者	沖野中学校生徒、沖野地区の住民	延参加者	50人
開催日	全1回 10月21日（土）		
協力者・協力団体	沖野地区災害対策委員会（沖野中学校、沖野小学校、沖野東小学校、民生委員児童委員協議会、沖野老人福祉センター、若林消防署六郷出張所、沖野地区町内会、沖野地区婦人防火クラブ、若林区保健福祉センター、若林区保護課、若林区まちづくり推進課、若林区区民生活課、仙台市農業委員会、若林区社会福祉協議会、SBL、防災士）、沖野地域包括支援センター、沖父ちゃん会（沖野東小学校おやじの会）		
ねらい	学校・地域諸団体と緊密な連携を図りながら、市民センターを会場とした防災講座を実施し地域活動の拠点としてのセンターを地域により一層浸透させていく。中学生を対象とすることで、地域全体の防災意識の向上を図るとともに未来の地域活動を担っていく若い力を育ていく。		
概要・成果	地域の防災訓練の機会に、心肺蘇生法、AED、車椅子の扱い方、高齢者疑似体験など市民センターが補助避難所として求められる事態を想定し、中学生を主体に福祉的視点を取り入れた日常でも役に立つ訓練を行った。 学校、町内会、地域団体とさらに多くの協力を得て開催することができ、これによって地域の防災力の強化に繋がり、市民センターと諸団体の関係もさらに緊密になった。また、中学生にとっては地域の一員なのだという自覚を促す良い機会となった。		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
笑顔で子育て	保健師による講話と育児相談、ベビーマッサージと3B体操、スクラップブック作りと民生委員児童委員との交流会。	8月29日 9月12日 10月24日	3	62
沖野っ子見守り隊	講話「親子で学ぶメディアとの上手な付き合い方」と子育て相談。	9月16日	1	12
伝えよう仙台伝統七夕	ミニ七夕作り、沖野小学校・沖野東小学校での七夕作り講座。	6月3日～ 7月6日	6	276
ちびっこチャレンジ	仙台東高校マジック部によるマジックショーとマジックレッスン、ドライアイスを使った科学実験、重曹を使ったカルメ焼き作り体験。	7月15日 8月24日 12月16日	3	65

第1回OKINO G・Pr ix (ミニ四 駆大会) & 第4回沖小 v s 沖東小ドッジボ ール大会	地域の小学生を対象に沖野小と沖野東小のそれぞれのおやじの会と連携して、ミニ四駆大会とドッジボール大会を開催した。	8月20日 12月3日	2	128
沖野学園～学びのスク ール	学校を会場とし地域人材が講師となり、各種プログラムを小中学生へ提供した。座禅体験、茶道体験、生け花体験、染物体験、野菜の調理、パン作り、ラダーゲッター、デザート作り、ポニーとのふれあい、地層や化石を学ぶ、ティーボールを楽しもう。	7月27,28日	11	248
目からウロコの能楽 入門	能楽の基礎知識と謡と仕舞の実技体験を通して、日本の伝統芸能を学ぶ講座を2つの社会学級と連携して実施した。	6月9日	1	15
お父さん出番です企 画会	地域の2つのおやじの会と連携して、親子で参加できるミニ四駆大会とドッジボール大会を企画・実施した。	4月23日～ 12月3日	6	42
沖野耕友大学	開講式&コールおきのと歌いましょう、ボッチャで交流、特別公開講座「ふれあいコンサート」、文学講座「正岡子規の日記から」、防災エンスショー、ナイスエイジの食事学、沖野・六郷の歴史、交通安全・防犯講座、年忘れ演芸笑、映画鑑賞、介護予防運動、閉講式、自主企画講座、趣味の展示会。	5月12日～ 3月9日	13	875
市民企画講座 春めく体操ワン・ツ ー・スリー	地域住民の高齢化対応するために転倒とサルコペニアについて学び、予防する為の運動を学ぶ講座を実施した。	3月16日	1	15
社会学級との事業企 画検討会	社会学級と連携し、講座の企画・運営を行った。	4月1,13,25 日 6月9日	4	26
沖野地区市民まつり	地域住民の交流と地域活性化を目的にまつりを開催した。ステージ発表、作品展示発表、模擬店、フリーマーケット、消防コーナー、児童館コーナー、老人福祉センターコーナー、その他。	11月2,3日	2	9,930
ホットタイムコンサ ート～土曜のひとと きをご一緒に～	地域住民が気軽に集い、交流できる場を提供するために吹奏楽コンサートを開催した。	11月12日 3月4日	2	132
沖野地区懇話会	町内会や地域の諸団体等に市民センター、児童館事業について説明し、意見交換を行った。	8月25日	1	13
ジュニアリーダー定 例会	ジュニアリーダーの派遣要請についての調整、情報交換、技術研修会。	4月16日～ 3月18日	12	3
★東日本大震災後の 活動記録－沖野かわ ら版－	東日本大震災を振り返り、防火・防災シンポジウムを町内会と連携して開催した。また、地域の防災訓練情報を盛り込んだ「沖野かわら版」を発行した。	5月31日～ 12月17日	11	90
市民企画会議	市民が企画員となり、地域住民の健康増進と活力のある暮らしにつながる講座を企画・実施した。	10月11,25 日 11月15日 3月16日	4	20
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人が、子ども会運営の知識やレクリエーション、ゲーム等の進め方を学ぶ機会を提供し、子ども会活動の充実を図った。	2月10日	1	41

太白区中央市民センター

〔沿革〕

太白区中央市民センターは、平成 11 年 6 月長町商店街の中核をなす JR 長町駅前に開館した複合施設内にある。同施設には当市民センターの他、太白区文化センター、太白図書館、長町児童館及び太白区情報センターも設置されている。JR やバス、地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れた立地のため、近隣の広い地域の生涯学習活動や交流の拠点として、多くの市民が利用している。

当市民センターの周辺は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のある地域であるが、近年は地下鉄沿線・あすと長町地区での大規模小売店の進出やマンション建設等が進み、人口の増加が著しく、さらに復興公営住宅の完成や仙台市立病院の開院等、これまでも増して多くの滞在人口がのぞめる地域となってきている。当市民センターではこうした状況を踏まえて、地域コミュニティの活性化にも積極的に取り組んでいる。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	バリアフリー体験 in 長町 2017		
参加者	小学生及び成人	延参加者	82 人
開催日	全 6 回 6 月 6 日(火)～11 月 8 日(水)		
協力者・協力団体	CIL たすけっと・長町地域包括支援センター		
ねらい	長町地域には障害者関連施設が多くあるが、地域住民の認知度はあまり高いとは言えない状況にある。そこで、障害者支援施設、地域包括支援センターと連携し、障害者や高齢者、地域住民がお互いを知り、共に支え合いながら安全・安心な街づくりを考える機会とする。		
概要・成果	平成 29 年度は、小学生と障害者の方々とのお菓子作りや買い物介助体験を通して交流を深め、さらに、防災・減災について考える意見交換会や交流サロン等を開催した。実体験や意見交換等の交流を通して、障害者や高齢者に対する理解を深め、災害時要援護者への対応等安全・安心な街づくりを考える機会となった。		

〔平成 29 年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
めざせ！ながまち子ども鉄道博士	都市交通として利便性の高い鉄道をツールとし、駅長オススメの小さな旅や地域再発見プロジェクトなどについて学び、移動学習のプランづくりと実施を行なった。	7 月 29 日～ 9 月 10 日	4	42
エフエムたいはくキッズ情報局 2017 長町支局	昨年に続きテーマは「ボランティア」。今年度は障がい者との交流に加え、実際に介助や買い物支援等のボランティア体験を通して、取材や番組原稿を作成し、エフエムたいはくのラジオ局から地域に発信した。また、ながまち交流フェスタでは館内放送のアナウンス体験やジュニアリーダーの手伝い等、様々なボランティアを学ぶ機会になった。	6 月 18 日～ 1 月 21 日	11	96
太白区中央老壮大学校公開講座	全 2 回の老壮大学公開講座を実施した。①5 月 18 日講演会「健康と音楽の効用」②2 月 9 日演奏会「マリンバとピアノのコンサート」	5 月 18 日 2 月 9 日	2	908

《太白区》

夜のぶらぶら長町再発見	地域の「暮らしと生活」に焦点を当て、住みよい街の魅力を再発見した。また、勤労者をターゲットに夜間開催とした。①ゼビオアリーナ仙台バックヤードツアー②イケア仙台バックヤードツアー	8月31日 9月30日	2	63
太白区中央老壮大学 校いきいき健康コース	高齢者が学習を通して仲間づくりや交流を広め、生きがいのある生活を送るため、健康づくりを主とした多様な内容を座学や実技で学んだ。	5月18日～ 2月9日	9	549
太白区中央老壮大学 校せいかつ教養コース	高齢者が学習を通して仲間づくりや交流を広め、生きがいのある生活を送るため、健康・文化・経済・自然等、広範囲にわたり、時代に即した内容の講座を開催した。	5月18日～ 2月9日	9	610
太白区中央老壮大学 校ふるさと文化コース	高齢者が学習を通して仲間づくりや交流を広め、生きがいのある生活を送るため、地域の歴史や文化、慣習等を主に座学で学んだ。	5月18日～ 2月9日	9	575
ひと・まち賑わい七夕作り	大型の七夕飾りを制作、文化センターエントランスロビーに設置し、来館者に鑑賞して頂いた。受講生募集の形態はとらずサロンの開催にしたことで、気軽に参加でき老若男女多くの方が伝統の仙台七夕飾り作りを体験した。サポーターの2つのサークルに新しいメンバーが入会し、地域ボランティア活動の活性化に繋がった。	6月6日～ 8月9日	11	167
太中ふれあいサロン	ハンドマッサージ・タッピングタッチや折り紙ボランティア等による体験会を開催し、地域住民が気軽に集い地域の情報交換や交流ができる茶話会を開催した。	5月25日～ 1月18日	6	92
ながまち交流フェスタ2017	各サークル・団体による作品展示や舞台発表、地域商店街や中学生による出店、折り紙等の体験コーナー、大学生サークルによるお化け屋敷等を行った。	10月28日	1	5,600
太白区中央市民センター事業懇話会	市民センター事業をより魅力あるものにするために、町内会・地元商店街・ボランティア・市民センター・文化センター利用者等の代表と懇談し、地域ニーズや課題を共有した。	11月8日	1	8
ジュニアリーダーながまっくる定例会	毎月1回、主に第4日曜日に定例会を開催し、地域等からの要請の連絡調整や情報交換を行った。各種研修も実施し、スキルアップを図った。	4月23日 3月25日	12	85
市民企画会議「きらりん長町」	中学生と大学生の企画員が、地域イベントの活性化のための企画会議を開催した。市民企画講座「2017 Nagamachi イルミネーション」およびプレイベント「スマホでフォトテクニック」を企画・運営した。	9月16日～ 12月26日	8	25
市民企画講座「2017 Nagamachi イルミネーション」	地域商店街のイベント「2017 Nagamachi イルミネーション」において、若者の目線でイルミネーションのデザインをプロデュースした。また、イベントの活性化に寄与するようなプレイベント「スマホでフォトテクニック」も実施した。	11月25日～ 12月31日	2	410
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、次年度の子ども会のリーダーとなる児童と世話人に子ども会の運営方法や行事の進め方を学ぶ機会を提供した。	2月4日	1	89

生出市民センター

〔沿革〕

生出市民センターは、昭和 24 年 4 月生出村公民館として発足し、生出小学校の一隅で公民館活動を行ってきた。昭和 31 年には仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。地域住民の強い要望から昭和 42 年 4 月、地域社会教育の拠点として、現在地に「生出公民館」が建設された。その後昭和 55 年 5 月には、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望され、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設として開館した。後に、敷地内に調剤薬局・証明発行センターが開設され、同年の 10 月に第 1 回生出コミュニティまつりが開催され今日に至っている。

平成 2 年には「仙台市生出市民センター」に改称され、市民相互の交流と地域活動振興の拠点、また地域づくりの拠点として利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	◎ホテルの里・坪沼プロジェクト		
参加者	地域住民	延参加者	665 人
開催日	全 13 回 4 月 18 日(火)～3 月 20 日(火)		
協力者・協力団体	ふる里坪沼実行委員会、北町内会、中沖町内会、板橋町内会、根添町内会、坪沼子ども会育成会、生出小学校		
ねらい	自然豊かな坪沼地区においては、以前から「蛍」を地域資源として活用してきた。しかし近年では、道路整備や生活環境の変化、異常気象などの様々な理由により自生の蛍は減少してきている。本事業ではその「蛍」について、地域住民が自ら学び、保全する活動を通して世代間交流を図りながら、環境を守ることの大切さなどを次世代へと継承していくことをねらいとする。		
概要・成果	坪沼地区内 4 町内会の会長を中心とした「ホテルの里・坪沼プロジェクト実行委員会」を発足。主な取り組みとしては、蛍観察会の開催、蛍観察路および生息地の環境整備活動、蛍幼虫の飼育を行った。特に幼虫の飼育については、坪沼地区 8 世帯および生出小学校、市民センターで取り組み、3 月には生出小学校 3 年生児童と共に生息地への放流を行い、子どもたちと地域住民との交流が図られた。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おいでめんこいフェスタ	地域の子育て支援団体と連携して、運動会や留学生、外国人との国際交流の場を提供し親子や地域住民が気軽に集える機会を設けた。	6 月 17 日 11 月 18 日	2	61
親子ふれあい農業体験 in 坪沼	子ども達が外で遊ぶことが少なくなっている今日において、農業について学ぶ機会を設けると共に坪沼という地域を知ってもらうきっかけづくりを行った。	6 月 3 日 8 月 19 日 9 月 30 日 10 月 29 日	4	60
おいでわんぱく広場	公園が少ない生出地域において、生出市民センターの体育館を自由開放して子ども達の遊ぶ場所を提供した。また体験講座等も企画して様々な文化に触れる機会を提供できた。	通年	18	216
出前講座	各地域に出向き地区婦人部と連携して、暮らしや健康作り講話、運動、ミニコンサートを開催した。学びの機会を提供しながら地域活動の活性化につなげた。	6 月 7 日～ 2 月 3 日	12	220

生出地区「食文化の伝承」	日本の昔ながらの食について学び、地域住民との交流を通して食文化の伝承を図った。（「味噌作り」「干し野菜作り」「こんにゃく作り」）	6月29日 11月22日 12月13日	3	51
生出朗壮大学	高齢者が生きがいを持って心身共に健康で豊かな生活を送れるように、様々な分野にわたって生涯学習の機会を提供した。（「健康講座」「体験講座」「館外学習」「教養講座」「芸術鑑賞」）	5月20日～ 2月17日	11	257
第29回「蛸と平家琵琶の夕べ」	坪沼地区初夏の風物詩として広く定着している催しである。平成29年度も伝統文化や新鮮な農作物を広くPRすることにより、地域活性化が図られた。	6月24日	1	1,500
生出地区「災害対応」講座	昨今の温暖化による気象の変化を知るために、東北地方に及ぼす地球環境の変化、今世紀末の気候シミュレーション、異常気象と防災気象情報について、仙台管区気象台の専門家から学び、災害対応について考える機会となった。	2月21日	1	39
●生出かかしまつり・コンテスト	町内会・小中学校・各種団体が地域を挙げてかかしを制作し、様々な団体の協力を得てかかし人気コンテストや模擬店、ミニコンサートを開催した。	8月31日～ 9月30日	4	593
第38回 生出コミュニティまつり	地域住民による日頃の学習成果の発表と、地域住民の交流の機会を提供し、小中学校や各地域団体の参加を促すことで、地域間交流を推進した。	10月22日	1	1,610
地域活性化懇談会	市民センターの利用について、主に町内会長と懇談会を実施し、意見交換を行った。	11月19日 11月23日	2	11
生出物語～いにしえから現在、そして未来へ	地域誌「生出物語」を基に生出各地区の歴史探索、他地域のガイドボランティアグループとのまち探索や交流の機会を提供した。また、発足したガイドボランティアグループが地域の方々を案内して廻った。	4月15日～ 11月5日	7	95
市民企画会議 子どもの体験企画会	生出小中学校PTA、おいで里ネット委員に市民企画会議への参加を呼びかけ、11名の企画員が集まった。地域の子ども達が大人と交流しながら集うことができる交流会を企画・実施した。	6月16日～ 3月23日	6	36
市民企画講座 みんなで楽しく！ピンポン・パン！	生出学区体振卓球部の方を講師に迎え、卓球大会とパンケーキを食べながら交流会を行った。茂庭台地区のジュニアリーダーにも協力をいただき、小学校低学年から中学生までが楽しく交流する機会となった。	9月23日	1	28
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童(子ども会会長または班長など)及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション等を学習する機会を提供した。	1月21日	1	9

中田市民センター

〔沿革〕

中田市民センターは、昭和44年10月、中田中学校跡地に同校の旧体育館と旧校舎の一部を改築して仙台市で5番目の公民館として開館した。昭和56年3月に本館を鉄筋コンクリート二階建てとして新築し、平成2年4月には「中田市民センター」と改称。平成19年7月からの大規模改修工事を経て、平成20年1月に再開し、現在に至っている。

平成元年度から平成11年6月までの間は、太白区内市民センター13館の拠点館として太白区全体の生涯学習推進を担っていたが、現在は地区館として事業を展開している。

また、町内会連合会と地域関係団体とで「中田公民館運営協力委員会」が組織されており、「中田まつり」や「篝火コンサート」など、市民センター活動をはじめとして地域の行事に大きな支援を行っている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	地域連携事業「タイプ別接し方のコツ～コーチングに学ぶコミュニケーション術～」		
参加者	地域住民	延参加者	70名
開催日	全1回 10月7日(土)		
協力者・協力団体	中田社会学級・中田小学校支援地域本部・中田小学校父母教師会		
ねらい	平成28年度、中田小学校に学校支援地域本部が発足し、精力的な活動の成果で軌道に乗りつつある。市民センターでは情報の提供や周知活動への支援を行っているが、連携して事業を行うことで、円滑な運営の手助けと相互の関係を深める。また、地域で子どもたちを支えていくために地域住民のコミュニケーションを図るとともに、社会学級や父母教師会との連携により、地域の教育力の向上や情報の共有化とネットワーク作りの一助とする。		
概要・成果	<p>団体での活動のみならず、家庭や仕事など様々な場面で必要とされる「コミュニケーション」をテーマに取り上げた。コーチングの観点から講話いただき、自分のタイプや相手のタイプを知り、相手に合った接し方・円滑なコミュニケーションをとるコツを学んだ。</p> <p>講座がワークショップ形式だったということもあって終始にぎやかな雰囲気の中で行われ、各団体の垣根を越えた交流も見られた。市民センターと社会学級や父母教師会と連携し実施したことは、なかなか関わりのなかった若い子育て世代の方と関係を深めることとなった。この事業を通じ、地域情報の共有化と、ネットワーク作りにつながった。</p>		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
わくわく親子体験クラブ	①平成28年度作成の中田地区お宝マップをもとに、その受講生に中田地域を案内してもらい、地元の歴史学習 ②季節の野菜を使ったおいしい調理実習③サバイバル飯づくりなどデイキャンプ体験④名取川での川遊び	6月18,25日 7月29日 8月19日	4	53
ジュニアリーダーとあそぼう	①「中田小放課後子ども教室スマイルクラブなかだ」の夏休み行事に合わせ、レクリエーション活動②「中田まつり」において、ゲームコーナー・工作コーナーの企画運営	7月26日 11月12日	2	122

中田老壮大学	笑いがテーマのパフォーマンスショー、ニュースポーツ体験、シルバー川柳、歴史講話、博物館見学、天文学講話、食育・健康講話など	5月17日～ 3月8日	10	647
「中田の魅力探訪」 残す・伝える・中田の 魅力	①冊子「中田の魅力探訪」完成記念講演会②まちあるき講座へ向けて事前学習会③中田地区未来づくりプロジェクトとの合同企画「まちあるき講座中田の魅力調査隊！」④出前講座	7月26日 9月6,16日 2月24日	4	140
●伝えよう！伝統の 仙台七夕	伝統の仙台七夕作りと、中田小学校放課後子ども教室スマイルクラブと中田中学校への出前事業による七夕飾りのパーツ製作。七夕リース作りと参加者交流会。	6月29日～ 8月5日	8	115
◎つながる・ひろがる 中田地区未来づくり プロジェクト～まだまだ あるよ！中田お宝調 査隊～	近隣の3市民センターと3連合町内会との連携で「全中田地区の一体的なまちづくり」を共通のテーマとし、制作した地元のお宝マップを活用したイベントの開催とそれに伴う企画・運営会議。また、定期的なまちづくり勉強会など。	4月26日～ 2月23日	15	249
なかだ篝火コンサ ート	中田神社を会場に、篝火と竹灯ろうに照らされた幻想的な雰囲気の中で行うバイオリンとピアノ演奏による野外コンサートの開催。	9月2日	1	520
中田まつり	地域住民が気軽に参加し、交流と親睦を図る場として開催。地域関係団体、利用サークルによるステージ発表や作品展示、模擬店、イベント、町内会対抗のレクリエーション大会など。	11月12日	1	3,800
中田市民センター 「気軽に話し合う会」	事業運営や地域課題への提案や要望などの意見交換、また次年度の近隣教育施設・地域団体との年間行事日程の調整および情報共有など。	12月2日 2月28日	2	17
★市民企画講座「見 て・聞いて歩いて考 える中田の防災」	①講話「地域と歴史から考える中田の防災」②マンションの防災訓練へ出前講座	10月17日 3月10日	2	38
講演会「伊達家墓所発 掘にみる三代～政 宗・綱宗・忠宗～の個 性	伊達政宗生誕450年に因み、墓所の発掘調査の視点から伊達家の歴史について写真や年表なども資料を用い、講話を行った。	2月24日	1	56
ジュニアリーダー「な かだかな」定例会	ジュニアリーダーが円滑に活動できるよう、活動準備や報告、学習会を行うため定期的に集まり開催。ジュニアとあそぼうなど企画運営のための話し合いや、スキルアップ研修、計画や報告など。	4月22日～ 3月31日	12	71
★市民企画会議 「防災を考える in 中 田」	①オリエンテーション・講話「誰でもできる循環備蓄と乾物利用」②講話「身近に考える防災・減災」と企画会議③企画会議と上野山小ディキャンプの打合せ④講話「東北大学災害科国際研究所の取り組みについて」など⑤上野山ディキャンプ防災の取り組み⑥ふりかえりと講座企画⑦講座企画シート作成⑧講座打合せ⑨まちあるき下見⑩⑪講座打合せ⑫出前講座	6月3日～ 3月10日	12	72
インリーダー研修会	子ども会でのリーダーとして活躍する世話人を対象に、子ども会活動の充実を図るため開催。子ども会について、その役割や知識を講話やワークショップ、実技を通して学んだ。	1月28日	1	45

西多賀市民センター

〔沿革〕

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和 50 年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和 53 年仙台市として 5 番目の福祉会館として開設された。昭和 58 年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育の充実のために公民館機能が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成 3 年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

[★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業]

〔特色ある事業〕

事業名	★手をつないで考えよう 減災・防災		
参加者	地域住民	延参加者	144 人
開催日	全 3 回 6 月 17 日(土)、9 月 7 日(木)、2 月 24 日(土)		
協力者・協力団体	女性防災リーダーネットワーク太白・西多賀地区連合町内会・西多賀地区社会福祉協議会・西多賀地区民生委員児童委員協議会		
ねらい	<p>西多賀地区連合町内会は、避難所開設準備等に積極的に着手し防災に関する意識が高く避難所運営マニュアルを利用した勉強会も実施している。しかし、学校区が重なった地域等があり、広域的な連携が難しいという課題がある。</p> <p>そこで、日頃から顔の見える関係で連携・協働できる地域防災ネットワークを作り、地域の防災団体の減災・防災活動の底上げ・充実を図ることを目的とする。</p>		
概要・成果	<p>講座では、西多賀地域を走る「利府―長町活断層」についてや熊本震災の被害状況を学んだ。また、地域の白地図を使って防災対策を検討する訓練「DIG」の体験や、活断層や地域の危険箇所・利用できる場所などを話し合い地図上に再現する訓練を行った。その際、地域の防災リーダーをファシリテーターとして活用し、活躍の場を提供できたことは、大きな成果である。</p> <p>講座終了後は、完成した各地域の防災マップをセンター内に掲示した。さらに、各町内会でも同じような体験ができるように、白地図やハザードマップの用意等、減災・防災に対する地域活動に支援を行っている。</p>		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
中学生職場体験	市民センターにおける体験学習を通して、中学生の仕事に対する心構えや職業観を育む機会を提供した。また、市民センターの地域での役割などを知り、地域の利用者とも交流を深めた。	8 月・11 月	2	7
ジュニアリーダーと遊ぼう！	ジュニアリーダー「にしたがつつまん」の指導のもと、小学生が集団の中で楽しみながらカルタやゲームを行った。	7 月 21 日 9 月 9, 30 日 12 月 26 日	4	236

子ども参画型社会創造支援事業「エフエムたいはくキッズ情報局 2017」	小学生が地域の公園やそこで活動する地域の方への取材を通して交流し、地域を紹介する番組を「エフエムたいはく」で放送した。	6月18日～ 12月16日	9	58
西多賀寿大学	高齢者が地域の中で安心安全に暮らせるような知識を身につけるための講座として、健康づくりや事故防止に関する学習、体験を行った。また、館外学習として宮城県庁舎・宮城県警本部の見学をした。	5月17日～ 2月21日	10	655
～地域で支える～ 「知ろう・学ぼう・認知症」	医療関係者、福祉施設関係者、家族の会の方からお話を聞き認知症に関する理解を深めると共に、認知症の方への対応の仕方を学び、支え合うやさしい街づくりを目指した。	11月 7, 14, 21日	3	31
西多賀今昔かるた大会	西多賀検定委員会が作成した「西多賀今昔かるた」を利用して地域を知るための講座を開催した。	7月21日 1月6日	2	129
●天沼公園から地域環境を知ろう	環境保全を目的に地域の小中学校、福祉施設と連携し清掃活動を行い、地域環境への関心を深め魅力を再発見した。	4月19日～ 12月7日	10	362
●みんなが過ごしやすい三神峯公園にしよう&西多賀を電車が走っていた	青少年と地域の方との交流の場として開催。環境美化や地域の歴史について知る機会と世代間交流を図り地域での連携を深めることができた。	11月18日	1	80
地域懇談会	地域内の情報交換及び課題等が話し合われた。高齢化や防災意識に対する関心の高まりを知ることができた。	6月15日 12月8日	2	44
ジュニアリーダー「にしたがっつまん」の定例会	西多賀市民センターを拠点として、ボランティア活動を行っているジュニアリーダー「にしたがっつまん」が地域のリーダーとして活動できるように支援し、要請の調整やゲーム・工作の研修を行った。	4月9日～ 3月18日	12	75
市民企画会議 「中学生が考える地域交流会」	中学生が主体的に「地域交流」に関わることができる講座を企画し「みんなが過ごしやすい三神峯公園にしよう&西多賀を電車が走っていた」を企画した。	8月22日～ 11月18日	6	26
インリーダー研修会	社会教育主事による講話から、子ども会行事に役立つプログラムの立て方や子ども会活動の大切さを学び、ジュニアリーダーにから子ども会活動に役立つレクリエーションゲーム等を学んだ。	1月28日	1	83

八本松市民センター

〔沿革〕

八本松市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和 60 年 5 月に、コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。さらに平成 20 年 4 月には、八本松児童館が新たに併設された。平成 26 年度に大規模修繕を実施し、平成 27 年 4 月に再開した。

近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、史跡として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ、近代的な街並みを呈した地域である。

建物は八本松公園と隣接しており、町内会の集会や文化活動、レクリエーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	★八本松防災リーダー養成講座		
参加者	地域住民	延参加者	83 人
開催日	全 4 回 7 月 8 日（土）、8 月 12 日（土）、9 月 16 日（土）、10 月 14 日（土）		
協力者・協力団体	八本松連合町内会、太白消防署、仙台市障害企画課		
ねらい	東日本大震災後「八本松地域防災サミット」（平成 27 年度より「八本松地域合同防災会議」と名称を変更）を立ち上げ、会議や合同防災訓練等を、6 年間継続してきたが、避難所のリーダー的役割を担う人材の高齢化への懸念をふまえ、次世代層のリーダー養成を図る。		
概要・成果	大規模災害時に設置される避難所運営について「SSG 仙台発そなえゲーム」を通して学ぶことができた。また、太白消防署長町出張所署員の方々から機材を使っでの救助救出方法等を受講した。講座の参加者は災害時の実際の対応力を養うことができ、10 月に八本松市民センターと八本松小学校で開催された防災訓練でも活躍した。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
キッズの元気時間	地域の自然や施設などを活用して、小学生が交流しながら体験や学習をする機会を作り、他校生や異年齢の児童とのふれあいを通じ、コミュニケーション能力を育み、子供たちが地域への理解を深め、地域を大切に思う心を育む機会となった。	7 月 8 日 10 月 11 日 11 月 25 日 12 月 10 日	4	84
ディスカバー AKH	中学生が自分の住む地域の「ひと・まち・もの」にあらためて目を向け、後世に残したいものや発信したいものなど新たな魅力を発見し、作品として形にした。具体的には、特大キャンバス生地に大絵画を制作。うぶすなフェスティバルで作品を展示した。	5 月 27 日 7 月 2, 26 日 10 月 29 日 11 月 3, 26 日	6	73
中学生職場体験学習	職場体験を通して仕事をするときの心構えや責任をもって仕事を行うことの大切さ等、中学生の勤労観や職業観を育む機会となった。また、中学生に市民センターの仕事の目的や内容を理解し体験してもらう機会となった。	8 月 22～25 日	4	4
大人が愉しむまち散歩	八本松地域の地域資源ともいえる JR、バス、地下鉄南北線等の交通の利便性を活かし、まちの魅力を再発見する多様な機会を提供する講座を開催した。具体的には、仙台市の施設や球場見学、古地図によるまち歩きを楽しむ、見聞を広げることができた。	5 月 26 日 7 月 19 日 9 月 22 日	3	45

●食彩テーブル みんなのごはん	「食」をテーマに栄養・健康面の座学、テーブルコーディネートの実践や電子レンジを利用した調理実習を行った。参加者の年代も幅広く、参加者同士のコミュニケーションも図られ、異世代交流の機会となった。	9月1, 15, 29日	3	31
めざそう！生涯現役 ～健康寿命を延ばすために～	地域住民が心身ともに豊かに生きていくために、「健康寿命」について学習する機会とし、日常で簡単にできる運動の指導で、いきいきと健康に暮らすための基礎作りとなる講座を開催。	6月3, 9, 16, 30日	4	46
八本松寿大学	高齢者が充実した生活を送れるよう支援し、現代的課題・健康・暮らしなどのテーマを学習した。現代的課題を踏まえたテーマについての講話や「日舞エクササイズ」「中学生と手話で交流」などを開催。	5月25日～ 2月22日	10	490
八本松 ほっこり出前サロン	復興公営住宅での町内会設立を受け、住民が気軽に参加し親睦を深める場を提供し、コミュニティづくりと支え合いの輪を広げるきっかけとなった。入居者の利便性から出前講座として開催し、地域に密着した事業を展開した。	9月8日 10月4, 13日 12月1, 6日	5	35
●八本松地域合同防災会議	防災訓練を実施し、風水害への対応もふくめ、避難所運営や地域諸団体の防災のための対応力向上に寄与した。	6月21日～ 11月22日	7	1,303
社会学級共催事業企画会	八本松小学校社会学級と情報共有をし、地域課題の解決、家庭教育力の向上を図りながら、住民が学習体験を得るため企画会を行った。	6月13, 23日 7月12日 9月16, 22日 11月15日	6	12
「まち物語」八本松・ 郡山の歴史と将来	八本松郡山まち物語製作委員会の活動が2年目となり、活動の成果発表や地域の成り立ち、歴史を学び新旧の住民が地域への愛着を育みより良い地域の将来の街づくりのための行動のきっかけづくりとした。	5月～2月	4	123
八本松スマイルコンサート	八本松地区の地域事情は大きく変容しているが、気軽に参加できるコンサートを開催することにより、新旧住民が共に集い、交流を深める場を設け、地域活性化を図った。	7月1日 8月26日 12月2日	3	264
郡山・八本松地区市民 まつり 第21回うぶすなフェ スティバル	地域住民の交流の場とし、市民センターが生涯学習の拠点であることを周知し、参加団体が地域活動に親しみ地域活性化に寄与する機会となった。サークルや地域の小中学生などの作品展示及び舞台発表、地域諸団体による縁日コーナー、おはなし広場等を開催。	11月3日	1	2,300
八本松市民センター 懇話会	センター事業に反映させるため、地域住民と情報交換を行い、地域ニュースや課題を共有した。	2月15, 16日	2	12
社会学級共催事業企画講座 自然のめぐみ「漢方」を知る～身近な食材で健康やかな毎日を～	身近な食材から、漢方効果が得られる取り入れ方法や漢方の正しい知識についてワークショップ形式で学んだ。漢方を通じて健康や生活についての情報交換を行い、参加者同士の交流を深めた。また、中国人講師から中国の文化を学んだ。	11月15日	1	22
市民企画講座 地元の魅力再発見～見る・知る・気づく・まちめぐり	当地域の歴史や変貌を知ってもらうため、企画員が作成した地図を基に地元商店街を講師の説明を聞きながら歩いた。また、仙台空港施設見学では震災当時の様子等を学んだ。	11月 7, 21, 28日	3	36
市民企画会議 「地元再発見」	住民が地元を見つめなおす講座を企画するため、企画会を行った。企画講座を通して地元に興味を持ち、新たな再発見につながる学びを提供するため会議を重ね、まち歩き等の講座の企画運営を行った。	6月～12月	14	27
仙台市子ども会 インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るために、子ども会のリーダーとなる児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識や活動に必要な技術習得のため、座学やゲーム体験などの学習機会を提供した。	2月11日	1	65

八木山市民センター

〔沿革〕

八木山市民センターは、仙台市南西部に位置し昭和 30 年代後半～40 年代中頃にかけて整備・開発された、豊かな自然が残る調和の取れた住宅地である八木山地区に、昭和 62 年 4 月 6 日開館した。平成 20 年 11 月には新しい体育館を増設、平成 25 年度から 26 年度にかけては大規模修繕を実施し、平成 27 年 4 月に再開した。

当市民センター周辺は、八木山動物公園や八木山ベニーランドなどのレクリエーション施設をはじめ、大学、野草園、放送局、総合病院など学術・文化・医療の施設等が揃い、地域住民ばかりでなく広く仙台市民に親しまれている地域である。また、センター隣接地が平成 27 年 12 月に開業した地下鉄東西線の西の起点駅（八木山動物公園駅）となったことから、地域の生活環境も大きく変貌しつつある。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	第12回秋の八木山フェスタ～こどもにやさしい八木山～		
参加者	どなたでも	延参加者	23,997 人
開催日	全 1 回 11 月 3 日(金)		
協力者・協力団体	八木山動物公園、仙台市公園緑地協会、八木山ベニーランド、東北工業大学、TBC 東北放送、八木山 3 歩、八木山連合町内会、八木山南連合町内会、八木山管内小中学校 P T A		
ねらい	「八木山地区への地域貢献に関する覚書」を結んでいる八木山ベニーランド・八木山動物公園・東北工業大学・八木山市民センターを中心に民営施設、公共施設、教育施設、地域団体等が連携して、八木山地域のひとづくり、まちづくりを推進するとともに、地域活動団体、サークル、個人に発表の場を、地域の小中学生に地域との交流の場を提供する。		
概要・成果	<p>平成 27 年度から地下鉄「八木山動物公園駅」周辺で集中してイベントを実施していきこうということで行っている。八木山ベニーランド・八木山動物公園・八木山市民センターを会場に、主催 4 団体に平成 28 年度から東北放送も加わり、それぞれ工夫を凝らしたイベントを実施した。</p> <p>開会式は、地下鉄駅屋上の「八木山てっぺんひろば」で行った。ポスターコンクールの作品は各町内での掲示に先駆けて、全応募作品を市民センターに展示したほか、各団体が協賛品を持ち寄って参加賞を用意し、応募者に配布した。</p> <p>このイベントも 12 回目を迎え地域に定着したイベントとなっている。当日の来場者だけでなくイベント前から地域全体で盛り上げる動きが高まったほか、主催団体も広がり、連携も年々密になって、フェスタ以外の日常の活動にも成果が出ている。</p>		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育てママのわくわくワークショップ	子育て中の母親が「母親」以外の「わたし」としての時間を持つことでリフレッシュし、母親同士の情報交換や交流の場とすることを目的に軽体操、アロマ講座、子育ての悩み相談会を行った。	6 月 22 日 9 月 28 日 11 月 30 日	3	20
中学生職場体験学習	市民センターと接遇についての講話、施設見学、市民センターだよりと市民センターまつりプログラムの印刷、配布準備、「ぼうさい意見交換会」の準備と参加、「ぼうさいダック」出前講座など。	8 月 22～24 日	2	24
子どものための囲碁教室	八木山囲碁同好会有志を講師として、年代の離れた講師から、学校以外の社会教育の場として、また遊びの一つとして囲碁を教わり、ルールのみならず、挨拶などの礼儀やマナーも学んだ。	4 月 15 日～ 3 月 17 日	38	865

★広げよう！「八木山防災の輪」～「ぼうさいダック」「ぼうさいダンス」で地域をつなごう～	八木山中学校1年生全員が「ぼうさいダック」「ぼうさいダンス」を防災授業で学び、八木山あおば保育園への出前講座を行ったり、「せんだい防災の広場」や「八木山フェスタ」などへ参加した。	6月20日 8月24,27日 10月28日 11月3,26日	6	284
在仙外国人向け日本語講座「日本語ティールーム」	日本語が母国語ではない外国人を対象に日本での生活に必要な日常会話等を講師ボランティアが指導し、またボランティアによる託児も行った。市民センターまつりではバザーを出店し地域住民との交流も図られた。	4月12日～ 3月16日	70	935
●介護保険おさらい講座	太白区障害高齢課、八木山地域包括支援センターを講師に介護保険制度や保険制度で受けられるサービス、地域の介護施設について学習した。	10月24日～ 11月7日	3	67
やぎやまシニア大学	地質学、笑い、天文、軽運動、漢方薬、日本酒等のテーマについて学習し、東北大学農学部館外学習や運営委員会による自主企画講座も開催した。	5月11日～ 2月8日	9	710
★地域防災シンポジウム in 八木山	小中学生から地域の高齢者まで様々な年代の110人が参加、10のグループに分かれ、災害時の炊飯実験を行いながら防災教育や震災体験を子どもと大人が伝えあった。	12月9日	1	110
地域の絆プロジェクト「ブロック塀に絵を描こう」	太白区地域連携ネットワーク事業として小学校3校、中学校2校との共催、東北工業大学の協力で開催。夏休みを利用し下絵描きとオリエンテーション、ブロック塀への描画を行った。	8月2,10日	2	65
◎八木山今昔物語～じっくり八木山を学ぼう～	八木山地区まちづくり研究会や青葉山・八木山フットパスの会等各種団体・大学と連携し、ハイキングコースへのサイン設置、昨年作成した地図の更新を行った。	4月15日～ 3月17日	11	317
第29回八木山市民センターまつり	八木山市民センターや地域で活動している諸団体・学校・サークルのステージ発表、作品展示、体験会などと共に、仙台八木山防災連絡会による認知症予防、転倒防止に関する講話や寸劇を行った。	10月7,8日	2	3,882
第12回秋の八木山フェスタ～こどもにやさしい八木山～	八木山ベニーランド、八木山動物公園、東北工業大学、八木山市民センターの4者を中心に、東北放送、八木山3歩とも協働し、八木山動物公園駅を中心としたイベントを実施した。	11月3日	1	23,997
八木山気軽に懇話会	6月に地域利用団体や各単位町内会の意見・要望を聞き、11月に学校や連合町内会等と次年度事業について意見交換をするという形で開催した。	6月28,30日 11月29日	3	45
緑のカーテン入門	仙台市環境局の「3E推進地区支援事業」を活用して、杜のひろば八木山の通所児童生徒や地域住民と、緑のカーテンの学習、設営、植え付け、収穫と調理実習を行った。	6月7日 7月28日 8月30日	3	47
おんがくであそぼう♪コンサート	八木山南小すくーるたすけっと、八木山小・中の学校支援地域本部との共催による企画でジャズピアニスト大高順子氏と八木山小スクールバンド「夢色音楽隊」のジョイントコンサートを開催。	11月21日	1	100
市民企画会議「女性のためのチアフル講座」企画会	「子どものための囲碁教室」に同行して来ている保護者（母親）に企画員となってもらい、市民企画講座の企画と運営を行った。	5月20日 6月24日 9月16日 2月24日	4	20
市民企画講座「オトナ女子の倶楽部活動」	アラフォー世代の市民企画員による企画で30～50代の女性を対象に、コーヒー講座、お片付け講座、ピラティス体験講座を開催した。	10月21日 11月18日 1月27日	3	45
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童には「インリーダーの役割と心構え」、保護者には「子ども会活動と世話人の役割」の講義を行い、また全体でゲームとレクリエーションの実技を行った。	2月18日	1	86

山田市民センター

〔沿革〕

山田市民センターは、昭和 62 年 4 月 17 日、旧笹谷街道沿いに戦後住宅街として開発され発展してきた山田地区に、コミュニティ防災センターを併設して開館した。平成 29 年度には大規模修繕を実施し、平成 30 年 4 月に再開した。

当市民センターは縄文遺跡や鹿除土手などの歴史遺産や昔ながらの自然を残す恵まれた環境の中にあり、太白消防署、鉤取郵便局、鉤取球場、縄文の森広場などの公所・施設や小中学校、大学などの教育機関も多く立地している。また、国道 286 号線沿いには大型商業施設が立ち並び、高い集客力を有している。

こうした環境の中、当市民センターは地域の生涯学習や地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	◎「 楽元の森再生プロジェクト～楽しく元気に生き生きと 」		
参加者	どなたでも	延参加者	706 人
開催日	全 6 回 5 月 7 日（日）～ 12 月 2 日（土）		
協力者・協力団体	山田鉤取地域町内会連合会、上野山小学校、仙台西高校、山田中学校、人来田中学校、太白小学校、人来田小学校、宮城教育大学アカペラサークル、上野山児童館、上小会、楽元の森自由開放運営委員会、太白区中央市民センター		
ねらい	山田鉤取地域の町内会は高齢化が進み、町内会を担う人材の不足が大きな問題となっている。その解決の為に、この事業を企画開催し地域住民同士の交流を促す。また、会場となる地域資源の楽元の森を整備し、後世に残していく取り組みを通して次代を担う人材の発掘・育成に繋げる。さらに他校や他地域にも広く開放し、活用してもらうことでコミュニティを活性化する。		
概要・成果	上野山小学校隣接の楽元の森を会場に、第 1 回はバーナーを使って焼板作成と火打石で火起こし、第 2 回は山田住宅町内会と傘下の子ども会とでバーベキューで交流会、第 3 回は、会場を変えて山田町内会と傘下の子ども会とで自転車教室を開催した。第 4 回はオリエンテーリングと木片クラフト作成、第 5 回は森の音楽会とツリークライミング体験、第 6 回は森に感謝の会を開催した。どの回も地域の方々の協力を頂き、また異年齢の交流ができたことにより、人材発掘にも繋がった。楽元の森を広く周知できたことは、今後の活用にも繋がる成果となった。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育て支援講座「みんなの部屋やまだ」	子育て中の親子や子育て支援者同士の情報交換と交流の場を提供。ジャズストレッチ体操、ヨガ・おはなし会、アルバムづくり、小物づくり等の講座を開催した。また、参加者の有志で、子育てマップ「やまだのさんぽ」を作成した。	5 月 17 日 6 月 21, 22 日 7 月 12 日 9 月 20 日 11 月 15 日	6	39
秋の音～将軍も愛でた伊達の虫の声	親子を対象に夜間に開催。虫の種類や生態、虫を楽しむ文化や歴史の話を講師から学んだ後、屋外に出て虫のなき声をきいた。	9 月 30 日	1	14

みんなで学ぼう！山田わんぱくクラブ	地域の児童館、縄文の森広場と共催し、共催先での出前講座として開催。科学あそび、縄文時代の生活体験、マジックショーの講座をそれぞれ実施した。	7月26日 9月2日 11月17日	3	77
山田豊齢大学	高齢者が、年齢に応じて必要な健康、医療などの学習や、受講者同志が楽しく交流できる講座を開催。後半の3回を動物園、博物館、宮城大学での館外学習として開催した。	5月11日～ 3月8日	6	400
●福祉フォーラム	高齢者の引きこもりや孤立化が社会問題となっているため、高齢者と周囲の方が共に集い、高齢者福祉について楽しく学べる機会を提供。医療講話、介護施設・サロン紹介、音楽会を開催した。	5月24日 7月1日 1月20日 2月22日	4	277
山田・鉤取まち巡り	地域の良さを再発見し、地域活動への参加を促すことを目的にして開催。「旧あずま街道と栗木の渡し跡を訪ねて」と題し、まち歩き講座を開催した。	10月4日	1	43
●山田鉤取地域総合防災訓練	小・中学校や地域諸団体が合同で避難訓練を計画し実施した。今回は中学校2校と小学校3校の同日・同時刻開催とし、各地域からの避難誘導の後、各学校で炊き出し、救命訓練などの機能訓練を行った。	4月20日 7月12日 9月20日 10月13,28日 11月21日	6	1,615
山田ひだまりコンサート	センターを拠点に活動している地域の方々が、気軽に参加・交流し、楽しめるコンサートを開催した。	7月15日	1	130
山田鉤取地域懇話会	1回目は学校、保育所、児童館など教育関係者を対象に開催。地域課題や情報の共有化を図り、連携事業について検討した。2回目はセンター利用サークルを対象として、センターへの要望を伺うとともにセンターへの理解を得た。	4月27日 12月6日	2	34
図書ボランティアワークショップ	センターの図書室で活動する図書ボランティアのスキルアップと新規ボランティアの開拓をかねて図書室での活動体験会や研修会を開催した。	4月14日 1月19日	2	14
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童および世話人を対象に、子ども会についての知識や活動に必要な技能について学習した。	2月4日	1	54
出前講座「サークル体験会」	センターの改修工事により、他所で活動するサークルの支援と新たに学習を始める方への機会提供のため、地域の集会所や他のセンターの会場を借用して、運動や文化活動などのサークル体験会を行った。	1月16,18,19,25,26日 2月2,6,9,23,27日	10	114

茂庭台市民センター

〔沿革〕

茂庭台地区は仙台市西部に位置し、市内中心部から約 20 分の距離にあり、古くからの梨野地区と住宅が多く建ち並ぶ茂庭台地区からなっており、豊かな自然環境に恵まれている。

茂庭台市民センターは、昭和 63 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設して開館し、平成元年 4 月から地域社会教育の拠点として公民館事業を開始した。平成 2 年には児童館が併設された。

近隣には市営住宅や多くの福祉施設があり、高齢者、子ども、福祉施設の方々や外国人居住者の利用も多く、当市民センターは地域コミュニティの交流の場となっている。また、コミュニティ活性化に向けて連合町内会による地域活動が積極的に進められている。地域ニーズ、課題解決を図るため「市民本位の生涯学習拠点」「市民が主役の交流拠点」「市民参画による地域づくりの拠点」として、より多くの利用者に気軽に足を運んでもらえる様な事業を実施するとともに、地域課題解決のもとに集まれるネットワーク拠点としての機能が持てるようなセンター運営を行っている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	茂庭台案内人養成講座 もにわだいを歩き隊－MAT－		
参加者	成人	延参加者	59 人
開催日	全 6 回 5 月 6 日（土）～12 月 3 日（日）		
ねらい	茂庭台地区は 30 年前に仙台市が造成した団地である。団地としての歴史は新しいが、隣接する生出地区とともに歴史的に古い側面を持つ。茂庭台の東には太白山を望むことができ、北は萱ヶ崎山の自然に囲まれた緑豊かな街である。茂庭台地域を自らの足で歩き自然や歴史や地理について総合的に把握し、自ら情報発信できる「茂庭台案内人」を養成することを目的とする。		
概要・成果	茂庭台地域を自らの足で歩き自然や歴史地理について総合的に把握し、自ら情報発信できる「茂庭台案内人」を養成し、5 年目となった。主催事業「もにわだいを楽しく歩こう」で案内人として事前学習や自主学習を行い、参加者に対して、茂庭台の歴史や植生など幅広い分野で魅力を伝えることができた。さらに、文化財課に講師を依頼し、歴史講座を公開講座にして開催することで、案内人を含めた地域住民が、茂庭台の遺跡について深く学ぶ貴重な機会となった。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育てサロン茂庭台おしゃべりタイム	乳幼児親子の育児情報の共有・相談の場の提供や、孤立しがちな子育て世代親子の居場所作り・仲間作りの支援を目的に、リメイクキャンドルづくりや、家庭健康課との連携で子どもの予防接種についての講話、軽体操でストレス解消などの子育て世代が興味をもつ内容で実施した。	6 月 22, 29 日 7 月 6 日	3	16
もに輪っ子体験クラブ	豊富な知識と経験を身に付けた地域人材を講師に活用し、子どもと大人が協力し活動することを通して世代間の交流を促進するとともに、地域の人との繋がりを大切にするを目的に地域の方の畑を借用し、枝豆栽培、収穫等を実施。	5 月 13 日 6 月 3 日 7 月 8 日 8 月 5 日 10 月 28 日	5	35
中学生職場体験	将来の職業を考える世代の中学 2 年生を職場体験実習生として受け入れ、就労体験を提供した。施設管理体験や生涯学習事業の体験としては、茂庭台児童館と連携して、小学校児童にバレエやドッジボールを教える講座を企画運営した。	8 月 22～24 日	1	9

ジュニアリーダーとあそぼう	今年度から茂庭台を拠点とするジュニアリーダーサークル「mon i - s」のジュニアが参加した。茂庭台地区市民文化祭で、来場者へバルーンアートを提供し好評を得た。	10月1日	1	30
地域をつなぐ課外授業	「懇談会」や「アンケート」の要望をもとに、高齢化の進む地域において、新たな出会いや、生きがいつくりのきっかけとなる講座を実施し、地域活性化につなげた。	7月26日～ 11月28日	6	64
備えよう！シニアライフのための学び塾	高齢化が進んでいる地域において、要介護になるリスクを下げるために今から出来ることを学び、高齢になっても地域の中で生き生きとした生活を送る事が出来るように包括支援センターと連携で開催した。	6月 7, 14, 21, 28 日	4	68
茂庭台大学	団地造成から30年以上が経つ茂庭台は、高齢者の多い地域である。地域行事の他、学びに対する意欲も旺盛で、生涯を通して学び続けたいと考える高齢者に対し学ぶ機会を提供することを目的に、歴史、軽体操、自然など様々な分野の講座を実施した。	5月～3月	10	374
茂庭台地区市民文化祭	茂庭台地区で芸術文化及び趣味活動などを行っているサークル等が日頃の成果を発表する場として開催した。地域の方々と一体になって開催することで、コミュニケーションを図り魅力ある地域づくりの一助とした。	10月1日	1	3,300
屋外コンサート 天空の街「風のしらべ」	市民センター前広場を活用し、コンサートを実施する予定（当日は悪天候のため体育館で実施）であった。古くからの住民や復興公営住宅の住民などが交流しやすい場として、気軽に楽しめるコンサートを開催した。	6月4日	1	100
もにわだいを楽しく歩こう2017	茂庭台在住ながら地域の魅力を知らない方や新居住者などに地域資源や魅力を案内した。地域の里山の自然観察会や街路樹や街並み探検、また歴史探訪など「茂庭台案内人もにわだいを歩き隊」の案内で地域を歩いた。	5月7日 6月11日 10月15日 11月5日	4	54
地域防災講座	地域住民対象に防災への備えについて意識の共有、高揚を図ることにより「減災」に取り組むことを目的とした。	11月18日	1	45
地域懇談会	学校関係者、町内会関係者、サークル関係者及び地域団体と地域課題の発掘、把握、解決に向け意見交換をした。	6月30日 1月13日 2月9日	3	48
市民企画会議「みんなの広場」プロジェクト	復興公営住宅入居者や地域の看護専門学校生を含む企画員が、茂庭台地域について学び、センター前広場を活用した講座を企画・実施した。	5月～2月	13	48
ジュニアリーダー育成支援	平成29年度から茂庭台を拠点とするジュニアリーダーサークル「mon i - s」が活動を始めた。毎月定例研修会を設けて活動準備、情報提供、学習会を行い、地域交流を促進し、地域に根差した活動の充実を図った。	通年	10	40
市民企画講座「天空の広場」盛り上げ隊	町内会主催夏祭りに向けた盆踊り練習、夕涼みコンサート、秋のお月見会、凧づくり・凧上げを行った。講師は全て地域人材で実施し、地域住民から継続実施を希望されるほど好評であり、地域活性化につながった。	7月15, 22日 9月3, 23日 2月10日	5	250
秋の天体観望会	茂庭台地区から天文台へ向かう交通手段が限られており、天文について学ぶ機会が少ないため、仙台市天文台と共催し、地域住民の天文についての興味関心を高めることを目的にベガ号での天体観望会を実施した。	9月22日	1	38
インリーダー研修会	生出・茂庭台地区で次年度に最上級学年となる小学5年生と子ども会世話人を対象とし、子ども会の運営方法や行事の進め方を学んだ。	1月21日	1	37
茂庭台サークル体験会	他地域からの移転者や住民から、サークルの問い合わせが多いため、市民センターを利用しているサークルと連携し、サークルの会員数拡大と市民センター利用者の拡大を目的にサークル体験会を実施した。	6月～8月	10	11

東中田市民センター

〔沿革〕

東中田市民センターは、平成元年4月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。

当市民センターが位置する東中田地区は、仙台市太白区の東南端・名取川下流域にあり、名取川と広瀬川の合流点にも近く、素晴らしい自然環境に恵まれ、古墳や寺社仏閣などの歴史的資産を有している。

農村であったこの地域に、近年は高層の市営住宅や高齢者福祉関連施設、ミニ開発による一戸建て住宅が次々に建設され、商業の発展も著しい。新旧住民が混在し、急速に発展している地域環境に対応した地域コミュニティの確立が望まれている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	ほっこり出前サロン in 袋原中学校		
参加者	中学生、地域住民他	延参加者	160人
開催日	全6回 5月25日(木)～3月23日(火)		
協力者・協力団体	太白区中央市民センター(太白区内地域連携ネットワーク)、ほっこりの会		
ねらい	日頃、中学生が地域の大人と接する機会は少ない傾向にある。平成27年度より「ほっこりサロン」の出前講座を袋原中学校で定期的実施し、ボランティアと中学生が顔見知りになる貴重な機会となっている。そこで、継続して実施することにより地域住民が中学生とふれあうことを通して、地域で中学生を見守る環境づくりにつなげる。		
概要・成果	平成27年度より、「ほっこりサロン」の出前講座として実施していたが、好評により中学生のリピーターも増えてきた。タッピングタッチと昔遊びをツールとして気軽におしゃべりを楽しむなど、地域の大人と中学生の交流の場となった。中学校でのサロンは4回、ボランティアアクティビティ(奉仕作業)は1回、プチ部活動体験は1回実施した。地域のボランティアと顔見知りになる等、顔が見える関係づくりにつながった。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
東中田わくわくタイム	サイエンスショー、夏休み編として勾玉づくりなどの体験、ニュースポーツ、将棋大会、天体観測を実施した。地域の子どもから大人までの世代間交流の機会となった。	6月20日～2月16日	9	319
大学生とふれあおう!	大学生と地域の小学生が、ギターなどの楽器体験を通して、異世代交流の機会を提供した。	11月18日	1	14
四郎丸小学校連携事業 「明日へ伝えようわたしたちの四郎丸」	四郎丸小学校3年生が、語り手ボランティア「かにっこ語りの会」から地域について学んだことに自分たちの学びを加えて台本を作り、学習発表会で発表した。	6月29日 7月3日	2	158
東中田いきいきタイム	市民センターで活動しているサークルや地域で活躍している方が講師となり、地域住民へ体験学習の機会を提供することにより、主体的な学習活動への参加意欲を高める一助となった。	7月6,7日 2月8日	3	29

東中田老壮大学	地域在住の高齢者対象に、健康講話や音楽鑑賞など、気軽に学習できる場を提供した。	5月17日～ 3月14日	11	720
みんなのコンサート	地域に居ながらにして気軽に音楽を聴く機会を設けるとともに、多くの地域住民の交流を図った。	5月25日～ 1月27日	4	231
名取川からのメッセージ	名取川について、地域に伝わる語りを聞き、自然史や歴史について学び、地域資源への理解を深めた。	7月23日 10月14日	2	75
●ほっこりサロン	市民センターを拠点に、サロンを開催し交流の場を提供することで孤立せず助け合える地域社会の基盤づくりとなった。	4月11日～ 3月20日	10	137
●東中田市民まつり	町内会や地域団体、地域のサークルと連携し、学習発表の場と地域住民の交流の場を提供し、地域活性化を図ることができた。	10月1日	1	4,000
東中田地域コミュニティ懇話会	地域の方にセンターの取り組みを知っていただき、地域課題についての意見交換や、コミュニティの活性化のための懇話会を実施した。	5月26日 11月30日	2	22
◎つながる・ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト「いいとこあっちゃ」知って活かそう町のお宝	平成28年度に制作したお宝マップを活用し、まち歩きや地域の歴史、史跡などを知る交流会を実施し、中田地区の一体的なまちづくりに向けた取り組みを実施した。	6月17日 10月21日	4	163
★「みんなで学ぼう地域の防災・減災」～サバ飯作りで防災力UP～	震災の記憶がほとんどない小学生と保護者を対象に、震災の体験談、防災紙芝居、サバ飯作りを実施し、防災意識の向上と防災力UPにつなげた。	3月4日	1	16
語り手ボランティア「かっこ語り」の会」養成講座	地域の歴史を学ぶとともに、小学校総合学習、中学校への紙しばい披露、児童館おはなし会など地域資源を語り伝える活動を通し、ボランティアの養成を行った。	4月13日～ 3月8日	26	120
★ほっこりサロンボランティア養成講座	ハンドマッサージ、タッピングタッチと傾聴を学び、地域の人たちが気軽に利用できるサロンを開催できるよう運営ボランティアを養成した。	4月11日～ 8月29日	6	68
「みんなで東中田もりあげ隊」市民企画会議	地域の防災意識を高めるために、地域住民の震災体験や防災について学習し、学習成果を活かして講座を企画・実施した。	1月13日～ 3月4日	7	20
インリーダー研修会	子ども会活動についての知識や活動に必要な技能について、児童と世話人講を対象に学ぶ機会を提供した。	2月11日	1	45

柳生市民センター

〔沿革〕

柳生市民センターは、平成9年4月に、市内52番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設して開設された。

当市民センターが位置する柳生地区は仙台市南端に位置し、住宅地・商業地として発展している。また自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。マンション等の建設に伴い、他地域からの転入者も多く、若年層の世帯が比較的多い地域である。

こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の多様化に対応した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	「認知症」をよく知ろう～知っておきたい病気のあれこれ～		
参加者	地域住民	延参加者	39人
開催日	全3回 6月2日(金)、6月16日(金)、6月30日(金)		
協力者・協力団体	西中田地域包括支援センター		
ねらい	「認知症」について最新情報や専門的なことを学び、地域で見守り支えていく意識も高め、安全安心な地域サポートにつなげる。		
概要・成果	①「地域における認知症サポート」朗読劇で認知症への理解を深め、薬剤師より薬の効能や管理について学んだ。②「音楽療法を基礎とした意欲の誘導」歌を用いた脳トレを体験した。③「がんばらない運動」間接的予防としてストレッチや体操を行い、体幹を整えた。参加者の1/3が、現在、自身または家族の認知症への悩みに直面していることが分かった。包括支援センターとの共催により、地域のサポート拠点の紹介や、幅広い講師ネットワークの活用が実現できた。健康にまつわる講座の需要は大きいため、より広義での地域住民の健康サポートなどを掲げた上で続けていく余地がある。		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
柳生子育てサロン	親子ピクスでオリエンテーションをして、地元の消防署見学・ワケルバスで行く環境施設見学など、受講生が一緒に行動していく中で、仲間作りをするきっかけとなるよう全8回連続講座でつながりを持たせた。また、初めての託児付き講座の受講生にとっては親子共々良い経験になった。	5月19日～ 12月22日	8	196
柳生キッズクラブ	柳生中学校科学部との共催事業で普段関わりの少ない中学生が講師となり、ペットボトルロケットを親子で作って飛ばした。柳生小学校との共催で天文台から「ベガ号」を呼び地域住民の方たちと「冬の星座観望会」を実施。家族で冬の天体ショーを楽しみ世代間交流が行われた。	8月4日～ 12月26日	5	238
野菜けんきゅう料理クラブ「やさいはミラクルだ！」	親子で旬の夏野菜をおいしく食べる調理法を学ぶ。野菜ソムリエを講師に、調理の仕方では美味しさが変わるという体験ができた。また異学年の子どもたちの交流の交流の場となった。	8月4日	1	25

柳生中学校開放講座	太白区の地域連携ネットワークで掲げられる、「学校・地域・市民センターのトライアングル連携」が図られた。	8月4日	1	30
子ども参画社会創造支援事業「エフエムたいはくキッズ情報局」	市民センターの講座の受講生にインタビューしたり、センターまつりの司会を体験し、それらを題材に「エフエムたいはく」で実際に番組の企画から収録放送までを体験した。	6月18日～ 12月26日	9	69
COOL 柳生体験広場	父親世代が親子で気軽に参加できるテーマを取り上げる。科学実験、KOBO パークツアー、セグウェイ体験、NHK 仙台放送局見学。男性の参加が若干増えた。	6月11日～ 12月16日	4	139
柳生シニアスクール	高齢者の生涯学習推進と親睦をより一層図るため、組ごとの活動を多くするなど、館外学習や公開講座音楽鑑賞などで各人の役割分担を決め、一人一人が講座運営に関わったお陰で受講生同士の仲間意識が強くなった。	5月24日～ 2月28日	10	610
柳生名人に学ぶ～柳生パン工房～	地域で活躍するパン職人から実際にパン作りの技術を学ぶことで新たな地域人材の発掘と参加者同士の交流の場となった。講座終了後受講生を中心とした「柳生パン工房」サークルが誕生した。	11月15日～ 12月20日	3	24
柳生地域防災講座～みんなで守ろう!! 地域の防災・減災～	東北福祉大学の先生と学生を講師に防災レンジャーショー、エコノミークラス症候群予防体操、AED 体験、防災カルタ大会を実施した。	11月5日	1	18
◎ つながる・ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト～いいね! 柳生西中田地域のお宝再発見～	中田3地区全体で「お宝」となりうる地域資源を取り上げたマップを作成し「活気あるまちづくり」をめざすことを目的として、春と秋の2回まち歩きを実施した。	4月19日～ 2月23日	20	367
季節のコンサート	音楽を通して人と人とのつながりを深め交流することを目的とし、音楽団体に発表の場を提供するとともに、住民が生演奏に触れ交流する場にもなった。	8月1日 10月24日 1月13日	3	334
柳生市民センター・児童館まつり	市民センター利用団体や小中学校・地域団体の学習成果の発表の場、及び地域住民の交流の場を提供した。	9月30日 10月1日	2	2,300
地域懇談会	地域の各団体の代表者に集まっていただき、地域課題や地域ニーズの収集・情報の共有化を図り、センター事業運営に生かしていくことができた。	7月7日 3月7日	2	38
市民企画会議「柳生おとなの学校」	公募に応じた10人の市民企画員が17回の会議を経て3つの講座を企画、運営した。	6月3日～ 3月9日	17	136
「柳生おとなの学校」	市民企画会議「柳生おとなの学校」で話し合い「一日かぎりのうたごえ喫茶」「柳生和紙に親しむ～柳生和紙の暦づくり」「ひなまつり 童謡唱歌をうたおう」の3講座を企画・運営した。	10月28日 1月20日 3月4日	3	165
インリーダー研修会	子ども会活動活性化のための児童と世話人向けの研修会を実施した。	1月21日	1	36

富沢市民センター

〔沿革〕

富沢市民センターは、平成13年11月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターの位置する富沢地区は、名取川・JR東北本線・国道286号線に囲まれた地域で、中央部を笹川が流れ、かつては富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来、交通の利便性から宅地化が急速に進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域に変貌した。当地区は、単身・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。

当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通し多くの地域住民が来館し、生涯学習の拠点として活用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	◎パワフルとみざわネットワーク		
参加者	各町内会、地域諸団体、地域住民	延参加者	1,119人
開催日	全9回 5月13日(土)～2月10日(土)		
協力者・協力団体	町内会(富沢南・南大野田・西大野田・富沢・富沢中央)、社会学級(西多賀・大野田・富沢)、TNO(富沢・長町地区おやじの会地域ネットワーク推進員会)		
ねらい	若い子育て世代と現在地域リーダーとして活動している町内会役員が、各々の特徴を生かし協力して地域コミュニティづくりのためのイベントを開催することを通して、これからの地域を担う人材である若い世代の力を地域へ還元する仕組みづくりを目指す。		
概要・成果	町内会、小中学校のおやじの会、社会学級と協働し、企画会議を経て、笹川を会場としたイベント「ざる川フェスティバル」を実施した。イベントでは、小中学校のステージ発表、芋煮・屋台、異世代交流ニュースポーツ等を行った。 町内会等の高齢者世代と、おやじの会や社会学級といった地域の若い世代が、一つの目標に向けて取り組むことで、交流を深め団体間の連携を築くことが出来た。また、若い世代の力を、地域での取り組みへ向けるきっかけになった。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おはなしの部屋	気軽に参加できる乳幼児親子の交流と仲間づくりの場として、絵本読み聞かせ、紙芝居、人形劇などを行った。	5月10日～ 3月14日	10	368
●つながる子育て「ホッとinとみざわ」	地域の子育て支援団体と情報交換する場を設け、連携してイベント(親子体操、身長体重測定、育児相談、カフェコーナー、育児グループと市民ボランティアによる遊びのコーナー、子育て支援団体の紹介等)を行った。	12月12日	1	190
とみざわ子どもの広場	今年度は「自然」をテーマに、小学生を対象とした体験学習と交流の場として、笹川観察会、身近な材料でのおもちゃ作り、調理実習、クリスマスリース作り、科学工作を実施した。	6月3日 8月3日 11月17日 12月9日 2月10日	5	195
中学生職場体験	富沢中生徒の受け入れを行った。講座の見学や手伝い、窓口業務体験、環境整備などの業務体験を通して、市民センターの役割や仕事内容を理解し、仕事に対する心構えや大切さを学ぶ機会とした。	11月14～17日	1	2

富沢小学校連携講座 「地域を知って富沢 博士になろう！」	富沢小学校3年生の総合的学習の授業として実施した。 富沢の暮らしや歴史について、地域講師などから講話と 実際に地域探検しながら学んだ。	8月28,31日	2	111
畑ライフ！富沢	地域の農家の方の指導を受けながら土に触れ、作物を育 てる体験を通して地域住民の交流を深めながら地域を 知ることを目的に、土づくり、畑整備、作付け、収穫祭、 茶話会を行った。	4月27日 6月2,22日 7月27日 10月25日	5	10
富沢ものづくり楽集	協働作業であるものづくり通じて、被災者と住民が交流 を深め、地域での仲間づくりを進めることを目的に、工 芸、リサイクル手芸、絵手紙、及びセンターまつりでの 作品発表を行った。	7月14,28日 8月4,18日 9月1,15日	6	58
市民企画講座「富沢ア クティブエイジング サロン」	地域住民の交流促進を目的に幅広い世代の地域住民が 気軽に参加できるサロン（歌声喫茶、施設見学、時事講 話、ニュースポーツ、調理実習）と、センターまつりでの 子どもの遊びコーナーを開催した。	6月24日～ 1月27日	7	336
すぐに役立つ防災知 恵袋	補助避難所としての市民センターの周知と、住民の防災 への意識を高めることを目的に、備蓄食材を使った調理 実習、救命救急・AED講習を行った。	12月8日 2月6日	2	19
富沢シニアクラブ	学習を通して地域の高齢者の生きがいづくり親・、交流 を図ることを目的に、講話（日本茶、年中行事、お菓 、生きがいづくり）、軽運動、ラジオ体操、館外学習、交 流会、ミニコンサートを行った。	5月18日～ 2月15日	10	526
健康いきいきサロン	シニア世代の健康維持と仲間作りを目的に、ヨガ・スト レッチ・ニュースポーツ、3B体操の実技、健康に関する 講話、調理実習を行った。	6月9日～ 12月22日	12	214
市民センターまつり	市民センター利用団体、町内会等の学習成果発表と地域 住民の交流を目的に、ステージ発表、展示発表、古本パ ザー等各種イベント・出店、主催事業「富沢アクティブ エイジングサロン」による子どもの遊びコーナー等を行 った。	10月1日	1	2,400
富沢市民センター懇 話会	地域のニーズや課題を把握し、市民センターの事業運営 に反映させることを目的に、地域住民との懇談会を開催 した。1回目は地域内の町内会長、2回目は29年度の主 催講座に協力をいただいたサークルを集め、情報交換を 行った。	7月15日 3月7日	2	17
市民企画会議「富沢ア クティブエイジング サロン」	地域のシニア世代の交流と、地域リーダーとなる人材の 発掘・育成とともに、企画員の自主活動を目的に、複数 年事業の5年目として実施した。住民の交流のためのサ ロンを企画・運営した。	4月～2月	11	96
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るため、リーダーとな る児童と世話人を対象に子ども会活動についての知識 や必要な技能を修得する機会を提供した。	2月18日	1	51

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

〔沿革〕

秋保市民センターは、昭和26年4月「秋保村公民館」が設置されたのが始まりで、昭和42年4月町制施行に伴い「秋保町公民館」、昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により「秋保公民館」、平成元年4月には「秋保市民センター」と改称された。平成25年5月には移転改築の上、現在の施設がオープンした。

馬場市民センターは、昭和52年3月、旧秋保町時代に開設され昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により「馬場公民館」、平成元年4月に「馬場市民センター」と改称された。平成29年度には大規模修繕を実施し、平成30年4月に再開した。

湯元市民センターは、昭和53年3月、旧秋保町時代に開設され、昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により「湯元公民館」、平成元年4月に「湯元市民センター」と改称され現在に至っている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	秋保自然紀行「森づくりと里山トレッキング」		
参加者	成人	延参加者	87人
開催日	全4回 5月24日(水)、6月7日(水)、10月17日(火)、11月8日(水)		
協力者・協力団体			
ねらい	秋保地域には気軽に登れて植物観察ができる里山がたくさんあり、市内からも多くの人々が訪れる。そこで、里山の基本的なトレッキングマナーや安全確保などを学び、荒廃しつつある秋保の里山をどのように守り維持してきたかを伝え、里山の魅力と森づくりの関心を高める。		
概要・成果	秋保地域にある4ヶ所の里山をトレッキングした。受講生は、里山の魅力を満喫しトレッキングマナーだけでなく、植生についても学ぶことができ里山への関心が大いに高まった。地域の歴史にまつわる講話を現地の里山で聴き、秋保の歴史にも興味が湧いたとの意見も多く聞かれ地域活性化にもつながった。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●あきう子育て広場	未就学児親子を対象に仲間作りと交流を目的に、親子で楽しむマッサージやリトミック、3B体操、親子工作や寄せ植え体験、食育講話、おしゃべり広場交流会などを実施した。	5月11日～ 2月1日	8	93
秋保ファミリー体験講座「あきう遊々クラブ」	二口遊歩道での自然観察(6月)、大行沢での水辺の生き物観察(7月)、ツリーイング体験(9月)を実施し、季節ごとに自然の中での体験活動を実施した。	6月3日 7月22日 9月9日	3	27
がんばれ秋保っ子スポーツ大会	秋保地域に住む子どもたちがスポーツを通して交流し、自主性・協調性を育むためにキックベースボール大会を実施した。	10月15日	1	38
馬場小サマースクール	馬場小学校児童の要望を聞き、コミュニケーション・マジック講座、ペーパークラフト講座を夏休み中に馬場小学校を会場に実施した。	8月23,24日	2	68

秋保自然工房「山の恵みクラブト」	1回目はアケビのつるを使った「かご編み」、2回目はブドウの樹皮を使った「ブローチ作り」を実施した。また、材料の採れる自然環境の現況についても学習した。	10月13日 10月27日	2	28
市民企画会議「子育てママのリフレッシュ講座」	普段リフレッシュすることが少ない子育て中の母親を中心に、親子でできるヘアアレンジやリース作り、ハーバリウム作りや押し花作りなどを行った。	9月20日 10月25日 11月15日 12月6日	4	33
冬の手づくりクラブ	農閑期である冬の期間に、地域住民を対象につまみ細工体験や編み物、和菓子作りやさくらの手まりを作った。	1月11,25日 2月8,22日	4	70
あきう熟年のひろば	高齢者がともに学び合い、心身ともに健康であることを目的に開催した。音楽療法や寄せ植え体験、マジック教室、臨床美術体験、軽体操、防災講座、館外学習、介護予防講座などを開催した。	5月～2月	10	236
秋保郷土かるた大会	「秋保郷土かるた」を使用したかるた大会を開催した。地域の子どもから大人まで多くの方が参加した。	1月13日	1	90
秋保地区出前講座	市民センターに出向くことができない地域に講座の出前を行った。今年度は、夫婦漫談や寄せ植え体験、臨床美術体験、落語寄席を開催した。	7月2,9日 8月3日 11月19日	4	90
地域防災力の向上及び防災・減災講座	地域町内会、中学校と連携し、補助避難所となる市民センターの調理室で炊き出し訓練を実施した。また、水道局職員を講師に招き、災害時の水について応急給水の対応など座学での講習を実施した。	6月25日 9月21日	2	57
秋保ふるさと文化祭	サークル・団体が組織する実行委員会を主に企画・運営した。地域の小中学校や児童館も参加し、舞台発表や作品展示、活動紹介も行った。フリーマーケットやお茶席、喫茶コーナーなどを設けた。	9月30日 10月1日	2	650
「秋保ふるさと文化祭」移動展示会	秋保ふるさと文化祭で実施した展示会をより多くの方に見てもらうことを目的に、観光客の来館が多い秋保・里センターを会場にして実施した。	10月13～15日	3	580
地域懇談会	管轄エリアが広範囲なことから、遠方地域での出前講座終了時に町内会役員をはじめ、一般の方々からも地域における諸問題や講座への要望など伺った。	7月2日 7月9日 8月3日	3	69
秋保地域のための市民企画会議	子育て中の母親が企画委員となり、自分たちがどのようなことを学びたいか検討をしながら、企画をし、講座の準備や運営をした。	7月12日～ 12月6日	6	22
●秋保地域資源活用委員会	毎月1回の定例会を開催し、秋保の地域資源を活かしたマップづくりを中心とした活動を行った。今年度はガイドやツアー企画にも積極的に取り組んだ。	4月～3月	10	175
●野尻地区再発見	野尻地区住民が自分たちの住んでいる所の自然・歴史などを深く知り、自ら情報発信や資源を活用できる人材を育成した。	4月～3月	7	231
インリーダー研修会	秋保地区内にある3つの小学校5・6年生とその保護者を対象に、子ども会活動についての講義と体験活動、ジュニアリーダーとのレクリエーションを実施した。	6月17日	1	6
サークル体験会	市民センターで活動しているサークルのメンバー増員と活性化を目的に体験会を開催した。ヨガ体験・雀踊り・女性コーラス・お茶の5つのサークルが参加した。	6月13,14 ,16日 7月2,28日	5	2

泉区中央市民センター

〔沿革〕

泉区中央市民センターは、昭和22年9月、七北田中学校内に七北田公民館として開設された。昭和43年7月に市名坂字東裏の現在地に移転。平成16年1月には、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館として開館した。今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。

本地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と急速に発展した泉中央地区を包含し、住民を取り巻く社会環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図っている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	七北田郷土食講座		
参加者	成人	延参加者	41人
開催日	全6回 7月29日(土)、9月9日(土)、10月7日(土)、10月22日(日)、11月11日(土)、12月9日(土)		
協力者・協力団体			
ねらい	平成25年12月に「和食」がユネスコ無形文化遺産に認定され、その土地の伝統的な料理や食材を含めた和食文化が見直されている中、食生活の欧米化と核家族化の進行に伴い、郷土料理や伝統料理を含めた食文化の伝承・継承が難しくなっている。このような状況を踏まえ、失われつつある地域の食文化である郷土食を掘り起し、郷土への愛着を育み、学んだ成果が次世代へ継承されるよう人材の育成を目指す。		
概要・成果	第1回:7月29日(土)「オリエンテーション・調理実習」 第2回:9月9日(土)「持ち寄りレシピから試食披露案決定・調理実習」 第3回:10月7日(土)「試作の検討・調理実習」 第4回:10月22日(日)「センターまつりでの試食発表(2種各50食)・レシピ配布」 第5回:11月11日(土)「すいとん汁が食べられてきた背景を学ぶ・調理実習」 第6回:12月9日(土)「今後の活動に向けた話し合い・地域のお菓子づくり(がんづき)」 地元講師から「地産地消」をテーマに食材の活用を学び、センターまつりで試食発表とオリジナルレシピの披露をしたことにより、地域の人々が新たな調理の仕方や食材の活用を知ることができた。また、受講生自身が試作品づくりの過程で食材の活用についての知識を深めることが出来た。講座終了後は、市民センターの支援を経て「いずみ食文化友の会」として月1回の自主活動に取り組んでいる。メンバー間のスキルを活かし食に関する知識を深めながら継続しており、講座の講師を務めるなど地域活動への取り組みを始めている。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●パパ&ママふあん ふあんフェスタ2017	子育て世代に向けて、地域の子育て支援団体と連携し、気軽に参加できるイベントを開催した。「親子ヨガ、オリジナル缶バッジを作ろう、カエルのピンボール等」様々な体験・交流会を実施した。	10月4日	1	96
いずちゅうるんるん 子育て	子育て中の保護者が気軽に参加できる「初めてのインドヨガ」(託児付)「ピンポンパン☆とあそぼう」「ベビーマッサージ(親子参加)等」を実施。和やかに子育て中の親子が交流した。	7月5日 9月6日 11月10日	3	61

泉区中央市民センター職場体験	施設管理・接遇研修・サークル体験・託児講座支援・講座企画運営等市民センター業務を体験した。	11月7～10日	1	6
集まれ!元気な泉中央キッズ	学校の休業日等において様々な体験学習の場の提供と学校学年を越えた交流ができるように調理実習・卓球・施設見学を開催した。	7月22日 8月1,24日 11月18日 12月2日	5	70
歴史講座「仙台軌道の跡を訪ねる」	「仙台軌道」の歴史や交通史などの講話、痕跡を訪ねる現地講座、資料の展示などを通して七北田地域への理解を深めた。	7月1日 9月30日 12月16日 2月10日	4	162
泉シニア塾	高齢者が学習を通して仲間づくりや交流を広め、健康で生きがいのある生活を送るため、歴史・社会情勢・防犯・軽運動などを学んだ。また、館外学習として「仙台市科学館・宮城県議会議事堂」を見学。	5月10日～ 2月14日	9	729
●心も身体もリフレッシュ	高齢者の健康的な身体作りを目的に、ストレッチ体操・ニュースポーツ・理学療法観点からの体操・ボイストレーニング・レクリエーションダンス・健康マージャン・眼の健康講話等を実施し、健康に関して自己管理意識を高めた。	6月21日～ 1月20日	8	277
わくわく交流サロン	地域住民が気軽に穏やかなつながりを持てる場を創出することを目的に、ハワイアンバンドコンサート(出前)・スクラップブック作り・革工芸・味噌試食会・「童謡歌おう」を実施した。また社会学級連携「ゴスペル&スイーツ交流会」を企画開催した。	6月28日 7月21日 9月2,15日 10月28日 2月3日	6	178
★泉中央減災講座	大雨による水害や土砂災害への備え・警戒等について、情報の取得方法や前兆現象の見方など「自分の身は自分で守る」術を学んだ。また、「熊本地震」の際、応援に赴いた市職員より当時の被害状況や活動状況等について貴重な話を聞いた。	8月29日 9月8日	2	7
いずちゅう ロビーコンサート	地域住民が気軽に参加できる場として9回開催した。ピアノ弾き語りや、ピアノとヴォーカル、バンド演奏、弦楽とピアノのアンサンブル、室内管弦楽、フルートアンサンブル等を実施。	7月20日～ 3月14日	9	220
まつりだよ!泉区中央!	市民センターを活動拠点にしている団体や地域の小中学校、高校の児童・生徒の作品展示やステージ発表。主催講座の紹介。お茶席や授産施設の販売を実施した。	10月22日	1	684
泉区中央市民センター 地域懇話会	今年度の市民センター事業・運営等に関する意見要望及び地域情報の共有。次年度事業策定に向けての意見交換会等の実施。	11月2,14日	2	32
七北田ありす育成支援	ジュニアリーダーの活動支援とスキルアップを図るため定例研修会(月1回)実施。要請の連絡、ゲームパルーンの研修、お楽しみ会の開催。また、泉区全体の定例会「ざわざわ森」参加など。	4月2日～ 3月25日	12	111
市民企画会議	「女性が気軽に参加できる講座」「女性がキラキラ輝く講座」等をテーマに企画会議を実施。今回、初めての試みとして「小物づくり」をしながら気軽に意見交換できる場を創出した。	6月30日 7月7日 1月19日	3	9
市民企画講座「オトナ女子のおしゃれ塾」	市民企画会議で提案された、「女性が気軽に参加できる・キラキラ輝ける」催事として「オトナ女子のおしゃれ塾」を開催実施した。染色・革細工・色彩等の学習。また、手づくりリースを作成・持参して近隣の福祉施設を訪問した。	10月27日 11月17,30日 12月1,15日 1月19日	6	47

根白石市民センター

〔沿革〕

根白石市民センターは、昭和21年11月、根白石小学校内に設置され、昭和23年役場の移転に伴い独立した施設としての活動が始まった。旧泉市で昭和28年に公民館新築促進が決議されてから10年の経過を経て、昭和38年7月、待望の公民館が移転新築された。以来20年余、根白石唯一の社会教育施設として活動を続けてきたが、老朽化により昭和63年4月、根白石字杉下前に新築移転し開館した。館の特色として、299席の移動式観覧席を備えた多目的ホールを有している。

当市民センターは泉区西部に位置し泉ヶ岳を背景にした豊かな自然環境に恵まれている。周辺は田園地帯と近年の開発による住宅地からなり、多様な住民構成の生涯学習の場として、また、スポーツ、コミュニティ、自主学習の場として広く利用されている。

平成28年度に大規模修繕工事を行い、建物の耐久性の向上とともに内外装の一新、各部屋の照明LED化や空調機の更新による省エネ化、トイレの洋式化や外靴のままに入館できるようになった等、利便性が向上した。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	かむりの里いきいきプロジェクト		
参加者	地域団体、地域住民	延参加者	295人
開催日	全8回 6月7日(水)～1月25日(木)		
協力者・協力団体	泉西部地区連合町内会、ふるさと創生会、根白石商店会、仙台風の会、昔遊びボランティア、根白石小学校、福岡小学校、実沢小学校、根白石中学校、根白石児童館、館児童センター、住吉台児童センター、根白石温水プール、泉西部地区老連、地域内各小学校区子ども会育成会、各小学校PTA		
ねらい	「地域資源の蓄積力」「地域への関心力」を高めていく取り組みとして、若い世代を取り込んで豊かな歴史資源・自然資源・コミュニティ資源を活かした、人々が共に生きる活気のある「まち」づくりを目指す。地域の良さを再認識し、その良さを発信人材の養成を目的とする。		
概要・成果	いきいきプロジェクト実行委員会を4回、今年度新たな取組として小・中学校や児童館等で出前の凧づくり教室を7回開催し、凧揚げフェスタ当日を迎えた。地域の子もたちと大人たちが凧作りや凧揚げの楽しさを体験できる場であるとともに、人々の交流の場ともなっている。 また、実行委員会組織の充実が図られ、協賛金を募り活動資金を得るなど、地域住民が自主的に運営できる組織づくりにも取り組んだ。凧揚げフェスタのほかに、「わら馬づくり」「坐禅体験会」を実施した。		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
根白石の正月行事～いっしょに作ろう～	正月飾りの技術を応用した「藁のXmasリース」と根白石の小正月行事「だんごさし」	12月10日 1月13日	2	35
あつまれ！元気キッズ	①キラキラ水万華鏡作り（実沢小学校） ②キラキラ水万華鏡作り（福岡小学校） ③プラバンキーホルダー作り（福岡小学校） ④立体ぶんぶんごま作り（実沢小学校）	6月14, 28日 10月25日 11月18日	4	93
インリーダー研修会	①実習「ドッジビー大会のプログラムを作って実際にやってみよう」（児童対象）②講話「子ども会と地域と親の関わり」（世話人対象）③座談会（世話人対象）④演習「ゲームレクリエーションの進め方」（児童および世話人対象）	7月22日	1	42

ジュニアリーダーと遊ぼう！	市民センターまつりの体験コーナーの一つとしてバルーンアート体験を実施した。ジュニアリーダーと子どもたちの異年齢交流の場となった。	11月12日	1	11
凧作り教室	①住吉台児童センター凧作り②根白石大凧作り 1③実小っこまつり凧作り④根白石小学校凧作り⑤根白石大凧作り 2⑥福岡小学校凧作り⑦館児童センター凧作り	9月16日 11月4, 18, 22, 29日	7	108
さわやか大学	開講式・講話「出会いから学ぶ」、「みやぎの地名」、「エンディングノートの活用法」、陶芸作品制作、演芸観賞、音楽鑑賞と体験、健康に関する講話と実技を実施	6月15日～ 2月15日	8	343
出前講座	各地域の老人憩いの家や公会堂を会場とし、高齢者の健康維持等に役立つ講話や音楽、軽体操、笑いを通して、生きる楽しみを見い出すきっかけや参加者同士の親睦がより深まるような講座を企画実施する	8月30日 9月12, 29日 11月17, 22, 25日	7	167
天体観測会 ベガ号で星空を観よう	①移動天文車「ベガ」（通称：ベガ号）の望遠鏡による月の観望②天文台のボランティアの望遠鏡による月の観望③冬の星座や月についての講話	1月26日	1	46
●ふれあいウォーキング～共助のまち・根白石～	健康増進や災害時の徒歩避難訓練を想定したウォーキングを開催する。今年度は泉区の総合訓練の開催地となったため、実施日を変更し、6月25日に防災訓練を中心とし、水害なども想定した訓練を実施	6月25日	1	161
市民企画講座「根白石民俗ミニ七夕 わら馬を作ろう」	根白石に伝わる伝統的な民俗ミニ七夕の飾り付け「わら細工」のわら馬づくりとミニ七夕飾りづくり	7月26日 8月2日	2	24
小学校社会学級連携事業企画会議	各社会学級の課題・大まかな開催内容について・募集・広報・講師（依頼・打ち合わせ）について・受講者決定・役割分担・配布資料について・「健康な毎日を送るために」～操体法体験～・反省会（次年度のおおまかな企画を含む）	5月9日 6月9日 9月17, 27日 11月30日	5	9
小学校社会学級共催「健康な毎日を送るために」～操体法体験～	痛いことを頑張る・我慢するのは体を壊す（講話）・体の歪み（前後左右差）の確認（実技）・体を壊さないための体の使い方（講話）・体を壊さないための体の整え方（実技）	9月27日	1	21
根白石市民センターまつり	市民センター利用団体の展示、舞台発表。地域の小学校や住民の作品展示。地元産野菜や授産施設による販売。仙台オープン病院による骨密度測定コーナー	11月12日	1	600
かむりの里コンサート	リニューアルオープンコンサート、フルートとピアノデュオ、かむりの里コンサート	6月4日 9月9日 3月3日	3	339
冠のふるさと伝承まつり	各地区に伝わる郷土芸能の発表 ・根白石小学校「アセ踊り」・実沢小学校「大正踊り」 ・福岡小学校「鹿踊・剣舞」・根白石中学校「しの笛・鹿踊り」	10月14日	1	350
地域懇談会	地域町内会や団体、利用サークルとの意見交換。市民センターの事業説明。	7月27日 11月30日	2	47
ジュニアリーダー定例会	月に1度、住吉台児童センター・館児童センターで情報交換や連絡事項の確認	4月4日～ 3月24日	20	57
根白石ガイドボランティア養成講座～もっと知りたい！学びたい！～	根白石の史跡・文化を案内する事の出来るボランティアを育成 根白石の歴史概要・実践ガイド①～③・ふりかえりと今後の活動についての話し合い	11月15, 29日 12月6, 20日 1月17日	5	35
市民企画会議「みつけた！根白石のいいもの」	根白石に受け継がれてきた風習や食文化、伝統行事等にスポットを当てての企画会議	6月22日 7月12, 26日 8月2日 1月24日	5	19

南光台市民センター

〔沿革〕

南光台市民センターは、昭和52年4月、「南光台公民館」として開館し、昭和62年8月に泉図書館南光台分室が併設された。その後、平成2年4月に「南光台市民センター」と改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。

平成23年3月の東日本大震災により建物が全壊したが、元の場所に鉄筋コンクリート造2階建管理棟及び多目的ホールが新築され、平成27年3月28日に再開館した。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕
〔特色ある事業〕

事業名	●南光台スマイルひろば		
参加者	地域の未就学児とその保護者	延参加者	227人
開催日	全16回 6月16日(水)～2月23日(金)		
協力者・協力団体	昔あそびわらすこの里、折り紙ボランティア南光台、よみきかせボランティアどんぐり南光台児童館、南光台東児童センター、泉区家庭健康課		
ねらい	本事業は、複数年事業である。子育て世代とボランティア団体の世代間交流の場と情報の共有の場となり、本事業が地域に根付くことを目指している。また、市民センターの親子室利用を活性化させる目的もある。親子の居場所として親子室利用を促し、市民センター事業の理解を深められる効果を期待する。		
概要・成果	昨年度に引き続き登録制にしたので、参加者同士の交流、またはボランティア団体の交流が深められる様子が見られた。親子室利用の親子にも声をかけたり、参加者が友人を連れてきたりすることで、新たな参加者も増やすことができた。また、「よみきかせボランティアどんぐり」は、自主的な運営ができるようになってきている。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●南光台スマイルひろば	子育て世代が孤立しないように、参加しやすい講座を企画し、仲間づくりをしながら地域での居場所を作る。	6月16日～2月23日	16	227
職場体験	中学生が自分を見つけ自ら進路を選択、決定していく力を育むため、地域の人々との関わりを主とした職場体験活動を提供する。主催事業・サークル見学、事業企画体験など。	11月7～9日	1	3
ジュニアリーダーとあそぼう!	ジュニアリーダーが地域の小学生を対象に、集団遊び(ゲーム)を企画し実施する。	8月4日 12月26日	2	120
夏まつり子ども大会	子ども達の健全育成、子ども会活動の活性化を目的に様々な遊びの場を提供する。昔あそびと自主企画。	8月19日	1	200
なんこうだいチャレンジクラブ	学校の授業だけでは取り組めない様々な体験の場を提供することで、子ども達の自主性や創造性を育む。	7月28日 8月9日 11月11日 12月9日	4	73

ワケルくんと学ぼう！	ゴミの分別を学ぶことで、環境問題を身近に感じ、将来に向け、環境に対する意識づけや心構えを継続して喚起する。ゴミ分別についてのビデオ学習・実践・講話	6月23日 8月29日	2	187
ぶらり南光台 ～みんなで歩こう～	南光台の歴史資源に限らず、町内の老舗や通りを歩いて散策し、町の魅力探る。	10月26日 11月2・9・16日	4	43
南光台学院	高齢者が生涯を通して学ぶことができる場を提供し、一人一人が社会の変化に対応し安心して暮らせるような繋がりを作る。健康に関することや時事問題など幅広いテーマで学ぶ。	5月19日～ 2月16日	10	870
南光台地域防災講座	いざという時の備えをスムーズにしていくためにも、避難所運営、防災訓練を複数回合同で実施し、南光台地域全体の防災力ボトムアップを図っていく。心肺蘇生法とAED機器操作訓練、アルファ米炊出し訓練と非常食サバ飯炊き等。	5月25日 6月19日 7月1・21日 9月26日 11月3日	6	1,273
南光台市民センター まつり	サークルや主催授業受講生には生涯学習の発表の場を提供する。地域住民の交流と活性化を図る。舞台・展示発表、出店。	10月14～15日	2	1,700
南光台市民センター 懇談会	地域に根ざした新しい市民センターを目指し、地域課題やニーズについて懇談会を通して的確に把握していく。	11月22日 2月14日	2	44
南光台市民センター がやってくる！	高齢化に伴い、普段市民センターに足を運ぶのが難しい方を対象に、地域のコミュニティや集会所で出前講座を開催する。	1月21日 2月10・28日	3	150
南光台地域企画会議	地域課題の解決と地域交流をテーマにした事業を市民と一緒に企画していく	7月6日 9月13日 11月28日×2	4	14
南光台市民企画講座 「みんなで蕎麦打ちを楽しもう！」	高齢化率の高い南光台で、一人暮らしの方でも気軽に参加できる「そば打ち講座」を実施する	11月28日	1	12
ジュニアリーダー 育成支援	中高生が大人とともに地域をつくる「社会の一員」として視野を広げ、地域で活躍できる人材となるよう育成する。スキルアップ講座、派遣要請対応、定例会支援。	4月8日～ 3月18日	18	149
ボランティアやってみたい！	自分の趣味・興味や適性を見極めるために、実際に行われているボランティア活動を体験し、既存のボランティア団体の継続や新たなボランティア団体の立ち上げに繋げていく。講話、既存ボランティアの見学・体験。	7月13・27日 9月7・27日	4	43

黒松市民センター

〔沿革〕

黒松市民センターは、昭和 47 年 4 月に開館した八乙女公民館を前身とし、平成 4 年 10 月に現在地に新築移転され開館した。

当市民センターは、地域における生涯学習及びスポーツやサークル活動などの交流の場として活用されている。また、地下鉄南北線黒松駅に隣接しており、交通の利便性が良いことから、利用者は広域にわたっている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	★●防災プロジェクト 2017 ～その時わたし達にできること～		
参加者	地域住民、八乙女中学校生徒、黒松小学校・八乙女小学校児童	延参加者	2,555 人
開催日	全 1 回 9 月 16 日（土）		
協力者・協力団体	八乙女中学校、黒松小学校、八乙女小学校 黒松市民センター管内連合町内会、管内指定避難所仙台市担当課		
ねらい	東日本大震災を契機に、中学生の力を地域で発揮する場として中学校区の 3 連合町内会が同日に防災訓練を行っていた。平成 29 年度は、いっとき避難場所から指定避難場所までの一貫した訓練を中学生と地域の大人と一緒にすることで、中学生に地域で貢献できる人材としての自覚を促し、地域防災力向上を目指す。		
概要・成果	第 1 部：各町内会、マンション別の訓練 第 2 部：指定避難所（八乙女中学校、黒松小学校、八乙女小学校）に分かれて、中学生と地域の大人が防災訓練を行った。会場になっている小学校の児童は訓練を見学した。中学生が事前に自分の住む地域の情報（いっとき避難所や指定避難所の場所や訓練）を収集することで、地域防災への関心が高まり、地域の大人と顔の見える関係ができた。全体会議を開催し、各单位町内会が事前の理解を深められるようにしたことで、工夫を訓練に反映することができた。また、全体会で出た意見を基に、町内会に入っていない等で第 1 部の訓練実施の際に自宅待機となっていた中学生に、指定避難所開設準備などの新たな訓練の場を指定避難所担当課と共に設定し、自宅待機の生徒のない、より充実した訓練となった。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
わんぱく親子農園	宮城大学、黒松地区社協、黒松寿会と連携し小学生親子が畑を作り、野菜の栽培を行った。黒松寿会による昔あそび、宮城大学坪沼農場見学、畑で採れた野菜でいも餅と芋煮を作り食事会を行い、世代間交流の場となった。	4 月 22 日～ 10 月 14 日	9	323
ちびっこフェスタ	地域の乳幼児親子が交流し情報交換する場を提供するため、近隣児童館と共催でステージ発表、工作コーナー、読み聞かせコーナー、育児相談コーナーなど、親子が参加しやすいイベントを開催した。	11 月 8 日	1	234
わくわく子どもの時間	「葉脈標本を作って、植物の体を知ろう」「わくわくたのしいパーティーメニュー」として普段できない実験や時期に合わせた調理実習を実施した。近隣小学校 6 校から参加があり、学校や学年を越えた交流ができた。	7 月 26 日 12 月 23 日	2	27

放課後ひみつ基地～ジュニアリーダーとあそぼう～	異年齢交流と小中学生の居場所作りを目的とし、児童館と連携して開催した。また、ジュニアリーダーの研修成果の発揮の場とするためにジュニアリーダー企画による講座を開催した。	5月13日 8月23日 9月23日 12月27日	4	190
いろどり工房～女性たちのネットワークづくり～	地域の女性たちが集える場として「素焼きの鉢にペイント」「簡単巾着作り」「宮城の伝統おやつ作り」「さわやか簡単エクササイズ」など様々なジャンルで提供した。地域講師を活用したことでリラックスできた。	5月24日 8月5日 10月13日 11月11日	4	31
ナイスミドルの土曜クラブ～男たちの地域デビュー	地域活動への参画意識が希薄な傾向のある働く世代の男性を対象に、「革細工」「和菓子作り」「燻製作り」「体ほぐし」の4回の講座を通して、仕事関係以外の仲間づくり、趣味づくりを目指し交流を行った。	11月25日 12月9日 1月13,27日	4	25
黒松寿大学	地域の高齢者が健康で生き生きと暮らすための生涯学習の場を提供。演奏会、脳トレ軽体操実技、講話（新介護保険制度、仙台伝統野菜、遺言状の書き方、仙台七福神巡り）、科学館館外学習、演芸鑑賞。	5月18日～ 2月15日	9	650
元気アップ生活～みんな笑顔で～	地域の関連諸団体と連携して福祉に関する情報提供や学習の場を提供。カフェ・ハーモニカコンサート、クリニカルアート、ポッチャ大会・お茶会、栄養講話・調理実習	6月8日 7月27日 11月9日 12月6日	4	91
地域再発見 私のまち散歩	地域の魅力を取りまとめた資料を活用して、元受講者だった方が講師となり自分たちの成果を発表した。「泉区に残る言い伝え」「真美沢公園を訪ねて」と題し、座学を行った。	11月10,17日	2	20
市民企画講座「私と向き合うらくらく塾～毎日を快適に生きるために」	人生の節目にあたり、体と心を整えて自分と向き合うための講話と実技。漢法療法、コグニサイズ、精進料理、スーパーフードを取り入れた食生活。	12月20日 1月24,31日 2月14,21日 3月16日	6	111
◎真美沢公園ネットワーク事業～真美沢公園元気プロジェクト～	真美沢公園を美しくする会と連携して環境整備活動（植樹、下草刈り、清掃など）、PRイベント活動（桜まつり、自然観察会、コンサート）、ホームページによる広報活動、活動報告会、定例会を実施した。	4月8日～ 3月17日	17	453
平成29年黒松市民センター・黒松児童館まつり	黒松児童館と共催で、黒松市民センターを拠点に活動している団体や地域住民が、日頃の学習成果を発表する場を提供した。ステージ発表、作品展示、あそびのコーナー、炊き出し訓練などを行った。	9月23日	1	1,397
地域懇話会	1回目は、地域総合防災訓練について連合町内会、小中学校、行政機関の代表者で検討会を行った。2回目は、乳幼児を抱える母親、管理栄養士に集まって頂き子育てなど色々な角度から意見交換や情報交換を行った。	7月5日 11月29日	2	22
災害への備えと助け合い	地域防災リーダーを中心に防災活動の充実を図るための取組みの講話と災害対応ゲーム「クロスロードゲーム」を行った。	10月28日	1	5
ジュニアリーダー定例会	要請についての話し合いや地域講師、卒業生による研修会を通して地域に根差した円滑なボランティア活動を支援した。	4月8日～ 3月24日	14	47
学びの広場企画会	現代的課題について地域内で学べる場を地域住民自らが企画する企画会を開催した。開催時期・広報の方法・内容など、当センターの立地に即した地域住民の学びの場を企画し、実施講座の運営をした。	6月28日～ 3月16日	11	45

将監市民センター

〔沿革〕

将監市民センターは、昭和47年11月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場として開館した「将監会館」が始まりで、昭和53年4月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和54年6月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年4月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年4月には「将監市民センター」と改称された。

平成3年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成4年4月に再開し現在に至っている。当市民センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	将監和みサロン		
参加者	地域の方どなたでも	延参加者	144人
開催日	全3回 7月1日(土)、11月18日(土)、12月3日(日)		
協力者・協力団体	共催:将監地区社会福祉協議会 連携:将監西町内会・西福寿会、将監4丁目町内会・いずみ会、将監13丁目町内会・将寿会		
ねらい	市民センターから遠く、歩いて来ることが困難な高齢者や子育て世代を対象に、近くの集会所を会場に誰もが気軽に参加できるミニコンサート等の出前講座を開催し、地域住民同士の交流や体験の場を設け、孤立や引きこもり防止に役立てる。		
概要・成果	「普段は市民センターまで行けないが、出前講座なら参加できる」といった声が多く、ねらいに沿った効果が得られている。今年度は新たに2つの町内会に拡大することができた。加えて、ミニコンサート後に“お茶タイム”を設け、より一層交流が深まったと好評だった。連携町内会・老人会も、会場設営や受付・後片付け等を協力して行い、この講座の目的に賛同してくれる人が増えている。		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●こどもチャレンジ講座	①クッキング②新聞紙で昆虫づくり③将監沼探検④科学でアイス⑤どんぐりストラップ⑥バルーンアート。①は家庭健康課と連携。④～⑥はジュニアリーダーがアシスタントとして参加。⑤は地域の達人が講師。	6月～2月	6	82
将監寿大学	①政宗について講話②軽体操と脳トレ③歯科技工士講話④江戸について講話⑤ウォーキングダンス⑥博物館見学⑦お楽しみ会⑧仙台弁昔語り⑨マリンバとピアノの演奏会。⑦⑧運営委員会が企画。⑨公開講座として実施した。	5月～2月	9	80
楽しくウォーキング～地域の魅力再発見～	地域の魅力を発見・発信することを目的に、春・秋の2回に分け散策。将監沼、将監西地区、桂島緑地、七北田公園を歩きながら四季折々の魅力を写真に撮りセンターまつりで発表した。	5月25日 6月1,8日 9月7,14,21日	6	90
将監ふれあいコンサート	将監地区社会福祉協議会、「将監沼の自然」とふれあいを育む会との共催で、シャンソンとジャズピアノの生演奏を提供した。	11月12日	1	270
みんななかよくグラウンドゴルフ大会	未就学児～高齢者の参加者を混合で班分けし、地域の老人会を講師・審判として、練習から本試合までを世代間交流しながら、将監ローカルルールで開催。大人部門と子ども部門からそれぞれ優勝を決めた。	9月3日	1	36

泉ヶ丘地区出前講座 「夏の講座」	①ZUMBA②液体窒素で遊ぼう③折り紙。①②は市民センターで活動のサークルを講師に実施。②は元将監中学校校長が講師となった。	7月25,27日	3	60
★将監地域防災講座	①将監中央小で地区社協、おやじの会と共催し陸自の協力を得てテント設営、救命救急法、「ぐらら」体験、児童引渡し訓練等を実施②避難所運営委員会に参加し、将監連協等と炊出し・救命救急訓練を一緒に実施した。	8月5,6日 9月9日	3	910
◎みんなの居場所をつくろう	月1回の定例会を持ちながら「夏のつどい」「居場所カフェ・元気っ子広場」「新春のつどい」の地域交流会を企画・運営した。	5月13日～ 2月10日	10	701
将監市民センターまつり	市民センター利用団体やサークル、地域の諸団体等を主体とし開催した。展示・舞台発表、体験コーナーの他、地域力創造支援事業「みんなの居場所をつくろう」企画員による「居場所カフェ」「元気っ子広場」を実施した。	9月30日 10月1日	2	2,548
将監地域懇談会	①市民センター利用団体の代表者と情報・意見交換を行った。 ②将監地区の小・中学校区の関係者（教職員除く。）と各団体の活動状況や課題等について情報交換や意見交換を行った。	12月14日 2月3日	2	14
将監沼育林ボランティア養成講座	収集したデータや資料にもとづき、「将監沼の自然」とふれあいを育む会と連携し、東北生活文化大学高校の協力を得て地域待望の将監沼の散策マップを作成した。又、将監沼周辺の樹木に樹名板（20枚）を取付けた。	6月17日～ 3月10日	12	85
市民企画会議 地域みんなで健康づくり	地域住民が企画員となり、健康をテーマに企画員のスキルや知識、経験を活かし話し合いを重ね、地域のニーズに合った健康講座の企画・運営を行った。	7月4,25日 8月1日 11月16,30日 12月8,19日	7	30
市民企画講座 楽しくイキイキ健康づくり	単身高齢者の孤立防止を図り健康な生活を送るため、日常生活に直結した「食事」「運動」「口腔ケア」の内容で実施した。	11月16,30日 12月8日	3	73
サークル体験会	将監市民センターで活動しているサークルに体験会への協力を依頼・調整し、体験会実施へつなげた。	4月21日～ 5月24日	10	17

加茂市民センター

〔沿革〕

加茂市民センターは、昭和 58 年 4 月、加茂公民館として開館した後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成 2 年に現施設名に改称された。平成 10 年には併設されていた加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ヶ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成 5 年 4 月の長命ヶ丘市民センター開館に伴い、現在は加茂・虹の丘・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺地区は、賀茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しているほか、七北田川や丸田沢堤・三共堤がある水の森公園などの自然環境にも恵まれている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	加茂再発見		
参加者	成人	延参加者	17 人
開催日	全 3 回 9 月 29 日（金）、10 月 13 日（金）、10 月 27 日（金）		
協力者・協力団体	協力団体：加茂中学校美術部		
ねらい	地域を改めて散策することで、これまで気付かなかった自然やいままで知られていなかった地域の魅力を再発見し、受講生自らがマップを作成するなどして、新たな地域資源を活用した健康づくりや地域活性化につなげる。		
概要・成果	<p>【概要】</p> <p>1 回目・2 回目は自然観察会として、七北田川にほど近く自然が残っている上谷刈地区を歩いた。目的地に向かってただ歩くのではなく、講師から野辺や道端の植物について説明を受けながら、時には立ち止り風景を楽しみ、ゆっくりと時間をかけて散策した。受講者の間にも自然と会話が生まれ、和やかな雰囲気の中で 3 回目のマップ作りへつながった。</p> <p>【成果】</p> <p>マップ作りのベースとなる地図を加茂中学校美術部の生徒に作成してもらい、中学生に市民センターで行っている生涯学習事業について知ってもらう機会となった。また、受講者が講座終了後に友人・知人や家族と散策するなど、その後も地域の魅力に興味を持つきっかけとなった。</p> <p>受講者が各自作成したマップをロビーに展示したところ、多くの来館者の興味を引き、地域に新たな情報を発信することが出来た。さらに、わずか 2 週間の間でも植物の様相が変わっている事に気づき、他の季節にも歩いてみたいとの意見が生まれ、次年度からの市民企画・複数年事業として新たな地域の魅力を再発見する事業につなげた。</p>		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で体験	木製ミニチュア、グリーティングカード、和菓子づくりを実施した。	7 月 15 日 8 月 19 日 1 月 27 日	3	76
かも子育て広場	親子ピクスと食育講座を加茂・虹の丘児童センターとの連携で実施。市民センターで親子ピクスを実施した。	7 月 7 日 12 月 20 日 2 月 7 日	3	69

まるごとチャレンジキッズ	木工、施設見学、おやつ作り、フラワーアレンジメント、カラーリング、桃まん作りを加茂・虹の丘児童センターとの連携で実施。	6月24日～ 2月24日	8	129
中学校職場体験学習	中学2年生が市民センター業務(窓口対応、施設管理、講座企画等)、利用(地域団体・サークル活動)について実際に体験した。	10月17～19 日	1	3
加茂・虹の丘合同インリーダー研修会	小学生向けにプログラム作りとレクリエーションゲームを、育成者向けに講話「子ども会活動と世話人の役割」を実施した。	9月23日	1	61
市民企画講座「母のスマイル応援講座」	小中学生の保護者を対象に、リフレッシュや交流する機会としてヨガ、アロマジェル作り、調理実習を実施した。	9月23日 12月9日 2月3日	3	28
ワイワイ若がえり塾	健康講話、ニュースポーツ、仙台市博物館への館外学習、歌の実技とギターコンサート、アロマの体験、民話や歴史講話と様々なテーマで講座を実施した。	5月18日～ 2月15日	9	461
ハロウィンがやってきた！	高齢者宅を訪問しながらハロウィンパレードを実施。訪問先では子ども達が作ったプレゼントとお菓子を交換しながら交流を図った。講座の様子の写真を後日センターロビーに展示した。	10月7,21日	2	60
★災害から身を守るために	①救急救命・応急手当法講習会②サバメシ体験③総合防災訓練④避難所運営ワークショップ	6月24日 8月22日 10月14日 11月17日	4	460
寄り道サロン	出前講座 ①「あそび市場」(子育て中の親子) ②「ベビーとママのヨガ&セルフケア」(子育て中の親子) ③「ワケルくんに学ぼう」(成人) ④「ガラスアートで暮らしに彩りを」(成人) ⑤「懐かしのコンサート」(成人)	6月16,23日 8月3日 11月14日 3月3日	5	232
加茂市民センターまつり	作品展示・ステージ発表・子どものひろば・体験コーナー・イベントコーナー・お楽しみ抽選会	10月21～22 日	2	1,101
加茂サロンコンサート	琴、三絃を中心とした和楽器の演奏、加茂中学校吹奏楽部による演奏を実施した。	9月20日、 12月2日	2	147
地域懇談会	①利用サークル、②加茂・上谷刈地区各種団体、③虹の丘・みずほ台地区各種団体と地域の問題・課題等について、情報、意見等を交換した。	7月8日 1月20日 2月17日	3	57
支え合いの福祉	ハンドマッサージの講座を実施し、講話「介護の予備知識」と茶話会の講座でハンドマッサージを実施。10月にハロウィンがやってきた！講座へ参画した。	4月27日～ 3月8日	9	51
ジュニアリーダー定例会	月一回の定例会・予定等確認・連絡、活動報告、要請・講習会連絡、話し合い、要請に向けた準備を行った。	通年	12	37
市民企画会議みんなで会議	あまり市民センターを利用することのない世代、小中学生の保護者を対象とした講座の企画、運営を行った。	5月27日～ 2月3日	7	25

高森市民センター

〔沿革〕

高森市民センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として、平成元年4月「高森公民館」として開館した。その後、機構改革に伴い「高森市民センター」と改称された。

高森地区は、昭和48年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか、高森東公園や高森西公園などに豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的な地域である。

地域では町内会や地域ボランティア団体を中心に、「新しいふるさとづくり」を目指して四季を通じたイベント等を行い、地域活性化の推進に取り組んでいる。その中で、当市民センターは、地域への愛着心を育む交流の場として、多くの地域住民に利用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	男性のための地域入門講座		
参加者	高森地域の成人男性	延参加者	102人
開催日	全5回 6月2日(金)、6月9日(金)、6月16日(金)、6月30日(金) 7月7日(金)		
協力者・協力団体	高森連合町内会、高森東連合町内会、高森東ふるさとづくりの会、ふるさとサポーター会		
ねらい	高森地域では、町内会役員や地域のボランティア活動のメンバーの高齢化が進んでいる。町内会の運営では退職後間もない世代や現役世代の男性の力を必要としているが、地域活動への参加経験がない人はなかなか関わりにくい。そこで、「地域について知る」講座を開催し、地域の現状や魅力について理解を深め、男性の地域活動への参加を促す。		
概要・成果	「地域について知る」ための講話や館外学習など、内容・対象・講師・広報などすべてにわたって、地域のことをよく知る地域住民の方の意向を最大限尊重して講座を開催した。 講師の方々の説明は大変わかりやすく、受講生はとても熱心で、受講後のアンケートでは「地域の活動が理解できた」「継続して行ってほしい」などの意見があり、高い評価を得られた。また、今後の町内会や地域活動への協力を手挙げた方が複数おり、予想以上の成果につながった。 高森連合町内会、高森東連合町内会をはじめ、地域団体から協力を得られたことも、効果的だった。		

〔平成29年度(地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
高森地域子育て支援講座	託児付きで「ママのやさしいおやつ」「リラックスヨガ」を開催。3回目は小学生対象に「みんなでニュースポーツ」を開催し、キンボールに取り組んだ。	9月13日 10月12、25日	3	79
自分づくり教育「職場体験」講座	市民センターの役割についての学習。窓口対応・接客。サークル活動見学、施設運営体験。企画書作成体験。	5月12日 10月24～26日	2	22
インリーダー研修子ども会交流会	高森地区と高森東地区の小学生・保護者を対象に、それぞれ社会教育主事から「インリーダーとは何か」「子ども会活動について」を学び、合同で元ジュニアリーダー指導のもと、レクリエーション演習を行った。	12月2日	1	55

地域安全マップを作ろう	小学生がグループごとに地域内の危険性の高い場所をサポート（地域住民）とともに歩いて確認し、地図に書き起こして他の児童や保護者、地域住民等に発表した。	5月23日 6月13日×2 7月11日	4	266
高森塾	講話「和食と健康」「悪質商法にご用心」「元気に長生き！」「わかる！楽しい！英語落語」、実技「生涯現役（軽運動）」「つるし飾り制作」「健康マーじゃん体験」、施設見学「ユアテックスタジアム仙台」	5月26日～ 2月23日	8	284
市民企画講座「心を寄せてつながる地域多肉植物の寄せ植えをつくろう！」	多肉植物の管理方法を学び、寄せ植え作りの後、受講生同士の交流を行った。	2月21日	1	14
みんなで学ぶ地域防災	「災害時の市民センターの役割」についての講話。防災○×ゲームを通して幅広く災害時に必要とされる事柄を学習した。	10月22日	1	60
ウェルカム世代間交流～高森地域福祉交流会～	地域の小学生による和太鼓演奏や合唱、クラウンショーならびに参加者によるバルーンアート作成体験、クイズ大会などを行った。	10月21日	1	118
高森野鳥の森を育てよう	野鳥の会の指導のもと、小学生による野鳥観察会を3回、中学生が小学生をサポートして行う巣箱づくりを1回、小学生による巣箱設置と営巣確認を2回行った。	4月26日～ 2月7日	6	610
高森市民センターまつり	センター利用団体や地域活動団体の生涯学習の発表の場として開催。オープニングセレモニー・作品展示・ステージ発表・子どもの広場・ダンスパーティー・出店・抽選会などを行った。	9月23～24日	2	1,843
高森絆コンサート	高森地域の園児、小中学生と音楽サークルによるコンサート。1回目は市民センターホールで開催。2・3回目は高森東公園「音楽の広場」で開催。4回目はジャズコンサートを開催した。	5月24日 7月12日 11月8日 12月9日	4	681
高森地域懇談会	市民センターの運営、事業に対する意見交換や地域課題の共有、情報交換を行った。	6月23日 10月25日 12月12日	3	21
高森流星サークル育成支援	子ども会など地域からの要請への対応、研修会への参加。定例会を開催し、ゲームやバルーンアート講習、PR活動などの活動支援を行った。	通年	12	19
高森学童農園支援ボランティア講座	高森地区の学童農園で、野菜の手入れや子どもたちに野菜づくりを指導するボランティア活動。野菜の栽培方法や土づくり・堆肥づくりなど、畑の一連の作業を学んだ。	4月6日～ 11月16日	18	174
市民センターの講座を企画しよう	自己紹介、地域情報交換、地域課題の洗い出し、講座企画のための話し合い、企画講座開催と振り返りを行った。	5月10日 7月5日 10月26日 2月21日	4	11

松陵市民センター

〔沿革〕

松陵市民センターは、平成 2 年、泉区の北東に位置する松陵ニュータウンの住宅地に開館した。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の 6 つの町を担当エリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれた地域に立地している。子どもの減少により、松陵地区では平成 25 年度から 2 つの小学校が統合されるなど一般的に少子高齢化が進んでいる地域であるが、当市民センターは地域における生涯学習の拠点として市民に親しまれる事業を展開し、地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕
〔特色ある事業〕

事業名	第 26 回松陵ふれあいコンサート		
参加者	地域住民	延参加者	400 人
開催日	全 1 回 10 月 29 日(日)		
協力者・協力団体	松陵中学校、泉松陵小学校、向陽台中学校、向陽台小学校、泉松陵高校、東北学院榴ヶ岡高校、東北高校、松陵中学校区地域ぐるみ青少年健全育成推進協議会、松陵中学校 PTA、泉松陵小学校 PTA、向陽台中学校吹奏楽部親の会、向陽台小学校ひまわり吹奏楽団保護者会、泉地区交通安全協会泉支部松陵分会		
ねらい	小学生から大人までが演奏や運営に参加することで、異世代間交流や地域団体の交流を図り、さらに音楽の素晴らしさを知っていただく機会を地域の方々に提供するとともに、地域活性化の一助とする。 また、6 つの学校の生徒たちもコンサートを通じ交流することで心身の健やかな成長を培う。		
概要・成果	今年で第 26 回を迎えたコンサートは 3 部構成で、第 1 部(中・高校生から社会人までの小合同演奏)、第 2 部(小学生から高齢者までによる合唱)第 3 部(小学生から社会人までの総勢 300 人による大合同演奏と合唱)の内容で実施した。ふれあいコンサートは参加者だけでなく多くの協力団体に支えられて地域の文化的行事として長く続いてきた。この講座をきっかけに出演団体が小学生に合唱や吹奏楽の指導に向いたりすることで、地域の子どもの演奏技術の向上にもつながり、音楽教育にも貢献している。 また、地域の住民が気軽に足を運べるコンサートとして地域交流の場となり、地域活性化へと繋がっている。		

〔平成 29 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
わくわく元気広場	1 回目は向陽台児童館・松陵児童センター・鶴が丘児童センターの 4 館連携で、乳幼児親子対象で「ひろがれ！スマイるん」を実施。2 回目は小学生親子対象に「親子木工教室」を実施。3 回目は小学生親子対象に「飾り巻き寿司体験」を実施した。	6 月 21 日 7 月 22 日 2 月 17 日	3	208
子どもゼミナール 2017	松陵土と来い関係団体との連携事業。1 回目はネイチャークラフトのクリスマスリース作りを実施。2 回目は小正月行事のチャセゴ、3 回目は調理実習「プチランチクッキング」を実施した。	12 月 2 日 1 月 13 日 2 月 3 日	3	65
インリーダー研修会	泉松陵小学校区子ども会育成会と連携し、次年度の子ども会活動の中心となる児童と子ども会世話人が参加して子ども会の活性化に役立つ講話や実技を学んだ。	1 月 27 日	1	42
出前講座「市民センター出前サロン」	遠距離地域からの出前講座要望により気軽に参加できる事業を実施。山の寺地域は地区社協と連携し「楽しく音楽しましょう!」、明石南地域はボランティア団体と連携し「楽しく元気アップ!」を実施した。	1 月 7 日、3 月 1 日	2	33

いきいき健康講座	全9回の高齢者向けの講座で、主に健康に関する内容の講話や認知症予防やメタボやロコモを防ぐ軽体操などの運動を実施した。	5月12日～ 2月16日	9	234
らくらく教養講座	高齢者がいきいきと元気で有り続けるための生きがいづくりや交流を図る場を提供する為、一般教養、文化、健康、芸術、歴史等の講座を実施した。	5月～2月	9	265
第26回松陵ふれあいコンサート合同練習	全員で同じ曲を演奏するために必要な練習を行った。地域の小・中・高の先生や大人達の指導者を中心に青少年と共に吹奏楽練習を通して向上心や協調性を培い、異世代間のコミュニケーションを図った。	8月20日～ 10月29日	10	863
松陵ふれあい合唱	地域の小学生から大人までの幅広い年齢層と一緒に歌う楽しさを学びながら交流を深めた。今年度も泉松陵小学校への出前講座を行い約100人の小学生が参加した。	9月29,30日 10月7,14 ,21,28日	6	307
オリエンテーリングとデイキャンプ	松陵土っ到来関係団体連携事業。さらには地域の他団体とも連携し開催した。雨天のため、小学校の体育館で小学生親子がオリエンテーリングやゲームを楽しみ、育成会のスタッフが作った豚汁を食べながら様々な世代と交流した。	10月7日	1	110
●「みんなの力で地域防災・減災」	市・区役所、向陽台学区町内会連絡協議会と連携し、向陽台学区避難所運営関係者を対象に防災講座を実施した。KITを通じた疑似体験学習をするとともに、講義により、避難所運営のポイントを学んだ。	8月29日	1	54
社会学級共催企画会議	地域の社会学級と意見交換しながら共催講座を実施するための企画会議を実施。講座の参考とする為に「防災カフェ」の講演会にも参加した。	6月～2月	6	22
第28回松陵市民センターまつり	市民センターの利用団体、サークル、中・高生による舞台発表、展示発表、出店、健康相談、行政相談。スタンプラリーも地域のお店などの協力で実施した。	11月12日	1	1,600
地域懇談会	町内会役員をはじめ地域団体の方を対象に懇話会を実施した。市民センターの事業や役割を説明するとともに、地域での活動状況や地域課題等についての情報交換を実施し、今後のセンター運営に反映させる資を得た。	4月29日 12月17日	2	33
◎向陽台「支え合いのまちづくり」プロジェクト	連合町内会や地域団体等と連携し、地域課題の高齢化やコミュニティの希薄化、環境保全等の課題解決に繋がる出前講座等を実施して地域が新たに取り組む「安心して生活できる支え合いのまちづくり」活動の一助とした。	4月～12月	16	251
「みちのく松陵」ジュニアリーダー定例会	月1回の定例会の他、松陵夏祭りには自主企画のトスケブースを出店した。また、地域内の育成会からの要請で、インリーダー研修会では小学生にゲームの指導を通してリーダーの大切さを伝えた。	4月～3月	13	39
市民企画会議「残そう！地域の記録」	地域の歴史を継承していくために個人の所有する映像や写真等の収集方法などについて話し合いを重ねた。また集まった素材を活用できる企画を立案し、市民企画講座「思い出を共有しよう～個人の記憶から地域の記録へ」を開催した。	4月4日～ 2月16日	7	28
★泉松陵小学校社会学級共催講座「伝えよう3・11」	住民が震災を「ひとごと」ではないことを再認識し、身近な方に伝えていくことで風化を防ぐための講座を実施。実際に被災された講師のお話を聞き、グループワーク、「サバ・めし」の試食、備蓄材料を使ったパン作りを行った。	1月25日 2月22日	2	52
市民企画講座「思い出を共有しよう～個人の記憶から地域の記録へ」	市民企画会議「残そう！地域の記録」にて集まった映像や資料・写真などを鑑賞し、鑑賞後に思い出話を語り合い地域の歴史を振り返りながら、新たな情報の収集等を行った。	11月17日	1	48

寺岡市民センター

〔沿革〕

寺岡市民センターは、泉区北西部の大規模団地「泉パークタウン」の西部に位置し、緑豊かな自然が残る寺岡・紫山地区を受け持っている。

寺岡地区は、昭和 50 年代後半から急速に発展し、団地としては成熟しており、高齢化も進んでいる。一方、新しく造成された紫山地区は、若い世代を中心に住民も年々増加しており、寺岡地区とは対照的な年齢構成になっている。団地周辺には宮城県図書館をはじめ、宮城大学や仙台白百合学園などの文教施設があるほか、平成 20 年には大型商業施設がオープンし、週末や休日には遠方からも人々が集まり賑わっている。また、紫山地域の開発が更に進み住宅地が広がっていることから、今後もますます発展と活性化が期待される地域である。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	子ども 110 番の家に行ってみよう		
参加者	寺岡小学校 1 年生	延参加者	113 人
開催日	全 1 回 6 月 1 日(木)		
協力者・協力団体	寺岡小学校、寺岡・紫山両連合町内会、寺岡・紫山両社会福祉協議会、泉パークタウン防犯協会、泉地区交通安全協会泉パークタウン支部、泉警察署寺岡交番、寺岡小学校学校支援地域本部、寺岡小学校区子ども会育成会、寺岡・紫山地域の 110 番の家の方々		
ねらい	<p>新 1 年生は、まだ学校生活に不慣れで、登下校中に事故や犯罪等に巻き込まれる危険性がある。そこで子ども達に身の周りにある危険から自分を守る方法を学習する、そして地域の『子ども 110 番の家』について理解・確認してもらうことを目的とする。</p> <p>また地域諸団体が関わることで、地域で子どもを育てる環境を醸成する。</p> <p>昨年も新 1 年生に実施し学校・保護者に好評で継続必要との要望があり継続実施する。</p>		
概要・成果	<p>1 年生全員、放課後に集合し、楽しみながら学習できるように、クイズ形式で交通事故や犯罪に対する対応策、「子ども 110 番の家」について学習し、その後実際に「子ども 110 番の家」を訪問した。</p> <p>子ども達は「自分の身は自分で守る」術を学習するとともに「子ども 110 番の家」を理解・確認し、地域全体で守られていることを実感する機会となった。また、直接訪問することによって、お互いが顔のみえる関係になることができた。</p> <p>連合町内会・社会福祉協議会・防犯協会など今後の地域における諸団体による各種活動においても、地域の活性化のために連携・協力する基盤の確立につながる機会となった。</p>		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てママのハンドメイドカフェ	託児付き講座。銀粘土を使ってペンダント作成や、ブリザーブドフラワー、クリスマスリースを作成した。手仕事をしながら情報交換し、交流を図ることができた。	11 月 8, 15, 22 日	3	20
親子の広場	地域の子育て支援関係団体と連携し、育児世代のニーズに沿ってストレス解消に繋がる運動や学びの場を提供し、親子が共に楽しみながら充実した子育て時期を過ごせるよう支援した。	6 月 8 日 8 月 29 日 9 月 14 日 2 月 8 日	4	220
中学生職場体験	中学生に市民センターの概要を説明するとともに、サークル体験・講座企画・広報紙作成・施設管理など体験実施した。	10 月 17～20, 27 日	5	24
子ども体験塾	小学生対象に天体観望会、ネイチャークラフト、調理実習、バレンタイン用お菓子作りを体験した。	5 月 19 日～ 2 月 10 日	4	160

寺岡小学校区インリーダー研修会	小学5年生対象に理想的なリーダー像について考える機会を提供した。また、保護者に見守り役役割等を考えてもらう機会となった。	1月28日	1	64
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーが主体となって小学生対象の講座を企画実施した。	10月29日 2月25日	2	37
いずみふるさと伊達家ゆかりの史跡探訪	伊達政宗生誕450年を迎え、地域のゆかりのある史跡を巡り、故郷の歴史を学んだ。	6月 7, 14, 21, 28 日	4	63
水彩画で描く地域の魅力アップ講座	水彩画の技法を学び、地域の風景や魅力を作品展や文化祭などで展示発表できた。	5月12日～ 6月16日	6	84
●老壮大学「多聞塾」	年10回開催。健康、歴史、社会問題、音楽等交流と親睦を深めた。	5月1日～ 2月1日	10	363
★仙台市内全域が危ない！内陸直下型地震「利府-長町断層帯の現状と影響」	利府-長町断層帯の現況と地震発生時の特に泉区内に及ぼす影響についての講演を聴き、地震に備え準備すべきこと、地震発生時の心構え等を学んだ。	9月9日	1	67
寺岡小学校社会学級共催事業「作って食べよう！災害時に食べる日常食」	地域の防災リーダーを迎え普段の生活に防災・減災に関わる講義と調理実習を行った。	9月5日	1	17
◎寺岡・紫山地域魅力づくりプロジェクト！「めざせ！みんなが集まる街づくり！」	地域力創造推進委員会を組織化し、散策コースを設定しマップを作成しウォーキングを2回実施し、寺岡・紫山作品展も2回開催した。	4月～2月	10	350
寺岡・紫山市民文化祭	地域で活動するサークルと地域諸団体で構成する実行委員会で運営し、ステージ発表・展示・体験コーナー・ダンス・カラオケ発表等を行った。	10月28～ 29日	2	1,500
寺岡・紫山音楽フェスタ～音楽のある街づくり～	白百合学園の小・中学校、高校と、寺岡紫山地域内外の団体が参加し世代を超え、音楽の力を通して人と人との繋がりを深めた。	4月29日 12月17日	2	400
寺岡・紫山地域懇談会	地域住民（団体）との意見交換の場を設け地域課題の共有化を図った。	9月3日 1月16日	2	50
ジュニアリーダー育成支援「定例会等」	「寺岡流星サークル」の活動が充実・発展していくよう支援し、要請確認や報告など情報交換をする場を定期的に提供した。	通年	13	66
“市民企画会議”市民センターの講座を企画しよう	地域住民から企画員を募り、地域課題やニーズを検討し、企画員が主体となり講座の企画・運営を行い、講座終了後には反省会を実施した。	6月15, 22日 7月2日 2月7日	4	15
市民企画講座「発見（ディスカバー）、自分。～居場所を増やそう～」	コミュニケーションがうまくいかずに引きこもってしまっている人が、自分自身と向き合い、地域に溶け込むきっかけづくりになるよう、笑いヨガやコミュニケーションワーク、お笑いショーなどを実施した。	10月4日～ 2月7日	5	35
春のサークル体験会	新たな活動の場を求めている人を対象に、市民センターを活動拠点としていて、会員拡大を望んでいるサークルの体験・見学会を実施し、新たな生きがいつくりやサークル活動の活発化を支援した。	4月19日～ 5月11日	8	14

長命ヶ丘市民センター

〔沿革〕

長命ヶ丘市民センターは、平成5年4月に泉区10番目の市民センターとして開館した。その周囲は昭和50年代初めに造成された長命ヶ丘団地で形成されている。利用者の約65%が長命ヶ丘地区、25%が近隣地区、残り10%が他地区の利用者となっており、地域に密着した市民センターといえる。地域利用団体の30サークルをはじめ、常時80以上のサークルが活動している。

当市民センターは、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として定着しており、その役割と機能は重要性を増している。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画会議 長命ヶ丘ゆるキャラPR大作戦「あいタワーくん・あいカネちゃんの歌 PR イベント」		
参加者	地域住民	延参加者	25人
開催日	全4回 7月22日(土)、7月29日(土)、10月14日(土)、12月10日(日)		
ねらい	長命ヶ丘に誕生したゆるキャラ「あいタワーくん・あいカネちゃん」の歌を、平成27年度から2年がかりで完成し、29年の新春祝賀会でお披露目することが出来た。平成29年度はこの歌を、多くの住民が集まる夏まつりなど、様々な地域行事でこの歌を聞いてもらい、ゆるキャラの歌を浸透させていく。		
概要・成果	企画会議を持つことで、メンバー同士、顔の見える関係が作られ、思いを一つにして歌のPRに努めることが出来た。市民企画会議にしたことで、事業実施までの過程を知ってもらうことができ、市民センターへの理解を深めてもらうことが出来た。		

〔平成29年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●長命ヶ丘保育所・児童センター・市民センター3館共催「子育て講座」	保育所・児童センター・市民センターの3館が共催し、当センターの施設を利用して、コンサート・子育て講話・大運動会・離乳食講座・冬季の運動遊びを開催した。	6月8日、7月6日、10月5日、11月9日、12月14日	5	280
フレンドスクール	夏・冬休み等に、小学生を対象に、泉館山高校の米粉ドーナツづくり、仙台高等専門学校の科学実験、地域講師のリースづくり、センター利用サークルの講師による書道の講座を実施。様々な世代と関わりながら、学べる機会を提供した。	7月27日 8月3日 11月23日 12月23日	4	86
インリーダー研修会	市民センターを会場に、世話人対象に子ども会の意義と世話人の役割についての講義、インリーダー対象に行事プログラムの立て方とジュニアリーダーによるレクレーションゲームの演習を行った。	11月11日	1	61
職場体験学習	11月14日より3日間、長命ヶ丘中学校の生徒4名を受け入れた。事務所内カレンダーの貼り替え、外の落ち葉掃除等を手伝ってもらった。最終日は、長命大学で受付係を務めるとともに歴史講話を受講してもらった。	11月14～16日	1	4
小学生の防災講座「減災を考えよう！」	地域の小学生を対象に、災害発生のメカニズムと、起こりうる事象について学ぶ機会を提供し、児童が減災について自分で考え、互いに学び合った。	9月26日	1	70

ロングライフヒルコミュニティ協議会との企画検討会を経て企画する事業「学校に泊まろう」	地域の主要な団体が協働し、小学生が夏休み、学校に泊まる催しをすることで、異年齢や地域住民との交流をし、疑似避難所としての経験をした。	7月22～23日	1	305
ロングライフヒルコミュニティ協議会との企画検討会を経て企画する事業「もちつき大会」	年中行事として「もちつき大会」を開催し、異年齢・世代間交流により、地域活性化や健全育成の一助とした。	11月26日	1	152
いきいき介護講座～より良い介護のために	第1回では、介護疲れを和らげるために、レクリエーションを楽しみ、気軽にできる運動を行った。第2回では、介護食と常食の調理実習を行い、食べ比べを行った。第3回では、穏やかな看取りについての講話を実施した。	9月1, 15, 29日	3	21
転ばぬ先の『介護予防』	ロコモティブシンドロームの予防法や脳トレ、肩こり予防体操、草細工による葉づくり、ウォーキングの仕方などを学んだ。それにより、高齢化に対応し、健康寿命を延ばす為の体力・知力づくりに取り組んだ。	8月30日 9月5, 13, 20, 27日	5	53
食は健康の源～シニアの元気ごはん	栄養バランスの取れた食生活の大切さを1回の講話と2回の調理実習（減塩レシピ、少人数の簡単レシピ）により学んだ。	11月10, 17日 12月1日	3	27
長命大学	年間10回の開催内容は、歴史、文学、健康、国際交流、館外学習、音楽鑑賞、心理学等をテーマとして、運営委員会の協力のもと開催した。座学が多い中、1月の演芸会と食事会では受講生同士の交流会を行った。	5月18日～ 2月15日	10	659
長命コンサート	高齢者等に身近な場所で気軽に音楽を楽しんでもらおうと実施した。1回目は軽音楽バンドによる演奏、2回目は陸上自衛隊東北方面音楽隊と泉館山高校吹奏楽部による合同演奏を行った。	6月17日 11月4日	2	552
地域の達人に学ぶ！	町内に住む人材を講師に活用して、シャンソン、歴史、安来節の講座を開催した。	7月7日 10月25日 2月22日	3	52
ロングライフヒルコミュニティ協議会との企画検討会	地域の子どもの健やかな成長や交流を目的とし、協議会の構成メンバーが事業を企画検討した。また、企画した講座の運営にも携わった。	4月8日 6月10日 7月8日 9月9日	4	68
◎目指そう！災害に強い長命ヶ丘	連合町内会と中学校が連携して総合防災訓練を行ってきたが、初めて小学校も加わった。そのため、参加者が600名程増え、地域に広がりをもたせることが出来た。	7月1日	1	1,338
長命ヶ丘市民センターまつり	市民センターを中心に活動しているサークル団体の学習成果を発表する場として、また地域の幅広い世代の住民が、楽しく交流する場として開催した。	10月14～15日	2	2,600
長命ヶ丘市民センター地域懇談会	地域の主な29団体に声掛けし、23名の方々に参加いただいた。次年度につながるご意見をいただいたので、うまく活用していく。	2月20日	1	23
おもちゃドクターボランティアフォローアップ研修	昨年度実施のおもちゃドクターボランティア養成講座で学んだ参加者を対象に、おもちゃ病院開設に向けて研修を行った。プレオープンやセンターまつり参加を経験してからサークルが立ち上がり、活動が始まった。	5月20日～ 10月15日	8	61
読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせの基本を学んだ後、先生が実際に読み聞かせを行う様子を見学し、最後の会ではおはなし会を開催した。	1月20, 27日 2月3, 17日	4	50

松森市民センター

〔沿革〕

松森市民センターは平成 12 年 1 月、鶴が丘中学校区施設として泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内 11 番目の市民センターとして開館した。当市民センターは仙台市泉区の北東端に位置し、担当するのは、古くからの松森地区と昭和 40 年代から 50 年代にかけて開発された鶴が丘団地からなる地域である。

施設内は、バリアフリー仕様になっており、広々としたロビーのほか親子室・娯楽室・図書室などを備えている。このような特性を生かしながら地域の生涯学習の拠点施設として開かれた親しみのある市民センターを目指している。

[★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業]

〔特色ある事業〕

事業名	松森散歩道～地域の魅力を知る～		
参加者	成人	延参加者	62 人
開催日	全 4 回 11 月 15 日（水） 11 月 22 日（水） 11 月 29 日（水） 12 月 6 日（水）		
協力者・協力団体	鶴が森歴史愛好会		
ねらい	松森・鶴が丘地域には、松森城址や区内で有名な私設斎藤美術館、また歴史ある清水寺等が存在している。しかし、この地域に居住しながらまだ訪れたことが無いという地域住民が多くいる。そこで、地域エリアを散策しながら今まで知らなかった地域資源を知りわが町の魅力を再発見する機会とする。		
概要・成果	初回は歴史講話を行い、2 回目以降の見学には地域で活動している鶴が森歴史愛好会に講師と案内役を務めていただいた。近隣にお住まいの方が多く参加しており、地域への関心の高さがうかがえた。参加者からは地域を知ることができよかったという声や、魅力をもっと発信したくなったという感想があがっていた。地域の歴史への見識を深め、魅力を再発見する良い機会となった。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てサロン「こどもの杜」	子育て世代の交流の場、情報交換の場を提供し地域の子育て支援の拡充を目的に実施した。①「ママを癒すハンドトリートメント」②「アロマで風邪予防」	10 月 19 日 12 月 14 日	2	26
田んぼのがっこう	松森小学校児童対象の学社連携事業講座。農家ボランティアと松森小学校との企画運営会議を経て①実習田代掻き②田植え③稲刈りを実施した。	4 月 19 日 5 月 10, 19 日 9 月 27 日 10 月 4 日	5	544
ジュニアちゃれんじ!	長期休みなどを利用して学校ではできない体験をし創造性を育み、交流を深めた。①科学実験②科学工作③調理実習を実施した。	7 月 29 日 8 月 17 日 12 月 2 日	3	43
中学生職場体験	中学生の将来の職業観や勤労観を育むことを目的に職業体験を実施した。3 日間にわたり、生涯学習講座や施設管理などを体験した。	8 月 22～24 日	1	3

松森ほっとサロン	学びの機会が少なく、社会参加がなかなかできない方を対象に、気軽に参加できる仲間づくりや交流の場を提供した。①ハーブ②アロマ③リンパマッサージ④陶芸体験⑤プリザーブドフラワーアレンジ⑥食育セミナー	6月9日～ 1月12日	6	78
●生活習慣病を予防するヘルシーアップ大作戦	宮城県ではメタボリック症候群の割合が高いことから、健康改善を図るために、運動や食事の面から健康寿命を延ばす取り組みを行った。	12月 6, 13, 20日	3	30
市民企画講座「いきいき健康暮らしアップ」	地域に住む高齢者が、心身ともに健康に暮らすことが出来る取組として、脳トレに役立つ手話ソングの講座や地域交流カフェを開催した。	9月16, 30日 10月12, 15日 11月28日	5	48
城前大学	60歳以上の地域住民を対象に、年間を通して健康講話や軽体操、歴史講話、11月の介護予防月間に仙台市包括ケア推進課との共催講座を実施した。	4～2月	9	508
松森市民センターまつり	市民センターを利用するサークルによる展示・舞台・出店発表。	10月15日	1	1,500
松森アフタヌーンコンサート	地域住民が年齢・性別を問わず気軽に集い楽しめる場として、オカリナ演奏会、男声コーラスコンサート、素ばなし会、吹奏楽コンサート、クラシックアンサンブルコンサートを実施した。	6月17日 7月15日 11月8日 12月17日 1月20日	5	308
松森・鶴が丘地域懇談会	地域内の団体や機関の集まる機会を通して、活動状況や課題などについて意見交換を行い、情報共有を図った。	12月9日	1	32
命をつなぐ防災講座	災害発生時にどのように判断・行動するかを考える力を身につけるために、松森小学校と鶴が丘小学校において小学生のための減災セミナーを実施した。また、地域住民を対象に緊急時の備えとしてサバメシ作りを行った。	6月13日 7月19日 10月7日	3	99
地域で学ぼう！家族のための介護講座	認知症や介護について正しい知識を学ぶと共に、地域で介護に関わる団体やサービスについて情報交流を図った。①認知症についての講話②移動介助の実技③地域で介護に関わる団体の紹介と情報交流の計3回を実施した。	7月21, 28日 8月4日	3	29
ジュニアリーダーパズル鶴が丘 定例会	地域からのボランティア要請の取りまとめやゲーム・工作の技術向上を目的とし、ジュニアリーダーサークル「パズル鶴が丘」の定例会を月に一度、第二日曜日に開催した。	4月9日～ 3月18日	12	16
図書ボランティア養成講座～本が作りだす幸せな時間～	松森市民センター図書室で活動する図書ボランティアのスキルアップを目指すと共に、新しいボランティアの参加を呼びかけ育成に力を入れた。①講話②実技③交流を実施した。	9月22, 29日 10月6日	3	13
市民企画会「いきいき健康暮らしアップ企画員募集！」	地域の高齢化という課題に取り組み、高齢者の心身の健康と暮らしに役立つことをテーマに企画会を開催した。	5月23日～ 1月18日	7	27

桂市民センター

〔沿革〕

桂地区は仙台市の北西部に位置し、緑に囲まれた住宅と高層マンションで構成される新興住宅団地で、緑が多く高齢化率も比較的低い街である。一方、将監地区は昭和 40 年代に開発された歴史の古い団地で年々高齢化が進んでいる。桂市民センターは、この両地区を受け持っている。

当市民センターは児童センターとの併設館であり、利用者の年齢層は乳幼児から高齢者まで幅広い。平成 13 年 12 月の開館以来、これらのさまざまな年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開し、生涯学習の拠点を目指して取り組んでいる。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	●桂島緑地未来プロジェクト		
参加者	地域の方	延参加者	225 人
開催日	5 月 31 日～3 月 17 日 全 16 回		
協力者・協力団体	泉区建設部公園課、桂連合町内会、桂島緑地公園愛護協会、桂赤十字奉仕団		
ねらい	「桂島緑地の環境保全・美化および地域住民の憩いの場としての維持」をともに考え、活動している桂地域住民ボランティア団体が、今後も住民主導で持続可能な活動ができるよう支援する。		
概要・成果	地域の賛同者が集まって発足したボランティア団体「桂島緑地未来プロジェクト」が、平成 26 年 3 月から「桂島緑地の環境保全・美化及び地域住民の憩いの場としての維持」を目的に活動を始めた。月 2 回の定期作業として樹木の枝切、草刈、希少な植物の保護柵設置、手入れ、樹木名プレートの設置、落ち葉掃除などを継続して行っている。29 年度はさらに地域の方たちに緑地を知ってもらう活動にも力を入れ、7 月には小学生親子を対象としたウォークラリー、9 月には将監中学校の地域貢献活動とタイアップし、地元企業の協力も得て実施した大規模な清掃キャンペーン、地域住民との交流会を行った。複数年事業として取り組んだ 4 年間の活動が認められ、仙台市から「緑の活動団体」として認定された。また、「仙台市まちなか歩数表示補助事業」にも採用され、新たに緑地内 4 カ所に歩数表示板標柱を設置するとともに、標柱を記した「お散歩マップ」を作成し、春に配付を予定している。昨年度作成した「桂島緑地地図帖」と、この「お散歩マップ」を手に、地域の皆さんが桂島緑地の自然を楽しみながら、公園を利用していただくことを目指している。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
桂の森のキッズランド	桂地区の子育てを支援する 4 団体が共催し、実施した。今年度は人形劇サークル「明泉ばれっと」による「三匹のこぶた」を上演した。参加した親子は一緒に体を動かしたり声を出すなど、楽しい時間を過ごすことができた。	9 月 21 日	1	168
桂島緑地ウォークラリー	桂島緑地公園の豊かな自然環境は貴重な地域資源。ウォークラリーを通じて自然に親しみ、親子が地域の魅力を知る機会となった。桂児童センター、ボランティア団体「桂島緑地未来プロジェクト」と連携することで地域のために活動している住民と子育て世代との交流ができた。	7 月 15 日	1	20
桂ジュニアカレッジ	異年齢の子どもたちが一つのことに取り組む活動を通して、子ども同士のつながりを築き、社会性を育むための一助となることを目的に開催した。①ウォーターカーニバル②焼き芋体験③牛乳パックで紙コプター作りを行った。	8 月 1 日 11 月 8 日 2 月 14 日	3	127

運動の科学～健康アップのワンポイント効果！～	住民の高齢化が進みつつある中、認知症予防、QOLの向上、現役世代との新たな交流を目的として正しく効果的な運動方法を学ぶ場を提供。正しいウォーキング方法、ランニング方法、筋力アップに効果的な食などについて専門の講師から学ぶことができた。	10月28日 11月4日 11月18日 12月2日	4	57
桂友くらぶ（老壮大学）	概ね50歳以上の受講者を対象に、音楽・歴史・健康など様々なジャンルの学習を行った。受講者は熱心に学習する姿が見られた。また、館外学習やグループワークなどでは、受講者同士で楽しく交流する場面も見られた。	5月11日～ 2月8日	9	331
桂ロビーコンサート	乳幼児から高齢者まで幅広い世代が音楽を楽しめる場を提供した。①混声合唱団・オーケストラの演奏②チェロアンサンブルコンサート③児童センターと共催し、ハンドベル・マリмба・歌のコンサートを開催した。	6月25日 9月30日 12月16日	3	449
桂地域防災事業	「桂小学校区避難所開設マニュアル」では市民センターは補助避難所に位置づけられている。地域内へは市民センターが補助避難所として位置づけられたことを周知しており、防災訓練においても補助避難所としての役割を担っている。災害時対応訓練を行った。	9月10日	1	583
防災・減災を学ぼう	桂地区 SBL と連携し、地域の役員・班長を対象として開催した。SBL を講師に避難所運営マニュアルの講話や、防災に関する簡単な演習を行った。講話後には質問も多くあり、防災・減災に関して興味を持って学習する参加者の姿が見られた。	8月19,26日	2	38
桂小学校地域交流室 DE ちょこっと寺子屋	主に地域住民を講師に迎え、健康講話、郷土歴史講話、手作りおもちゃ工作など計5回実施した。休み時間には児童との交流が図られた。また、講座終了後には受講者の任意グループが引き続き交流室で活動している。	11月17日 12月1日 1月26日 2月2,9日	5	93
桂小学校区社会学級連携事業 企画会議	桂小学校区社会学級と連携し、全5回の日程で開催した。企画会の中では活発な意見交換が行われ、地域のニーズに沿った講座の企画を行うことができた。	6月6日 7月6,27日 8月24日 11月15日	5	14
桂文化祭	連合町内会をはじめとする地域の活動団体や企業、市民センター利用団体で構成される桂文化祭実行委員会と共催。ステージ、展示、イベントブース、児童センターまつり等で賑わった。地域の秋のイベントとして交流を育む場となった。	10月21日	1	927
桂地域懇談会	桂地域内で活動する地域団体等の関係者との懇談会を通して各団体の活動情報や地域情報をもとに地域課題、住民の状況、地域資源等について意見交換を行い、得られた情報を活用して市民センター業務の改善に努めた。	7月28日 3月2日	2	22
ジュニアリーダー「将監くれよん」定例会	「将監くれよん」は主に将監地区や桂地区の要請を受けて活動している。技術向上のための研修会やジュニアリーダー間での交流を深めることを目的とし、月1回の定例会を開催した。定例会を通して活動の充実を図るとともに、地域活動に自主的に貢献できる人材の育成に努めた。	4月～3月	13	109
子どもが喜ぶ人形劇の人形作りボランティア養成講座	ボランティア活動の意義や心がまえ、人形劇やパネルシアターなど様々なシアターについての学習。人形制作と、人形の動かし方の実技。まとめとして、人形劇の発表会を開催した。	1月25日 2月1,7,15,22日	5	36
市民企画会「市民センターの講座を企画しよう！」	食と健康をテーマに、地域課題を見つけ交流しながら日々の生活の様々な問題の解決のきっかけとなるような講座について話し合った。「女性の心と体の健康」につながる運動と、食の講座を企画した。	8月9,30日 9月13,29日 10月5日	5	16
桂小学校区社会学級連携事業「足から元気！健康セミナー～正しい歩き方と靴の選び方～」	興味・関心の高い健康の分野から、「足」に着目した講座を開催した。足と健康のかかわりについての講話、正しい歩き方の実技指導、茶話会と三部構成で行った。	11月15日	1	31
市民企画講座「からだところを温める季節の養生学」	女性が自分自身の健康を第一に考え、心と体の健康のバランスの大切さに気づき、毎日の健康につなげることを目的に開催した。①ストレッチと食の講話②調理実習と食の講話	11月29日 12月7日	2	30

南中山市民センター

〔沿革〕

南中山市民センターは、平成 15 年 3 月をもって閉館した「泉中高年齢労働者福祉センター（サンライフ泉）」の建物に改修を行い、平成 15 年 11 月 13 日に開館した。敷地内にはコミュニティ防災センターを併設している。

当市民センターのエリアは、南中山、北中山、西中山の 3 連合町内会傘下 16 町内会で、地域の活動拠点として、地域団体やサークルなどに広く活用されている。

〔★震災を踏まえた事業 ●区役所との連携事業 ◎地域力創造支援事業〕

〔特色ある事業〕

事業名	まなびねっと「いずみ中山」交流事業		
参加者	南中山・北中山小学校の児童と保護者	延参加者	120 人
開催日	全 3 回 7 月 17 日（月）、12 月 23 日（土）、2 月 12 日（月）		
協力者・協力団体	南中山小学校おやじの会、南中山小学校区体育振興会、南中山地区社会福祉協議会 北中山小学校おやじの会、北中山小学校区体育振興会		
ねらい	いずみ中山地域の親子を対象に、地域団体と連携し、自然体験や伝統文化に触れる機会を提供することで、子どもたちの感性を磨き、創造力を養う。また、地域の人々が交流事業に共に取り組むことで人と人とのつながりを深め、子どもたちの健全育成の一助とする。		
概要・成果	まなびねっと「いずみ中山」推進委員会で企画した事業で、7 月に七北田川万人渚で川遊び、12 月は門松作り、2 月は雪山であそぼうと体験学習を基にした小学生の交流事業を展開した。専門家の指導のもと、川遊びでは普段体験できないカヌーこぎや生物観察などを楽しんだ。12 月はお正月飾り（ミニ門松）をつくり、同時にお正月飾りの謂れを学んだ。竹や松などの材料は推進委員会のメンバーが地域の方の好意で集め、土台となる缶は給食センターの不要品を利用した。竹を切ることや、土台となる缶にこもを巻き縄を結ぶという作業もなかなか難しかったが、時間内に立派なミニ門松が出来上がった。2 月の雪山で遊ぶには、スノーシューを履いて雪山を散策し、冬の泉ヶ岳の自然を観察した。南中山・北中山両小学校の先生も参加するなど学校の協力や情報共有を得ることができ推進委員会と学校との繋がりがより強化された。また、地域の団体と連携・共催することにより地域全体で子育てをするという意識が高まってきている。さらに、親子で参加する事業のため、子どもたちの交流や成長を目的にするだけでなく、地域間の交流にもつながり、家庭の中でのコミュニケーションを深める一助にもなった。		

〔平成 29 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ママのほっとタイム	子育てをする若い世代を対象にした託児付き講座。ホットサンドを作る調理実習、ヨガ、アロマ虫よけスプレー作りを学習し、子育ての相談・情報交換も行った。	6 月 28 日 7 月 5, 12 日	3	45
おでかけほっとタイム	体操、手遊び、簡単工作、ペープサートによる親子活動、ベビーダンスによる親子のスキンシップ、ヨガ体験と情報交換を通して、子育て世代の仲間づくりや親子のふれあいを深めた。	4 月 20 日 6 月 8 日 10 月 26 日	3	46
こどもワンダークラブ	小学生を対象にした体験学習。集団遊びや運動遊び、市天文台ベガ号による星空観察、煮込みハンバーグを作る調理実習を行った。星空観察では、親、祖父母も参加した。	6 月 24 日 12 月 22 日 2 月 3 日	3	81
インリーダー研修会	南中山、北中山小学校の主に 5 年生が、子ども会のリーダーとしての心構え、ゲームを学び、行事プログラムを作成した。保護者は世話人としての役割を学んだ。研修会終了後、昼食を兼ねて参加者同士の交流会も実施した。	11 月 25 日	1	55

南中山メンズキッチン	男性のための簡単にできる料理教室。自宅で再現できる、発酵食品を使うという2点をテーマに、「サツマイモの塩麹ごはん」「鮭のかす汁」「ネギだくさん豚小間肉の塩麹炒め」などを調理し、参加者同士の交流を兼ねて試食した。	1月25日 2月1日	2	30
おとなの食育サロン	生きることの基本である食に関する知識を改めて身に付ける学習機会を提供し、生涯に渡り健康的な食生活の実践を心掛け、心と体の健康を維持する一助となった。また、参加者同士がともに学びともに食べる楽しみを味わい、情報交換や交流を行った。	11月29日 12月6日	2	31
●ほがらかシニア塾	地域の高齢者が各専門分野の教養的学習や健康寿命延伸に役立つ学習をした。仙台・レンヌ姉妹都市提携50周年記念参加事業や、実技では健康マーじゃん、講座企画体験などを実施し、受講生同士の交流を図った。	5月19日～ 2月16日	9	526
市民企画講座「地域再発見！いずみ中山歴史散歩」	かつて旧根白石村と城下町仙台を結ぶ唯一の交易道路だった旧中山道をテーマに、民俗学の視点から講話を聴いた後、2回に渡り旧中山道を史跡を辿りながら歩き、往時に思いを馳せながら学習した。	11月1, 8, 15 日	3	40
◎クリーン&グリーンアップ西中山	平成28年度に結成した「西中山アクションクラブ」のメンバー団体が、「(仮称)泉第二中山1号公園」の使用が一部可能となったことを記念した事業を企画、実施した。若い世代を中心に幅広い世代が気軽に集い、交流した。	5月17日～ 10月29日	8	322
北中山におじゃまします！南中山市民センター出前講座	北中山コミュニティ・センターを会場に出前講座を実施。1回目は童謡や唱歌を聴いたり歌ったりする童謡コンサート、2回目は安来節を鑑賞した。市民センターに遠く来館しづらい高齢者を中心に学習機会を提供した。	7月27日 9月17日	2	141
まなびねっと「いずみ中山」推進委員会	地域の子どもの交流や健やかな成長を促すために、『まなびねっと「いずみ中山」交流事業』を企画した。また、事業実施のための各種助成金申請検討や情報交換、実施後の反省会を行った。	4月22日～ 3月3日	6	29
地域防災講座「避難所運営マニュアルを確認しましょう！」	南中山連合町内会、各単位町内会の防災担当者が、SONAE研究所が開発したKITゲームを体験し、災害時に避難所が開設されたときにどのような活動や判断が必要か、避難所運営の問題点とともに学んだ。	8月27日	1	36
いずみ中山フェスタ	地域諸団体、学校、個人や南中山市民センターを拠点に活動するサークルが、舞台発表、展示、模擬店出店、子ども向け催事、食堂運営などで日頃の学習成果を発表し、地域のあらゆる世代が交流するまつりを実施した。	10月21日	1	800
地域懇談会	1回目は地域の連合町内会会長、地区社会福祉協議会会長と地域課題や市民センターの事業運営に対する意見交換を行った。2回目は小中学校、子ども会関係者と地域における豊かな教育活動について話し合った。	5月20日 11月15日	2	11
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーに対するボランティア要請や各種研修会・交流会の参加検討。ジュニアリーダーサークル内の新人歓迎会、クリスマス会、ゲーム練習などの自主企画実施。機関紙「菓子つぶlife」の作成。	4月23日～ 3月25日	12	73
いずみ中山市民企画会議	地域資源を活用した生涯学習講座を企画した。オリエンテーションで趣旨を理解し、地域課題、ニーズを話し合いながら会議を進め、講座を開催した。反省会では企画会議と企画講座を振り返った。	7月6, 13, 20 日 8月31日 12月12日	5	25